

2016 年長崎県感染症発生動向調査年報

2017 年 9 月

長崎県感染症情報センター
(長崎県環境保健研究センター)

目 次

I 感染症発生動向調査事業の概要	1
1 感染症発生動向調査事業	2
2 対象感染症	2
(1) 全数把握の対象感染症	2
(2) 定点把握の対象感染症（五類感染症）	4
3 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告対象	4
4 定点医療機関数	4
感染症情報の提供	5
報告週対応表（平成 28 年）	5
II 感染症発生動向調査結果	6
1 全数把握の対象感染症	7
(2) 二類感染症	8
(3) 三類感染症	12
(4) 四類感染症	18
(5) 五類感染症	24
平成 28 年感染症週報（全数把握の対象感染症）推移表 長崎県	36
2 定点把握の対象感染症	39
(1) インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）	39
(2) RS ウイルス感染症	40
(3) 咽頭結膜熱	41
(4) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42
(5) 感染性胃腸炎	43
(6) 水痘	44

(7) 手足口病	45
(8) 伝染性紅斑	46
(9) 突発性発しん	47
(10) 百日咳	48
(11) ヘルパンギーナ	49
(12) 流行性耳下腺炎	50
(13) 急性出血性結膜炎	51
(14) 流行性角結膜炎	52
(15) 細菌性髄膜炎	53
(16) 無菌性髄膜炎	54
(17) マイコプラズマ肺炎	55
(18) クラミジア肺炎（オウム病は除く）	56
(19) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）	57
3 STD 定点報告の対象感染症	58
(1) 性器クラミジア感染症	58
(2) 性器ヘルペスウイルス感染症	59
(3) 尖圭コンジローマ	60
(4) 淋菌感染症	61
4 基幹定点報告の対象感染症	62
(1) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	62
(2) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	63
(3) 薬剤耐性緑膿菌感染症	64
平成 28 年感染症週報（定点把握の対象感染症）推移表 患者報告数 長崎県	65
平成 28 年感染症週報（定点把握の対象感染症）推移表 定点当たり報告数 長崎県	67
平成 28 年感染症月報推移表 患者報告数 長崎県	69

平成 28 年感染症月報推移表 定点当たり患者数 長崎県	69
III 医療機関病原菌検出情報	70
医療機関病原菌検出情報（月報及び年報）	71
病原菌検出状況報告書	72

感染症発生動向調査事業の概要

1 感染症発生動向調査事業

感染症発生動向調査事業は、平成 11 年 4 月 1 日から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の第三章（第 12 条～16 条）に基づき、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」（平成 11 年 3 月 19 日健医発第 458 号）により国の施策として位置づけられた。

本県でも、県内の患者発生状況、病原体の検索等感染症に関する情報を迅速かつ的確に把握し、その情報を速やかに地域に還元することにより、医療機関における適切な初期診断に役立てるとともに、予防接種、集団生活の管理、衛生教育など適切な予防措置を講じ、感染症の発生及びまん延の未然防止、有効かつ的確な感染症対策に資することを目的として、「長崎県感染症発生動向調査事業実施要綱」（平成 28 年 2 月 15 日に一部改正）が定められている。

本調査では全数把握及び定点把握の感染症を対象とし、全数把握の対象感染症については、患者を診断した医師が最寄りの保健所に届出を行うよう義務づけられている。また、定点把握の対象感染症は、県内の感染症指定届出機関（定点医療機関）から毎週、管轄保健所に患者数が報告されている。長崎県感染症情報センターでは、患者情報及び病原体情報について、週及び月単位で国への報告をおこない、国の集計を経て還元された情報を用いて収集・分析した結果を長崎県医療政策課、政令市保健所及び県立保健所、長崎県医師会などの関係機関に提供している。

なお、類型による医師からの届出・報告基準については下表のとおりである。

類 型	届出・報告	対 象
一類～四類感染症（全数）	直ちに	全医療機関
五類感染症（ " ）	7 日以内	"
指定感染症（ " ）	直ちに	"
五類感染症（定点）小児科	週単位	定点医療機関
" インフルエンザ	"	"
" 眼科	"	"
" STD	月単位	"
" 基幹	週及び月単位	"

2 対象感染症

（1）全数把握の対象感染症

一類感染症

- （1）エボラ出血熱、（2）クリミア・コンゴ出血熱、（3）痘そう、（4）南米出血熱、（5）ペスト、（6）マールブルグ病、（7）ラッサ熱

二類感染症

(8) 急性灰白髄炎、(9) 結核、(10) ジフテリア、(11) 重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）、(12) 中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る）、(13) 鳥インフルエンザ（H5N1）、(14) 鳥インフルエンザ（H7N9）

三類感染症

(15) コレラ、(16) 細菌性赤痢、(17) 腸管出血性大腸菌感染症、(18) 腸チフス、(19) パラチフス

四類感染症

(20) E型肝炎、(21) ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、(22) A型肝炎、(23) エキノコックス症、(24) 黄熱、(25) オウム病、(26) オムスク出血熱、(27) 回帰熱、(28) キャサヌル森林病、(29) Q熱、(30) 狂犬病、(31) コクシジオイデス症、(32) サル痘、(33) ジカウイルス感染症、(34) 重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFVウイルスであるものに限る）、(35) 腎症候性出血熱、(36) 西部ウマ脳炎、(37) ダニ媒介脳炎、(38) 炭疽、(39) チクングニア熱、(40) つつが虫病、(41) デング熱、(42) 東部ウマ脳炎、(43) 鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く）、(44) ニパウイルス感染症、(45) 日本紅斑熱、(46) 日本脳炎、(47) ハンタウイルス肺症候群、(48) Bウイルス病、(49) 鼻疽、(50) ブルセラ症、(51) ベネズエラウマ脳炎、(52) ヘンドラウイルス感染症、(53) 発しんチフス、(54) ボツリヌス症、(55) マラリア、(56) 野兔病、(57) ライム病、(58) リッサウイルス感染症、(59) リフトバレー熱、(60) 類鼻疽、(61) レジオネラ症、(62) レプトスピラ症、(63) ロッキー山紅斑熱

五類感染症（全数）

(64) アメーバ赤痢、(65) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）、(66) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、(67) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）、(68) クリプトスポリジウム症、(69) クロイツフェルト・ヤコブ病、(70) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(71) 後天性免疫不全症候群、(72) ジアルジア症、(73) 侵襲性インフルエンザ菌感染症、(74) 侵襲性髄膜炎菌感染症、(75) 侵襲性肺炎球菌感染症、(76) 水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）、(77) 先天性風しん症候群、(78) 梅毒、(79) 播種性クリプトコックス症、(80) 破傷風、(81) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(82) バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(83) 風しん、(84) 麻しん、(85) 薬剤耐性アシネトバクター感染症

新型インフルエンザ等感染症

(111) 新型インフルエンザ、(112) 再興型インフルエンザ

(2) 定点把握の対象感染症（五類感染症）

五類感染症（定点）

(86) R Sウイルス感染症、(87) 咽頭結膜熱、(88) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(89) 感染性胃腸炎、(90) 水痘、(91) 手足口病、(92) 伝染性紅斑、(93) 突発性発しん、(94) 百日咳、(95) ヘルパンギーナ、(96) 流行性耳下腺炎、(97) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）、(98) 急性出血性結膜炎、(99) 流行性角結膜炎、(100) 性器クラミジア感染症、(101) 性器ヘルペスウイルス感染症、(102) 尖圭コンジローマ、(103) 淋菌感染症、(104) クラミジア肺炎（オウム病を除く）、(105) 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）、(106) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(107) マイコプラズマ肺炎、(108) 無菌性髄膜炎、(109) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(110) 薬剤耐性緑膿菌感染症

法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(113) 摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く）若しくは(114) 発熱及び発しん又は水疱（ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く）

3 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象

二類感染症

(13) 鳥インフルエンザ（H5N1）

4 定点医療機関数

患者定点

管轄保健所	ｲﾝﾌﾙｴﾝزا (週)	小児科 (週)	眼科 (週)	基幹 (週)	STD (月)	基幹 (月)	疑似症
長崎市	17	10	3	3	3	3	26
佐世保市	11	6	1	1	2	1	17
西彼	6	4	1	1	1	1	8
県央	10	6	1	1	2	1	17
県南	8	5	1	1	1	1	10
県北	4	3	0	1	1	1	6
五島	5	4	1	1	0	1	5
上五島	3	2	0	1	0	1	3
壱岐	3	2	0	1	0	1	4
対馬	3	2	0	1	0	1	4
合計	70	44	8	12	10	12	100

()内は報告単位を示す。

病原体定点

管轄保健所	ｲﾝﾌﾙﾝزا (週)	小児科 (週)	眼科 (週)	基幹 (週)
長崎市	1	1	1	3
佐世保市	2	1	0	1
西彼	0	1	0	1
県央	1	2	0	1
県南	0	1	0	1
県北	0	1	0	1
五島	1	0	0	1
上五島	1	0	0	1
壱岐	1	0	0	1
対馬	1	0	0	1
合計	8	7	1	12

()内は報告単位を示す。

5 感染症情報の提供

毎週、「長崎県感染症発生動向調査速報」を作成し、長崎県医療政策課、県立保健所、政令市保健所、長崎市保健環境試験所等にEメールで速報を配信し、各保健所から定点医療機関へ報告をおこなっている。また、長崎県医療政策課を通じ、教育庁体育保健課等関係機関及び長崎県医師会に報告がなされている。さらに、一般県民及び医療機関の関係者に向けて感染症情報のホームページを開設し、感染症の予防及び拡大防止に寄与している。

6 報告週対応表(平成28年)

週	月	火	水	木	金	土	日	週	月	火	水	木	金	土	日		
1月	1	4	5	6	7	8	9	10	7月	27	4	5	6	7	8	9	10
	2	11	12	13	14	15	16	17		28	11	12	13	14	15	16	17
	3	18	19	20	21	22	23	24		29	18	19	20	21	22	23	24
	4	25	26	27	28	29	30	31		20	25	26	27	28	29	30	31
2月	5	1	2	3	4	5	6	7	8月	31	1	2	3	4	5	6	7
	6	8	9	10	11	12	13	14		32	8	9	10	11	12	13	14
	7	15	16	17	18	19	20	21		33	15	16	17	18	19	20	21
	8	22	23	24	25	26	27	28		34	22	23	24	25	26	27	28
	9	29	1	2	3	4	5	6		35	29	30	31	1	2	3	4
3月	10	7	8	9	10	11	12	13	9月	36	5	6	7	8	9	10	11
	11	14	15	16	17	18	19	20		37	12	13	14	15	16	17	18
	12	21	22	23	24	25	26	27		38	19	20	21	22	23	24	25
	13	28	29	30	31	1	2	3		39	26	27	28	29	30	1	2
4月	14	4	5	6	7	8	9	10	10月	40	3	4	5	6	7	8	9
	15	11	12	13	14	15	16	17		41	10	11	12	13	14	15	16
	16	18	19	20	21	22	23	24		42	17	18	19	20	21	22	23
	17	25	26	27	28	29	30	1		43	24	25	26	27	28	29	30
5月	18	2	3	4	5	6	7	8		44	31	1	2	3	4	5	6
	19	9	10	11	12	13	14	15	11月	45	7	8	9	10	11	12	13
	20	16	17	18	19	20	21	22		46	14	15	16	17	18	19	20
	21	23	24	25	26	27	28	29		47	21	22	23	24	25	26	27
	22	30	31	1	2	3	4	5		48	28	29	30	1	2	3	4
6月	23	6	7	8	9	10	11	12	12月	49	5	6	7	8	9	10	11
	24	13	14	15	16	17	18	19		50	12	13	14	15	16	17	18
	25	20	21	22	23	24	25	26		51	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	1	2	3		52	26	27	28	29	30	31	1

感染症発生動向調査結果

1 全数把握の対象感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、「法」という)について、平成 28 年に以下のとおり改正が行われた。

	施行日	疾病名(類型)等	変更内容
	平成 28 年 2 月 5 日	「ジカウイルス感染症」	四類感染症への追加
	平成 28 年 11 月 7 日	「医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準」の改正	届出基準、届出様式の変更

改正内容は、「Ⅱ 感染症発生動向調査結果」の該当疾患の項のとおり

上記改正に係る根拠法令は以下のとおり。

法施行令の一部を改正する政令(平成 28 年 2 月 5 日政令第 41 号)
法第 12 条第 1 項及び第 14 条第 2 項に基づく届出の基準等について(一部改正)
(平成 28 年健感発 1107 第 1 号)

本県における平成 28 年の全数把握の対象疾患の届出状況は下記のとおりであった。

(1) 一類感染症

届出なし

(2) 二類感染症

結核

結核は、結核菌群による感染症で、主に飛沫核感染により気道を介して感染する。症状は咳、喀痰、微熱が典型的とされており、胸痛、呼吸困難、血痰、全身倦怠感、食欲不振等を伴うこともあるが、初期には無症状のことも多い。

一昨年は過去5年において最多の届出件数であったが、平成28年は271件の届出があり、前年(270件)に引きつづき少なかった。月の報告数は12~36件で推移した。届出を男女別にみると、男性が141件(52%)、女性が130件(48%)であった。

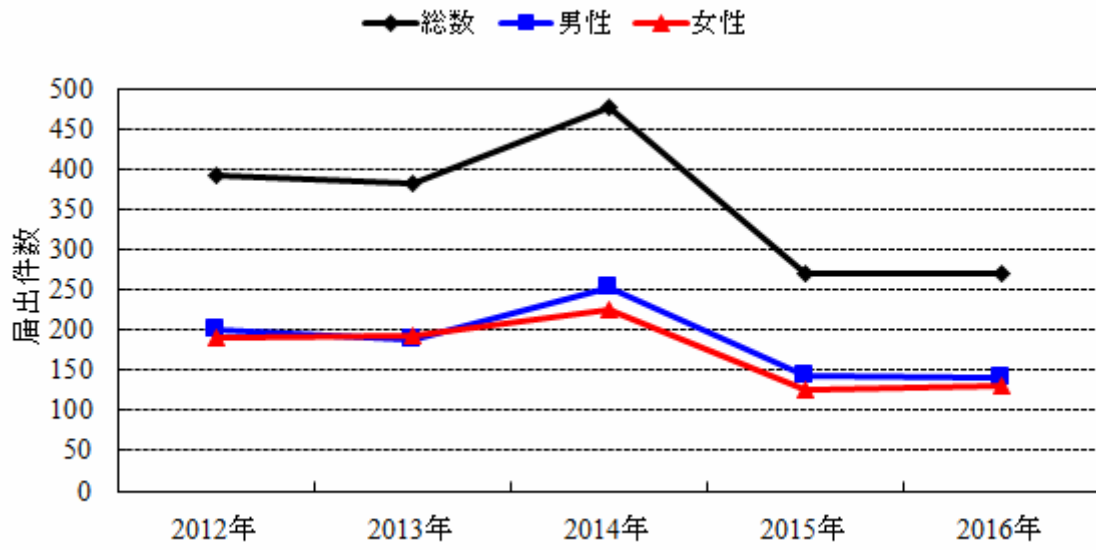
届出の年齢は9ヶ月~97歳。高齢になるにつれ届出数が多く、60歳代以上は212名で全体のおよそ78%を占めていた。

類型別にみると、「患者」219件(前年220件)、「無症状病原体保有者」51件(前年50件)、「感染症死亡疑いの死体」が1件であった。

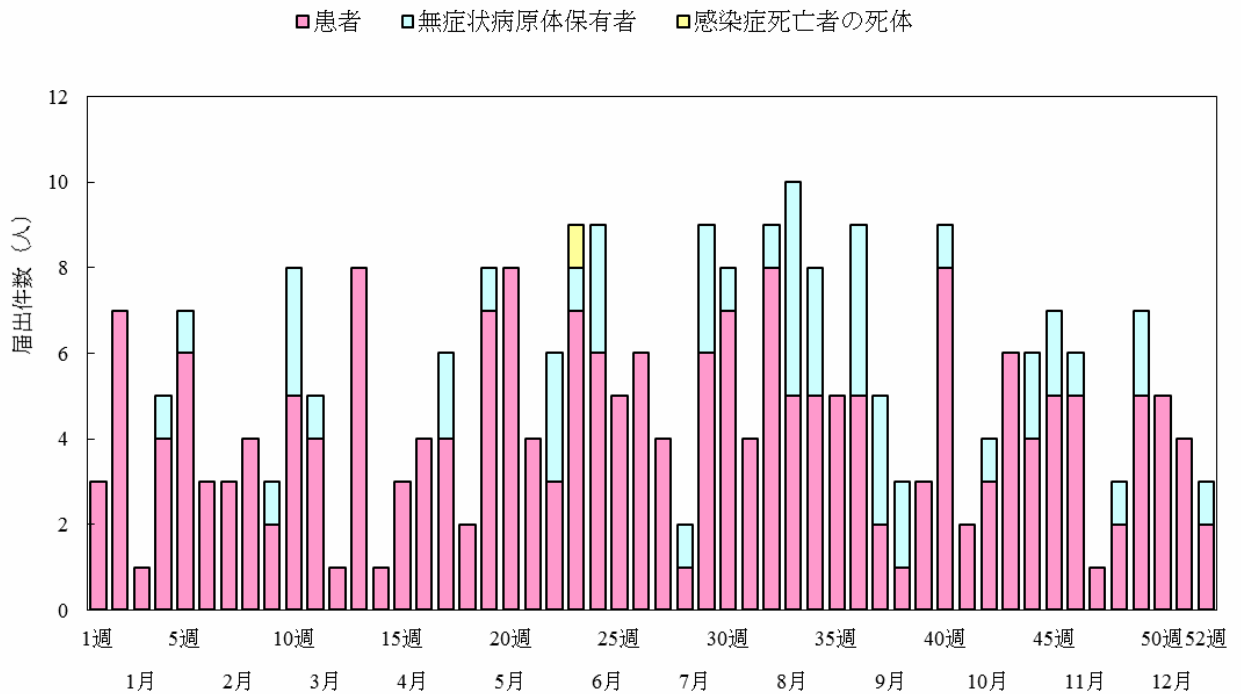
「患者」の年齢別内訳は、80歳代で86件、70歳代で42件、90歳以上で36件の順に多く、「無症状病原体保有者」では、60歳代が最も多く17件、続いて50歳代が15件であった。また、男女別にみると、「患者」では、男性が125件、女性が94件と男性の方が多く、「無症状病原体保有者」では、男性が16件、女性が36件となっている。

「患者」の職業をみると無職が80%と最も多く、次いで会社員や自営業といった職種が5%を占めていた。一方「無症状病原体保有者」の職業は、無職が35%、次いで医療・介護従事者が33%であった。

平成28年は集団感染の発生はなかったが、例年と同様に家族内、職場内での感染事例が多数散見された。また、医療機関や介護施設における従事者と利用者の接触による感染事例も認められた。



結核の届出件数の推移



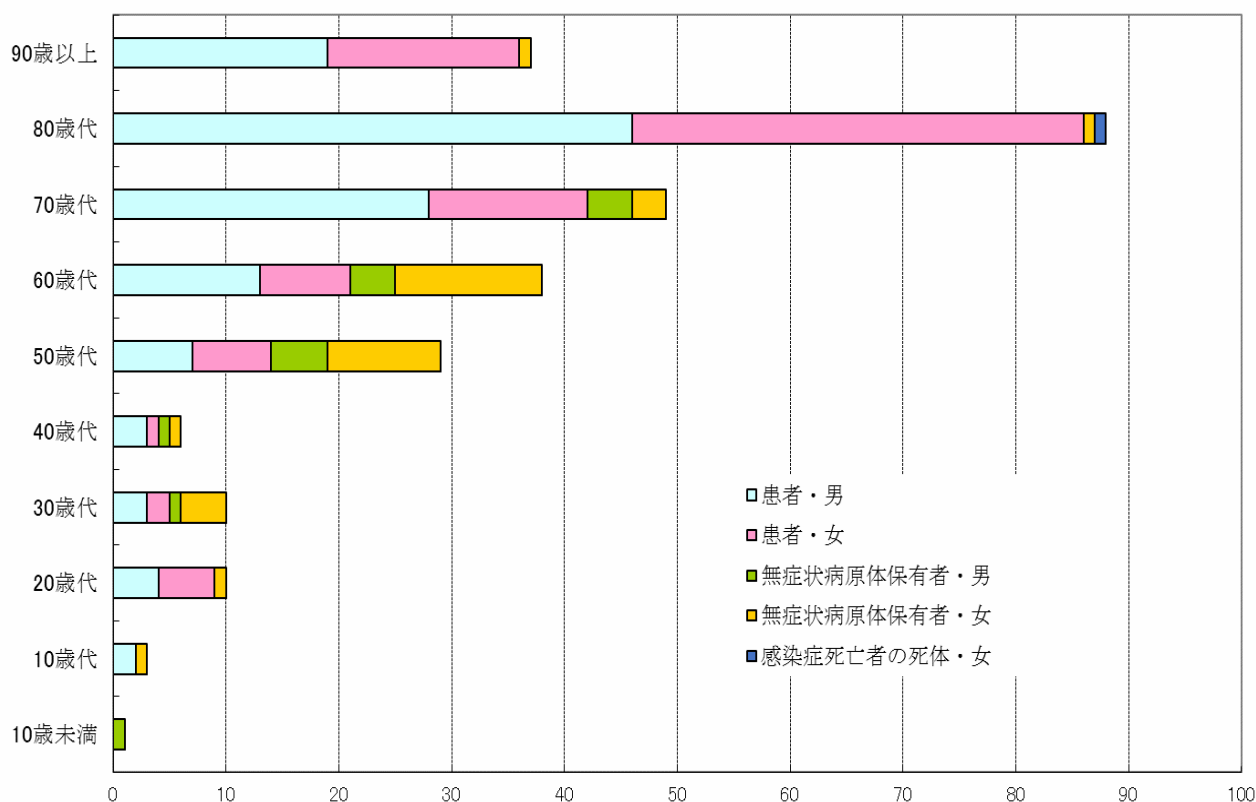
結核の週別届出件数

患者年齢・性別構成

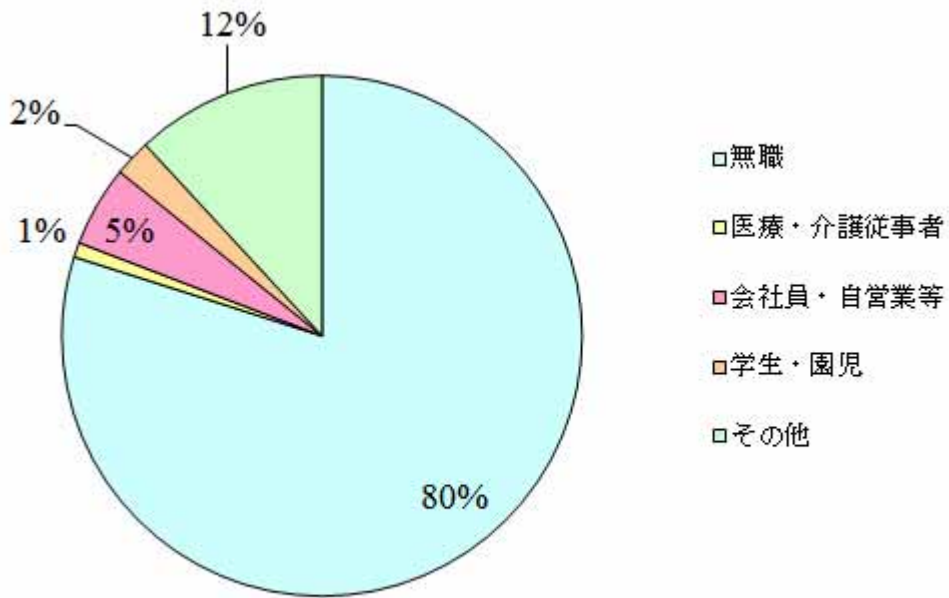
年齢	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	合計
男	0	2	4	3	3	7	13	28	46	19	125
女	0	0	5	2	1	7	8	14	40	17	94
計	0	2	9	5	4	14	21	42	86	36	219

無症状病原体保有者年齢・性別構成

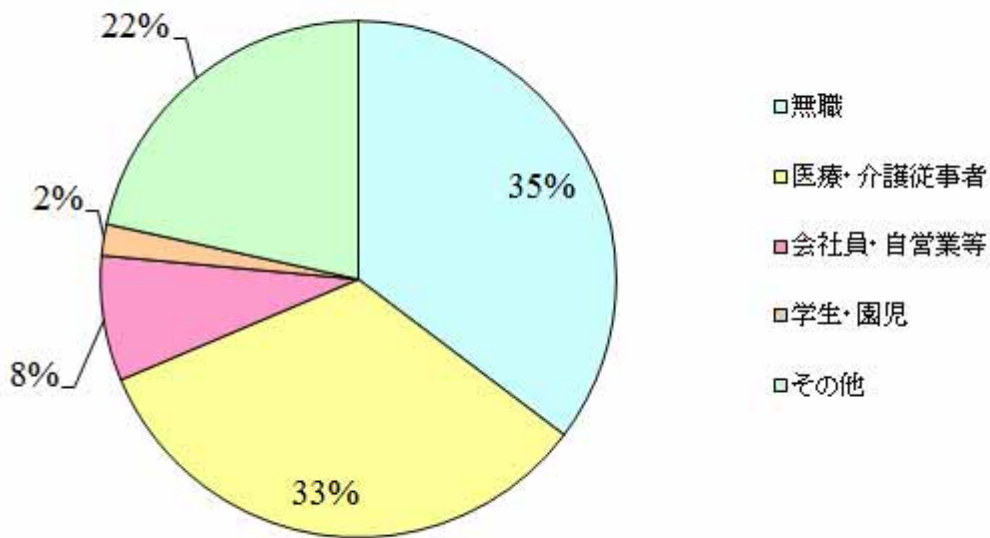
年齢	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	合計
男	1	0	0	1	1	5	4	4	0	0	16
女	0	1	1	4	1	10	13	3	1	1	35
計	1	1	1	5	2	15	17	7	2	1	51



結核の年齢・類型別届出件数



結核患者の職業別割合 (n = 219)



無症状病原体保有者の職業別割合 (n = 51)

(3) 三類感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素 (Verotoxin=VT または Shiga toxin=Stx) を産生する腸管出血性大腸菌の感染によって起こり、腹痛、水様性下痢及び血便を主症状とする全身性の疾患である。さらに、発症後数日から2週間以内に、溶血性尿毒症症候群 (HUS) や脳症などの重篤な合併症を引き起こすことがある。

本疾患の平成28年の届出総数は84件で、前年の50件から34件増加した。その内訳は「患者」としての届出が47件、「無症状病原体保有者」が37件であった。それぞれの月別届出件数を以下に示す。

腸管出血性大腸菌感染症 月別届出件数

(件)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
患者	-	-	1	1	2	3	2	19	5	10	4	-	47
無症状病原体保有者	-	-	5	-	1	5	1	16	3	3	3	-	37
月別合計	-	-	6	1	3	8	3	35	8	13	7	-	84

届出数が最も多かった月は、「患者」「無症状病原体保有者」とともに8月であった(図1)。年齢別に見ると、5歳未満の届出が37件と最も多く、次いで5~9歳(18件)が多かった(図2)。

平成28年はO26による保育園での集団感染事例が2例あった。各内訳は、以下のとおりである。

腸管出血性大腸菌感染症 集団感染事例

事例No.	管轄保健所	検出された血清型	初発患者発病日	集団発生患者合計(初発患者除く)	患者(初発患者除く)	無症状病原体保有者
1	壱岐	O26:H11	2016/8/9	16名	3名	13名
2	県南	O26:H11	2016/8/6	13名	10名	3名

血清型は、「患者」においてO157とO26がともに19件と最も多かった。「無症状病原体保有者」においてO26が21件で最も多く、次いでO157が8件であった。患者および無症状病原体保有者から分離された株の毒素の保有状況をみると、VT1のみを保有する株が50株、VT2のみを保有する株が17株、VT1とVT2を共に保有する株が17株であった。

腸管出血性大腸菌 血清型別内訳

(件)	O157	O26	O111	O103	その他
患者	19	19	3	2	4
無症状病原体保有者	8	21	5	0	3
合計	27	40	8	2	7

腸管出血性大腸菌感染症 一覽

週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第12週 (3月)	吉岐	5歳未満 女性	腹痛、水様性下痢	O111 (VT1)	県内
"	吉岐	5~9歳代 男性	無症状	O111 (VT1)	県内
"	吉岐	5~9歳代 女性	無症状	O111 (VT1)	県内
"	吉岐	5~9歳代 女性	無症状	O111 (VT1)	県内
"	吉岐	5歳未満 男性	無症状	O111 (VT1)	県内
"	吉岐	5~9歳代 男性	無症状	O111 (VT1)	県内
第17週 (4月)	吉岐	5歳未満 男性	水様性下痢、血便、発熱	O103 (VT1)	県内
第19週 (5月)	佐世保市	5歳未満 女性	水様性下痢、血便	O26 (VT1)	県内
"	佐世保市	5~9歳代 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
第20週 (5月)	佐世保市	10歳代 男性	腹痛、水様性下痢、発熱	O103 (VT1)	県内
第22週 (6月)	吉岐	5歳未満 男性	水様性下痢、血便	O26 (VT1)	県内
第23週 (6月)	吉岐	20歳代 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	吉岐	5歳未満 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	吉岐	70歳代 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	吉岐	70歳代 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
第25週 (6月)	吉岐	40歳代 女性	無症状	O157 (VT1VT2)	県内
"	長崎市	50歳代 女性	腹痛、血便、嘔吐、その他(軟便)	O157 (VT1VT2)	県内
第26週 (6月)	県南	5~9歳代 女性	腹痛	O26 (VT1)	県内
第26週 (7月)	西彼	60歳代 女性	無症状	O157 (VT2)	県内
第27週 (7月)	西彼	10歳代 女性	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	O157 (VT1VT2)	県内
第30週 (7月)	県央	5~9歳代 女性	腹痛、水様性下痢、発熱	O26 (VT1)	県内
第31週 (8月)	県央	20歳代 女性	腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐	O157 (VT1VT2)	県内
第32週 (8月)	吉岐	5歳未満 男性	血便	O26 (VT1)	県内
第33週 (8月)	吉岐	20歳代 女性	無症状	O26 (VT1)	県内

週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第33週 (8月)	沓岐	5歳未満 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	50歳代 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	40歳代 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	20歳代 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5~9歳代 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5歳未満 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5歳未満 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5歳未満 女性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5歳未満 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5歳未満 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5歳未満 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5歳未満 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5歳未満 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5歳未満 男性	腹痛、水様性下痢、嘔吐、発熱	O26 (VT1)	県内
"	県南	5~9歳代 男性	水様性下痢、血便、発熱	O26 (VT1)	県内
"	沓岐	5~9歳代 女性	嘔吐	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 男性	その他(軟便)	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 女性	その他(軟便)	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 男性	腹痛、水様性下痢、嘔吐	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 女性	水様性下痢、発熱	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 男性	腹痛、水様性下痢、発熱	O26 (VT1)	県内
"	県南	5~9歳代 男性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 男性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 女性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第33週 (8月)	県南	5歳未満 女性	水様性下痢、発熱	O157 (VT1VT2)	県内
第34週 (8月)	長崎市	10歳代 男性	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	O157 (VT1VT2)	県内
"	県南	5~9歳代 男性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 女性	無症状	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 男性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 男性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内
"	県南	5歳未満 女性	水様性下痢、発熱	O157 (VT1VT2)	県内
第35週 (9月)	県央	30歳代 女性	腹痛、水様性下痢	O157 (VT2)	県内
"	県央	20歳代 男性	腹痛、水様性下痢、血便	O157 (VT1VT2)	県内
"	県央	50歳代 女性	無症状	O157 (VT2)	県内
"	県央	5~9歳代 女性	無症状	O157 (VT2)	県内
第36週 (9月)	佐世保市	70歳代 女性	腹痛、水様性下痢	O157 (VT1VT2)	県内
第37週 (9月)	県央	60歳代 女性	腹痛、水様性下痢、血便	O157 (VT1VT2)	県内
第39週 (9月)	彦岐	10歳代 男性	腹痛、血便、発熱	O121 (VT2)	県内
"	彦岐	30歳代 女性	無症状	O121 (VT2)	県内
第41週 (10月)	県南	50歳代 男性	腹痛、血便、発熱	O157 (VT1VT2)	県内
"	彦岐	70歳代 女性	血便、発熱、溶血性貧血	O156 (VT1)	県内
第42週 (10月)	県南	5歳未満 女性	腹痛、その他(軟便)	O157 (VT2)	県内
"	県南	5歳未満 女性	無症状	O157 (VT2)	県内
"	県南	20歳代 女性	無症状	O157 (VT2)	県内
"	県南	5歳未満 女性	発熱、その他(軟便)	O157 (VT2)	県内
"	県南	5歳未満 男性	腹痛、水様性下痢	O157 (VT2)	県内
"	県南	5歳未満 女性	水様性下痢	O157 (VT2)	県内
"	県南	5~9歳代 女性	腹痛、水様性下痢、血便	O157 (VT2)	県内
"	県北	5~9歳代 男性	水様性下痢	O121 (VT2)	県内

推定 感染地域	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第42週 (10月)	佐世保市	40歳代 女性	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	O1 (VT2)	県内
"	県南	20歳代 女性	腹痛、水様性下痢	O157 (VT2)	県内
第43週 (10月)	県央	20歳代 女性	無症状	O91 (VT1)	県内
第44週 (11月)	西彼	5歳未満 女性	水様性下痢、血便、嘔吐、発熱 痙攣、脳症	O157 (VT1VT2)	県内
"	県央	5~9歳代 女性	腹痛、水様性下痢	O111 (VT1VT2)	県内
"	県央	5~9歳代 男性	腹痛、水様性下痢	O111 (VT1VT2)	県内
第46週 (11月)	県南	5歳未満 女性	腹痛、水様性下痢、嘔吐	O157 (VT1VT2)	県内
"	県南	50歳代 女性	無症状	O128 (VT1VT2)	県内
第47週 (11月)	県南	5~9歳代 女性	無症状	O157 (VT2)	県内
"	県南	30歳代 女性	無症状	O157 (VT1VT2)	県内

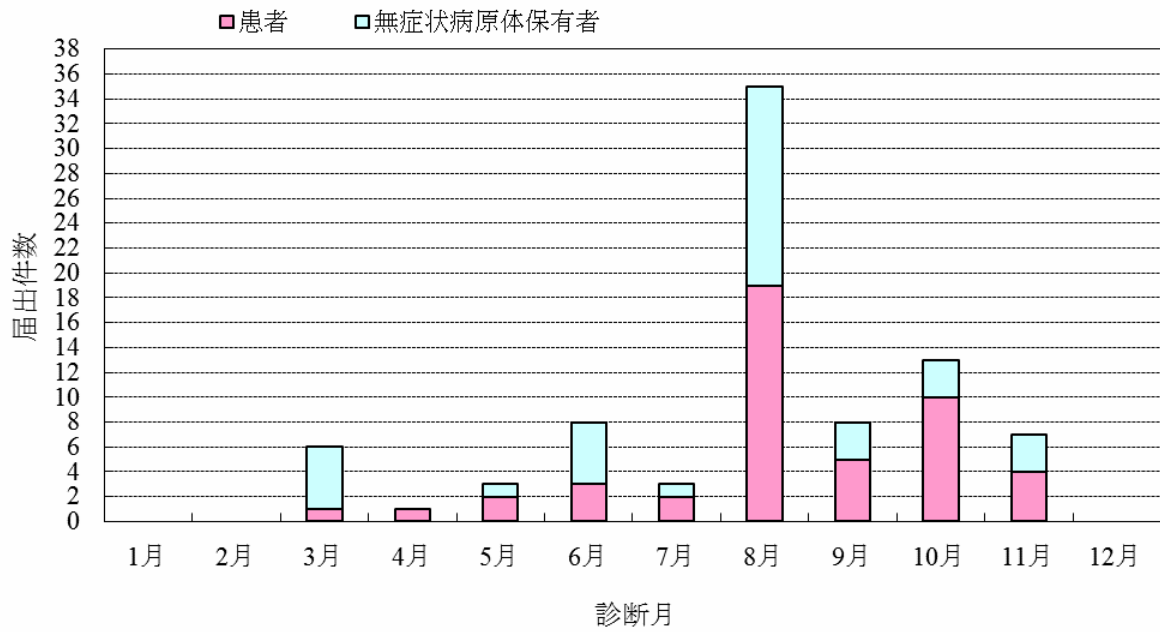


図1 腸管出血性大腸菌感染症 月別届出数

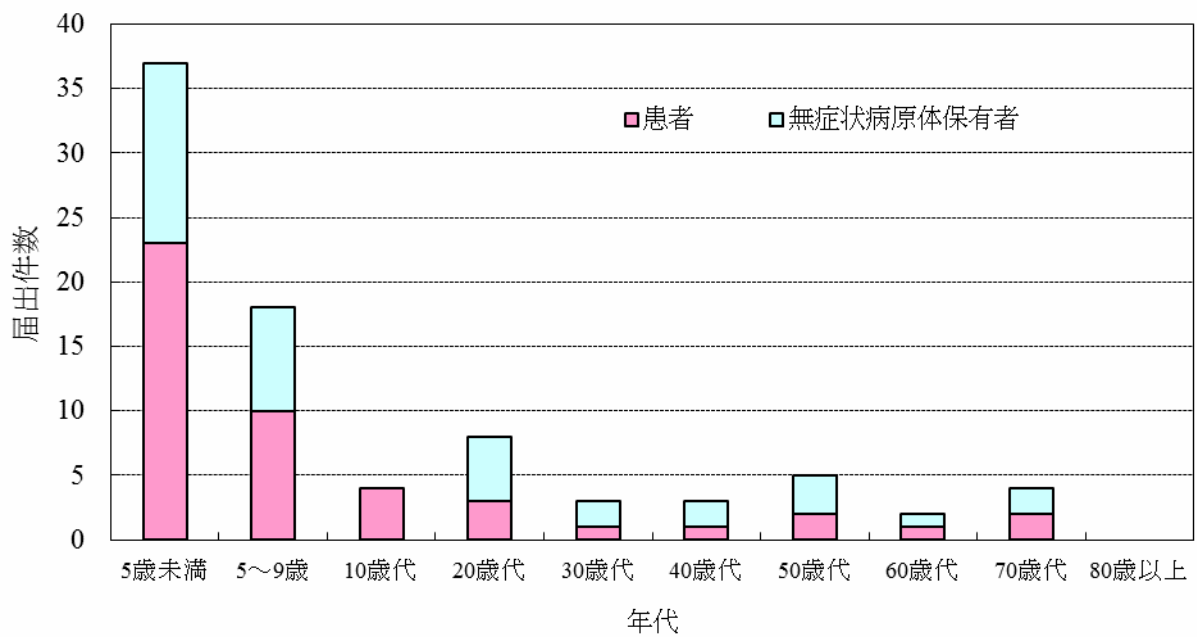


図2 腸管出血性大腸菌感染症 年齢別届出総数

(4) 四類感染症

E 型肝炎

E 型肝炎は、E 型肝炎ウイルスによる感染症で、主な感染経路は汚染された食品や水、動物の臓器や肉の生食による経口感染である。平均 6 週間の潜伏期を経て、発熱、全身倦怠感、悪心、食欲不振などの消化器症状、黄疸などの急性肝炎を呈する。平成 28 年は、1 月に 1 件の届出があった。届出患者の推定感染年月日および経路は不明であった。

E 型肝炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 3 週 (1 月)	長崎市	80 歳代 男性	全身倦怠感・黄疸・肝機能異常	不明	県内

コクシジオイデス症

コクシジオイデス症は、コクシジオイデス属の真菌による感染症である。コクシジオイデス属のヒトへの感染は土壌から空気中に舞い上げられた分生子(孢子)を吸入することで成立する。通常は、感染者の約 60% は不顕性感染で推移し、残りが呼吸器感染症として発病するとされている。平成 28 年は、8 月に 1 件の届出があった。海外の鉱山で従事していたため、その際に感染したものと推定された。

コクシジオイデス症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 34 週 (8 月)	県央	30 歳代 男性	咳・胸部空洞性病変	塵埃感染	アメリカ (アリゾナ)

重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。)

平成 25 年 3 月 4 日から四類感染症として追加された、重症熱性血小板減少症候群(Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS) は、ブニヤウイルス科フレボウイルス属に分類される新しいウイルスによるダニ媒介性感染症である。感染経路はマダニを介したものが中心だが、血液等の患者体液との接触により人から人への感染も報告されている。主な症状は、発熱と消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢)で、ときに頭痛、筋肉痛、神経症状(意識障害、痙攣、昏睡)、リンパ節腫脹なども見られる。

平成 28 年は、5 月と 10 月に各 1 件の届出があった。そのうち 1 件はダニに咬まれているため、その際に感染したものと推定された。残りの 1 件についても動物・蚊・昆虫等からの感染と推定されているが詳細については不明である。

3~11 月にかけては、ウイルスを媒介するダニ類の活動が活発になるため、森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、ダニによる刺咬に注意が必要である。

重症熱性血小板減少症候群 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第22週 (5月)	長崎市	60歳代 男性	発熱・血小板減少・白血球減少	動物・蚊・昆虫等からの 感染(ダニ)	県内
第26週 (7月)	長崎市	80歳代 男性	発熱・頭痛・筋肉痛・血小板減少・白血球減少・ リンパ節腫脹	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内

つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するダニの一種「つつが虫」に刺されることで感染する。5~14日の潜伏期を経て、全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱を伴って発症する。ダニによって媒介される疾患であるため刺し口を確認することが診断の助けになる。

平成28年は1月、5月、6月、8月、9月に1件ずつ、11月に4件、12月に3件の計12件の届出があった。12件中9件については、ダニによる刺し口が確認されている。そのほとんどは野外活動の際にダニに咬まれたことが感染原因として推定された。

3~11月にかけては、つつが虫病を媒介するダニ類が活発になる時期であるため、そのような時期には、森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業をおこなうなど、ダニによる刺咬に注意が必要である。

つつが虫病 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第2週 (1月)	県南	40歳代 女性	発熱・刺し口・発疹	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
第18週 (5月)	県北	30歳代 男性	発熱・刺し口・発疹	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
第22週 (6月)	佐世保市	70歳代 女性	発熱・発疹	動物・蚊・昆虫等からの 感染(ダニ)	県内
第32週 (8月)	佐世保市	60歳代 男性	発熱・刺し口・発疹・その他(倦怠感)	動物・蚊・昆虫等からの 感染(マダニ)	県内
第36週 (9月)	県北	80歳代 女性	頭痛・発熱・発疹・その他(横紋筋融解症・DIC)	その他(不明)	県内
第45週 (11月)	吉岐	90歳代 女性	発熱・刺し口・発疹	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
"	五島	90歳代 男性	発熱・刺し口・リンパ筋腫脹・発疹	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
第46週 (11月)	西彼	70歳代 女性	発熱・刺し口・発疹	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
第47週 (11月)	佐世保市	50歳代 女性	発熱・刺し口・発疹	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
第49週 (12月)	佐世保市	70歳代 男性	発熱・刺し口・発疹	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
第50週 (12月)	県南	70歳代 女性	発熱・発疹・その他(意識障害・肝機能異常)	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内

第51週 (12月)	県央	50歳代 女性	発熱・刺し口・発疹・その他(筋肉痛・肝機能障害)	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
---------------	----	------------	--------------------------	-------------------	----

デング熱

デング熱は主としてネッタイシマカやヒトスジシマカによって媒介されるデングウイルスによる感染症で、アジア、太平洋の諸島、オーストラリア北部、アフリカ、中南米の熱帯や亜熱帯地域で広く流行している。3~7日間の潜伏期の後に突然の発熱で発症し、頭痛、眼窩痛、筋肉痛、関節痛を伴うことが多い。患者の一部は、解熱の時期に血漿漏出や血小板減少による出血傾向に基づく症状(デング出血熱)が出現する。

デング熱の届出は、9月に1件の届出があった。海外における感染が疑われ、「病型」は「デング出血熱」であった。

わが国にはデングウイルスは常在していないとされているが、平成26年8月に、海外渡航歴がなく、東京都内の公園等で蚊に刺され感染したと考えられる国内感染例が多数発生した。これを受け、「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」が策定され、本県においても平成27年より感染症媒介蚊の調査を実施している。

デング熱 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第38週 (9月)	長崎市	60歳代 男性	発熱・2日以上続く発熱・発疹・血小板減少・100,000/MM3以下の血小板減少・白血球減少・出血・血清蛋白の低下・TOURNIQUETテスト陽性	動物・蚊・昆虫等 からの感染	インド (ジャイプール)

日本紅斑熱

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺されることで感染する。2~8日の潜伏期を経て頭痛、全身倦怠感、高熱などを伴って発症する。つつが虫病同様、ダニによって媒介される疾患であるため、刺し口を確認することが診断の助けになる。

平成28年の届出は8件であった。罹患した年齢層は、50歳代から70歳代で女性の割合が多かった。届出のうち5件で刺し口が確認され、ほとんどが田畑での農作業中の感染と推定された。

森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、ダニによる刺咬に注意が必要である。

日本紅斑熱 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第1週 (1月)	佐世保市	50歳代 女性	発熱・刺し口・発疹・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの 感染(ダニ疑い)	県内
第24週 (6月)	佐世保市	60歳代 男性	発熱・頭痛・発疹・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内

第24週 (6月)	佐世保市	60歳代 男性	発熱・発疹	動物・蚊・昆虫等からの 感染(マダニ咬傷あり)	県内
第27週 (7月)	長崎市	70歳代 女性	発熱・発疹・DIC・肝機能異常・その他(意識障 害)	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
第29週 (7月)	佐世保市	70歳代 女性	発熱・頭痛・発疹・DIC・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの 感染(マダニ)	県内
第35週 (9月)	佐世保市	60歳代 女性	発熱・刺し口・発疹・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
第43週 (10月)	佐世保市	60歳代 女性	発熱・刺し口・発疹・DIC・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの 感染(マダニ)	県内
第46週 (11月)	対馬	60歳代 女性	発熱・頭痛・刺し口・発疹・DIC・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内

日本脳炎

日本脳炎は、主にコガタアカイエカによって媒介される日本脳炎ウイルスによるウイルス感染症であり、1~2週間の潜伏期を経てヒトに重篤な急性脳炎をおこす。感染しても発症するのは100~1000人に1人程度で、大部分は無症状で終わるが、発病すると死亡率は20~40%と高く、死亡や後遺症の危険性が高い。ヒトからヒトへの感染はなく、増幅動物(ブタ)の体内でいったん増えて血液中に出てきたウイルスを、蚊が吸血し、その上でヒトを刺した時に感染する。日本ではワクチンの定期接種により流行が阻止されており、1990年代以降発生数は毎年10人以下であったが、平成28年9月に本県の対馬市から4件の届出があり、注目された。このことを受け、本県では平成28年より対馬市での蚊の捕獲調査を行い、日本脳炎ウイルスの保有状況を調査している。また、日本脳炎の流行予測を目的として毎年7月~9月の間に日本脳炎ウイルスの増幅動物であるブタのウイルス感染状況を調査しており、例年、ブタからの日本脳炎ウイルス抗体の検出またはウイルス検出に基づき、注意喚起をしている。

新たな感染予防のためにも発症率の高い小児や高齢者におけるワクチンの接種促進、蚊に刺されないために長袖の着用や虫除けスプレーの使用など防蚊対策に努めることが重要である。

日本脳炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第39週 (9月)	対馬	80歳代 男性	発熱・1頭部硬直・脳神経麻痺・運動失調	動物・蚊・昆虫等からの 感染	県内
"	対馬	70歳代 男性	発熱・意識障害	動物・蚊・昆虫等からの 感染(蚊)	県内
"	対馬	80歳代 女性	発熱・頭痛・嘔吐・その他(全身倦怠感・食欲 低下)	動物・蚊・昆虫等からの 感染(蚊)	県内
"	対馬	70歳代 男性	発熱・頭痛・1頭部硬直・意識障害・運動失調	動物・蚊・昆虫等からの 感染(蚊)	県内

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症である。本菌は、土壌などの自然環境中に存在する細菌であるため、汚染された土壌の砂塵や汚染された水(冷却塔水や給湯水など)のエアロゾルを吸入して空気感染または飛沫感染する。病型は、劇症型の「肺炎型」と一過性の「ポ

ンティアック熱型」がある。「肺炎型」はレジオネラ症の大半を占め、肺炎を主徴とする。2～10日の潜伏期の後に、全身倦怠感、悪寒、高熱の急性感染症状に始まり、続いて乾性咳、喀痰、呼吸困難、胸痛などの呼吸器症状が出現する。意識障害や歩行障害などの中枢神経系の症状や腹痛、下痢等の消化器症状も見られる。「ポンティアック熱型」は、12時間から2～3日の潜伏期を経て集団で発症する傾向にあり、発熱を主徴とし、全身倦怠感、悪寒、頭痛、筋肉痛などを伴うが肺炎はみられない。

平成28年の届出は12件であった。月別にみると、2月に1件、3月に1件、7月に3件、8月に2件、9月に2件、10月に1件、11月に1件、12月に1件の報告がなされた。「病型」は全て、肺炎を主症状とする「肺炎型」であった。届出患者の年齢層は、60歳代から80歳代で、届出患者全てが男性であった。

推定感染地域は全て「県内」で、届出のうち約半数の5件が感染経路「不明」とされたが、残りの7件は「水系感染」と推定された。

レジオネラ症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第7週 (2月)	県央	60歳代 男性	発熱・下痢・多臓器不全	その他(不明)	県内
第10週 (3月)	県央	60歳代 男性	発熱・肺炎	その他(不明)	県内
第26週 (7月)	西彼	70歳代 男性	発熱・肺炎	その他(不明)	県内
第27週 (7月)	長崎市	60歳代 男性	発熱・意識障害・肺炎	その他(不明)	県内
第30週 (7月)	県央	70歳代 男性	呼吸困難・肺炎・その他(呼吸不全)	水系感染	県内
第31週 (8月)	西彼	60歳代 男性	発熱・咳嗽・呼吸困難・意識障害・肺炎・多臓器不全	水系感染 (自宅庭の水瓶)	県内
第35週 (8月)	県央	70歳代 男性	発熱・咳嗽・呼吸困難・肺炎	水系感染 (シャワー)	県内
第36週 (9月)	県央	80歳代 男性	咳嗽・呼吸困難・肺炎・その他(喀痰増量・喘鳴)	水系感染	県内
第38週 (9月)	県央	70歳代 男性	発熱・咳嗽・呼吸困難・肺炎・多臓器不全	水系感染 (温泉疑い)	県内
第41週 (10月)	県央	70歳代 男性	発熱・咳嗽・肺炎	水系感染 (入浴施設)	県内
第44週 (11月)	県北	60歳代 男性	発熱・咳嗽・肺炎	その他 (田の水抜き)	県内
第52週 (12月)	長崎市	60歳代 男性	呼吸困難・下痢・肺炎	水系感染 (温泉歴あり)	県内

レプトスピラ症

レプトスピラ症は、病原性レプトスピラ感染に起因する人獣共通の細菌(スピロヘータ)感染症である。保菌動物(ドブネズミなど)の尿で汚染された水や土壌から経皮的あるいは経口

的に感染する。レプトスピラ症は急性熱性疾患であり、感冒様症状のみで軽快する軽症型から、黄疸、出血、腎障害を伴う重症型（ワイル病）まで多彩な症状を示す。

近年では衛生環境の向上などにより患者数（死亡者数）は著しく減少した。しかしながら、現在でも散発的な発生は各地で認められており、本県でも平成 28 年に届出が 1 件あった。農作業していた畑にいたネズミからの感染と推定された。国外でのレプトスピラ症の流行は全世界的に起こっており、海外渡航者が増加している近年、輸入感染症としてのレプトスピラ症にも注目していく必要がある。

レプトスピラ症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 39 週 (9 月)	県央	30 歳代 男性	発熱・結膜充血・その他（関節痛・全身倦怠感・髄膜炎症状）	その他（農作業）	県内

(5) 五類感染症

アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は、赤痢アメーバの感染に起因する疾患である。病型は下痢、粘血便、しぶり腹、鼓腸、排便時の下腹部痛などの消化器症状を主症状とする「腸管アメーバ症」と腸管部よりアメーバが血行性に転移することにより、肝膿瘍や高熱、嘔吐、体重減少、全身倦怠感を呈する「腸管外アメーバ症」に大別される。感染経路には、赤痢アメーバに汚染された飲食物などの経口摂取や性的接触がある。

平成28年の届出は、2月に2件、8月、9月、10月に1件ずつの計5件であった。

推定される感染原因・感染経路は、「性的接触」が2件で、「経口感染（飲食物の種類不明）」が1件、残りの2件は「不明」で、推定感染地域は、全件が「県内」であった。

先進国において同性間の性行為をする男性がアメーバ赤痢のハイリスクグループと言われており、平成28年の長崎県では、同性間が1件、同性と異性両方との性的接触で1件の届け出があった。病型別にみると、すべて「腸管アメーバ症」と診断され、下痢や粘血便といった症状があつて医療機関を受診する場合はほとんどであった。

アメーバ赤痢 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第7週 (2月)	長崎市	30歳代 男性	下痢・鼓腸・大腸粘膜異常所見	性的接触 (性交・同性間・異性間)	県内
第8週 (2月)	長崎市	30歳代 男性	下痢・大腸粘膜異常所見	性的接触 (経口・同性間)	県内
第34週 (8月)	長崎市	40歳代 男性	下痢	その他(不明)	県内
第38週 (9月)	県央	20歳代 女性	下痢・粘血便・しぶり腹・鼓腸・大腸粘膜異常所見	その他(不明)	県内
第42週 (10月)	西彼	60歳代 男性	粘血便	経口感染 (飲食物の種類不明)	県内

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）

ウイルス性肝炎は、ウイルス感染を原因とする急性肝炎（B型肝炎、C型肝炎、その他のウイルス性肝炎）である。肝炎ウイルスは血液を介して感染し、特にB型肝炎ウイルスは、母子感染や性感染にも注意が必要である。症状は、一般に全身倦怠感、感冒様症状、食欲不振、悪感、嘔吐などの症状で急性に発症して、数日後に褐色尿や黄疸を伴うことが多い。発熱、肝機能異常、その他の全身症状を呈する発病後間もない時期には、かぜあるいは急性胃腸炎などと類似した症状を示すとされている。

平成28年の届出は3月、10月に2件ずつの計4件であった。届出での「病型」は「B型」が3件、「C型」が1件であった。推定感染地域は「国内」が1件、「県内」が3件であり、感染原因・感染経路としては、不明が2件、性的接触が1件、輸血・血液製剤が1件で、いずれもワクチン接種歴は無かった。

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第10週 (3月)	長崎市	70歳代 男性	肝機能異常・黄疸	その他(不明)	国内
第11週 (3月)	長崎市	30歳代 男性	全身倦怠感・褐色尿・発熱・肝機能異常・黄疸	輸血・血液製剤	県内
第41週 (10月)	県央	20歳代 女性	発熱・肝機能異常・その他(関節痛)	性的接触 (性交・異性間)	県内
第42週 (10月)	県央	10歳代 女性	全身倦怠感・黄疸	その他(不明)	県内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（Carbapenem-Resistant Enterobacteriaceae：CRE）感染症は、メロペネムなどのカルバペネム系薬剤及び広域 - ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症であり、平成26年9月19日の感染症法施行規則の改正に伴い5類感染症に追加された。CREは、菌そのものの病原性は変化していないので、感染を起こした場合の症状や検査所見が感受性菌と大きく変わっているわけではない。しかし、各種抗菌薬を用いた治療に抵抗性を示すため、難治感染を起こしやすく、重症感染に至ると致死率が高まるため注意が必要な疾患である。届出の際には、まず検出した菌の所見がCREの条件を満たすことが前提となり、菌が分離された検体の種類により報告の必要性が判断される。「通常無菌的である」検体（血液、腹水、髄液等）からCREの条件を満たす菌が分離された場合は自動的に届出対象となる。「通常無菌的ではない」検体（喀痰、膿、尿等）から検出した場合は、その菌が感染症の起因菌であると判断された場合のみ届出対象となる。

平成28年は、年間を通して37件の届出があった。診断の根拠となる検査用検体は、「通常無菌的である」検体からの検出が10件、「通常無菌的ではない」検体からの検出が27件であった。患者は、70歳以上が24件と大半を占めていたが、乳幼児の症例が2件、10代が1件報告された。

CRE 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第7週 (2月)	長崎市	80歳代 男性	肺炎	その他(誤嚥)	県内
第10週 (3月)	長崎市	30歳代 女性	尿路感染症	医療器具関連感染 (尿路カテーテル)	県内
"	長崎市	50歳代 男性	尿路感染症	以前からの保菌 (不明)	県内
第17週 (4月)	長崎市	0歳 男性	尿路感染症	その他(尿路感染繰り返し 福岡大学でフォロー中)	県内
"	長崎市	60歳代 女性	菌血症	医療器具関連感染 (中心静脈カテーテル)	県内
第18週 (5月)	長崎市	70歳代 男性	腹膜炎	手術部位感染 (回盲部の除術)	県内

第19週 (5月)	佐世保市	90歳代 女性	尿路感染症	以前からの保菌(不明)	県内
"	長崎市	80歳代 男性	肺炎	院内感染(不明)	県内
"	長崎市	80歳代 女性	肺炎・髄膜炎・敗血症	その他(プレドニン 15-12.5mg内服)	県内
第21週 (5月)	長崎市	60歳代 男性	胆管炎	以前からの保菌 (胆管・腸管)	県内
"	県央	60歳代 女性	腸炎・菌血症	以前からの保菌(不明)	県内
第25週 (6月)	長崎市	80歳代 女性	尿路感染症	医療器具関連感染 (尿路カテーテル)	県内
第28週 (7月)	長崎市	70歳代 男性	胆管炎	以前からの保菌(胆管)	県内
第29週 (7月)	長崎市	70歳代 男性	尿路感染症	医療器具関連感染 (尿路カテーテル)	県内
第30週 (7月)	佐世保市	70歳代 女性	尿路感染症・菌血症	以前からの保菌(腸管内)	県内
"	壱岐	70歳代 男性	肺炎・敗血症	以前からの保菌(肺)	県内
第31週 (8月)	佐世保市	80歳代 女性	肺炎	以前からの保菌(腸管内)	国内
第32週 (8月)	長崎市	80歳代 男性	肺炎	医療器具関連感染 (人工呼吸器)	県内
第33週 (8月)	佐世保市	80歳代 女性	肺炎	医療器具関連感染 (人工呼吸器)	県内
第35週 (9月)	長崎市	70歳代 女性	菌血症・敗血症・胆管炎	以前からの保菌 (胆管・腸管)	県内
"	長崎市	80歳代 女性	尿路感染症	医療器具関連感染 (尿路カテーテル)	県内
第36週 (9月)	佐世保市	80歳代 男性	肺炎尿路感染症・菌血症	以前からの保菌(腸管内)	県内
"	長崎市	60歳代 男性	胆嚢炎	以前からの保菌(胆嚢)	県内
第37週 (9月)	佐世保市	40歳代 男性	その他(右単径部膿瘍)	手術部位感染 (単径部切開血栓除去術)	県内
"	長崎市	90歳代 女性	尿路感染症	以前からの保菌(尿路)	県内
第38週 (9月)	佐世保市	80歳代 女性	その他(創部感染)	手術部位感染 (回腸上行結腸切除)	県内
第39週 (9月)	佐世保市	90歳代 女性	菌血症・胆管炎	以前からの保菌(腸管内)	県内
第40週 (10月)	佐世保市	3歳 男性	尿路感染症	以前からの保菌(尿路) 医療器具関連感染 (尿路カテーテル)	県内
第41週 (10月)	長崎市	70歳代 男性	肺炎	院内感染(不明) 医療器具関連感染 (尿路カテーテル)	県内
第42週 (11月)	長崎市	80歳代 女性	胆管炎	その他(不明)	県内
"	長崎市	40歳代 女性	尿路感染症	以前からの保菌(陰部)	県内

第43週 (10月)	長崎市	60歳代 男性	尿路感染症	その他(脊髄損傷・神経因 性膀胱)	県内
第50週 (12月)	長崎市	80歳代 男性	尿路感染症	医療器具関連感染 (尿路カテーテル)	県内
第51週 (12月)	佐世保市	80歳代 男性	その他(創部感染)	手術部位感染 (臍頭十二指腸切除術)	県内
"	長崎市	80歳代 男性	尿路感染症	医療器具関連感染 (尿路カテーテル)	県内
第52週 (12月)	長崎市	50歳代 男性	その他(足壊疽)	以前からの保菌 (足・下腿皮膚)	県内
"	長崎市	10歳代 男性	菌血症	医療器具関連感染 (尿路カテーテル)	国内

急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)

急性脳炎は、ウイルスなど種々の病原体の感染による脳実質の感染症である。多くは何らかの先行感染を伴い、高熱に続き、意識障害や痙攣が突然出現し、持続する。炎症所見が明らかではないが、同様の症状を呈する脳症も含まれる。

平成28年は、1月、4月、5月、11月、12月に1件ずつの計5件の届出があった。病原体については、「A型インフルエンザウイルス」1件、「B型インフルエンザウイルス」1件が判明しており、その他の届出は「病原体不明」であった。

急性脳炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第4週 (1月)	長崎市	30歳代 女性	発熱・意識障害	飛沫・飛沫核 感染	県内
第16週 (4月)	長崎市	10歳代 男性	発熱・痙攣・意識障害・髄液細胞数の増加	その他(不明)	県内
第19週 (5月)	長崎市	10歳代 男性	発熱・頭痛・痙攣・意識障害	飛沫・飛沫核 感染	県内
第48週 (11月)	対馬	50歳代 男性	発熱・意識障害	その他(不明)	県内
第48週 (12月)	対馬	60歳代 男性	発熱・意識障害	その他(不明)	県内

クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病は、100万人に1人の割合で孤発性または家族性に生じ、脳組織の海綿(スポンジ)状変性を特徴とする疾患である。感染因子は、異常プリオン蛋白と考えられており、不可逆的な致死性神経障害を生ずる。

平成28年の届出は、3月に2件、7月、9月に1件ずつの計4件であった。患者は60歳代～70歳代で、病型は医原性プリオン病が1件、古典型クロイツフェルト・ヤコブ病が3件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第10週 (3月)	県北	60歳代 男性	進行性認知症・錐体路症状・錐体外路症状・視覚異常・ 記憶障害・精神知能障害		
第11週 (3月)	県央	70歳代 女性	進行性認知症・ミオクローヌス・小脳症状		
第28週 (7月)	長崎市	70歳代 女性	進行性認知症・ミオクローヌス・錐体路症状・錐体外路 症状・小脳症状・視覚異常・記憶障害・精神、知能障害・ 臨筋強剛・その他(体重減少)		
第38週 (9月)	長崎市	70歳代 女性	進行性認知症・ミオクローヌス・錐体路症状・錐体外路 症状・視覚異常・無動性無言状態・記憶障害・精神、知 能障害・臨床的に頑固な不眠・臨筋強剛		

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

β溶血を示すレンサ球菌を原因とし、突発的に発症して急激に進行する敗血症性ショック病態である。皮膚や粘膜から、通常は菌の存在しない筋肉、脂肪組織や血液に溶血性レンサ球菌が侵入することによって発症する。初発症状は咽頭痛、発熱、消化管症状、全身倦怠感、低血圧などの敗血症症状、筋痛などで、後発症状としては軟部組織病変、循環不全、呼吸不全、血液凝固異常(DIC) 肝腎症状など多臓器不全を来し、日常生活を営む状態から24時間以内に多臓器不全が完結する程度の進行を示す。

平成28年は6月、9月、10月に1件ずつの計3件の届出があった。血液や壊死軟部組織から病原体が分離・同定され、1件は血清群「A群」が検出され、残る2件は「G群」が検出された。

推定感染地域は全件が県内で、感染原因・感染経路は3件のうち2件が「創傷感染」で、残る1件は「不明」であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第26週 (6月)	長崎市	60歳代 女性	ショック・DIC・軟部組織炎	創傷感染(左足)	県内
第39週 (9月)	県央	70歳代 女性	ショック・腎不全・DIC・軟部組織炎	その他(不明)	県内
第41週 (10月)	長崎市	60歳代 女性	ショック・肝不全・腎不全・DIC	創傷感染(左下 腿蜂窩織炎)	県内

後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)

後天性免疫不全症候群は、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)の感染によって免疫不全が生じ、日和見感染症や悪性腫瘍が合併した状態である。HIVに感染した後、無症候性の時期(無治療で約10年以内)を経て、生体が高度の免疫不全症に陥る。主な感染経路には、性的接触、母子感染(経胎盤、経産道、経母乳感染)、血液によるもの(輸血、臓器移植、医療事故、麻薬等の静脈注射など)がある。

届出は、無症状であるが HIV に感染していると診断された場合 (= 「無症状病原体保有者」) と、AIDS 指標疾患 (日和見疾患等) のうち 1 つ以上が明らかに認められ、かつ HIV に感染していると診断された場合 (= 「患者」) になされている。

平成 28 年は 1 月、11 月に 1 件ずつで計 2 件の届出があった。「類型」は、2 件とも「患者」で、報告があったのは 30 歳代と 60 歳代の男性であった。推定される感染地域は「国内」で、感染経路は、「性行為感染」(異性間 1 件、同性間 1 件)であった。

後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む) 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定感染地域 (最近数年間の主 な居住地)
第 3 週 (1 月)	長崎市	30 歳代 男性	発熱・乾性咳嗽・体重減少・全身倦怠感	性行為感染 (同性間)	国内
第 47 週 (11 月)	長崎市	60 歳代 男性	全身倦怠感・発熱・体重減少・めまい・歩 行時のふらつき、ADL の著明な低下・口腔 内に白斑多数	性行為感染 (異性間)	国内

ジアルジア症

消化管寄生虫鞭毛虫の一種であるジアルジアによる原虫感染症である。

糞便中に排出された原虫嚢子により食物や水が汚染されることによって、経口感染を起こす。健康な者の場合には無症状のことも多いが、食欲不振、腹部不快感、下痢等の症状を示すこともあり、免疫不全状態では重篤となることもある。

平成 28 年の届出は 9 月に 1 件で、届出のあった患者は、60 歳代女性で、感染経路は「不明」であった。

ジアルジア症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 36 週 (9 月)	佐世保市	60 歳代 女性	腹部不快感・その他 (血尿・会陰部痛)	その他 (不明)	県内

侵襲性インフルエンザ菌感染症

平成 25 年 4 月 1 日から届出の対象となり、「*Haemophilus influenzae* による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症」と定義されている。発症は一般に突発的であり、上気道炎や中耳炎を伴って発症する場合もある。

平成 28 年は 5 月、6 月、9 月、10 月、11 月に 1 件ずつ計 5 件の届出があった。推定感染経路は 3 件が「その他 (不明)」、残る 2 件は子宮内感染と非代償性肝硬変に伴う免疫不全が疑われ、感染地域はいずれも「県内」と推定された。すべての患者にワクチン接種歴は無かった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第19週 (5月)	長崎市	60歳代 男性	発熱・ショック・多臓器不全	その他(非代償性肝硬変に伴う免疫不全)	県内
第23週 (6月)	長崎市	60歳代 男性	発熱・肺炎・その他(湿性咳嗽)	その他(不明)	県内
第39週 (9月)	佐世保市	80歳代 男性	発熱	その他(不明)	県内
第41週 (10月)	佐世保市	0歳 男性	菌血症・その他(呼吸障害・活気不良)	その他(子宮内感染)	県内
第45週 (11月)	佐世保市	40歳代 女性	発熱・その他(卵管炎)	その他(不明)	県内

侵襲性肺炎球菌感染症

平成25年4月1日から届出の対象となり、「*Streptococcus pneumoniae* による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症」と定義されている。感染経路は飛沫感染がほとんどで、主な症状は、髄膜炎とそれ以外の菌血症を伴う肺炎や敗血症である。

平成28年は計26件の届出があった。推定感染経路は4件が「飛沫・飛沫核感染」、1件が「常在菌」、1件が「ステロイド投与による易感染状態」であったが、20件は「その他(不明)」であった。

感染地域は全て「国内」で、24件が「県内」で感染したと推定された。

ワクチン接種歴は26件中1件が「あり」、その他は「不明」または「なし」であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第1週 (1月)	県央	40歳代 女性	頭痛・発熱・意識障害・髄膜炎・菌血症	その他(不明)	県内
第2週 (1月)	長崎市	60歳代 女性	菌血症	その他(不明)	県内
第4週 (1月)	長崎市	60歳代 女性	頭痛・発熱・全身倦怠感・項部硬直・髄膜炎・菌血症	その他(不明)	県内
第5週 (2月)	県央	60歳代 女性	発熱・肺炎・その他(下痢)	飛沫・飛沫核感染	県内
第6週 (2月)	吉岐	80歳代 男性	発熱	その他(ステロイド投与による易感染状態)	県内
第7週 (2月)	長崎市	40歳代 男性	発熱・咳・全身倦怠感・肺炎・菌血症	その他(不明)	県内
第8週 (2月)	長崎市	60歳代 女性	発熱・咳・全身倦怠感・意識障害・肺炎・菌血症	その他(不明)	県内
第9週 (2月)	長崎市	60歳代 男性	発熱・咳・全身倦怠感・肺炎・肺炎・菌血症	飛沫・飛沫核感染	県内
第10週 (3月)	長崎市	60歳代 男性	頭痛・発熱・項部硬直・中耳炎・菌血症	その他(不明)	国内

第12週 (3月)	佐世保市	80歳代 男性	発熱・全身倦怠感・その他(歩行困難)	飛沫・飛沫核 感染	県内
第13週 (3月)	長崎市	70歳代 男性	咳・全身倦怠感・意識障害・肺炎	その他(不明)	県内
"	県央	70歳代 男性	発熱・菌血症	その他(不明)	県内
第14週 (4月)	県央	70歳代 男性	発熱・肺炎・菌血症	その他(不明)	県内
第15週 (4月)	壱岐	50歳代 男性	発熱	飛沫・飛沫核 感染	県内
第16週 (4月)	県央	80歳代 男性	発熱・全身倦怠感・意識障害・項部硬直・髄膜炎・ 菌血症	その他(不明)	県内
第17週 (4月)	県央	70歳代 男性	発熱・咳・全身倦怠感・肺炎・菌血症	その他(不明)	県内
第18週 (5月)	県央	50歳代 女性	発熱・菌血症	その他(不明)	県内
第19週 (5月)	佐世保市	2歳 男性	発熱・痙攣・意識障害・髄膜炎・菌血症	その他(常在菌)	県内
第24週 (6月)	佐世保市	60歳代 男性	頭痛・発熱・全身倦怠感・嘔吐・意識障害・項部硬 直・髄膜炎・肺炎・菌血症	その他(不明)	県内
"	県央	70歳代 男性	頭痛・嘔吐・意識障害・項部硬直・髄膜炎・菌血症	その他(不明)	県内
第33週 (8月)	佐世保市	60歳代 女性	肺炎・菌血症	その他(不明)	県内
第37週 (9月)	長崎市	60歳代 男性	発熱・意識障害・項部硬直・髄膜炎	その他(不明)	県内
第38週 (9月)	長崎市	60歳代 男性	全身倦怠感・菌血症	その他(不明)	県内
第39週 (9月)	長崎市	60歳代 女性	頭痛・発熱・意識障害・項部硬直・髄膜炎・菌血症・ その他(精神症状)	その他(不明)	国内
第47週 (11月)	長崎市	60歳代 男性	発熱・その他(悪寒・戦慄)	その他(不明)	県内
"	県央	70歳代 男性	発熱・菌血症	その他(不明)	県内

水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る)

平成26年9月19日から届出の対象となり、定義は「水痘・带状疱疹ウイルスの初感染による感染症のうち24時間以上入院を必要とするもの(他疾患で入院中に水痘を発症し、かつ、水痘発症後24時間以上経過した例を含む)」である。

平成28年の届出は、1月、10月、1月(2017年)に1件ずつ計3件で、すべて「臨床診断例」としての届出であった。

水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る) 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第1週 (1月)	県央	30歳代 男性	発熱・その他(小水疱・成人水痘)	その他(不明)	県内

第44週 (10月)	長崎市	60歳代 女性	発疹	飛沫・飛沫核感染	県内
第52週 (29年1月)	長崎市	20歳代 女性	発熱・発疹	飛沫・飛沫核感染	国内

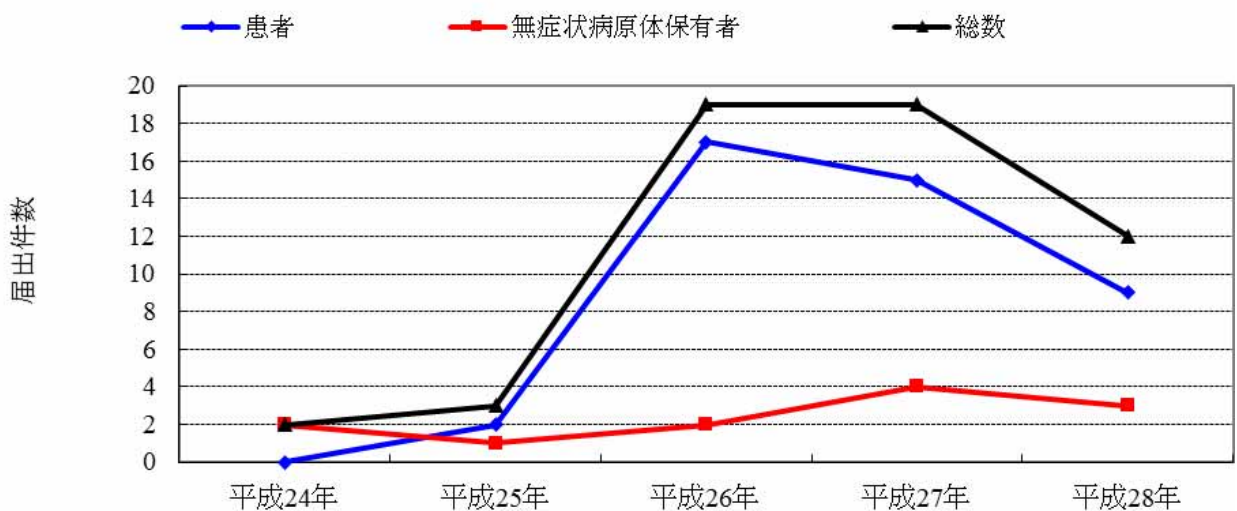
梅毒

梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症である。感染者との粘膜の接触を伴う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する（先天梅毒）経路がある。Ⅰ期では、感染局所に初期硬結や硬性下疳、無痛性の鼠径部リンパ節腫脹がみられ、Ⅱ期では、皮膚や粘膜に梅毒性バラ疹や丘疹性梅毒疹、扁平コンジローマなどの特有な発疹が見られる。晩期顕症梅毒としてゴム腫、梅毒によると考えられる心血管症状、神経症状、眼症状などが認められることがある。先天梅毒では、梅毒疹、骨軟骨炎など早期先天梅毒の症状を呈する症例や乳幼児期は症状を示さずに経過し、学童期以後に Hutchinson3 徴候（実質性角膜炎、内耳性難聴、Hutchinson 歯）などの症状を呈する症例がある。

平成28年の届出は、「患者」が9件、「無症状病原体保有者」が3件の計12件あり、性別は、2件を除いてすべて男性であった。

病型別にみると、「早期顕症梅毒（Ⅰ期）」が1件、「早期顕症梅毒（Ⅱ期）」が8件、「無症候」が3件であった。

感染地域はいずれも「国内」と考えられ、5件が「県内」での感染と推定された。推定感染経路不明の3件を除き、届出事例の大半が性的接触であり、「性交」が異性間3件、同性間4件で、「経口」が異性間1件であった。また、患者がコマーシャルセックスワーカーで、「性交か経口か不明」が異性間で1件あった。



梅毒届出件数の推移

梅毒 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第8週 (2月)	長崎市	40歳代 男性	梅毒性バラ疹	性的接触 (性交・同性間)	国内
第13週 (3月)	長崎市	60歳代 男性	丘疹性梅毒疹	その他(不明)	国内
第27週 (7月)	長崎市	20歳代 男性	梅毒性バラ疹	性的接触 (性交・同性間)	県内
第28週 (7月)	長崎市	20歳代 男性	梅毒性バラ疹	性的接触 (性交・異性間)	県内
第31週 (8月)	長崎市	20歳代 女性	なし	性的接触(異性間) その他 (性交か経口かは不明)	県内
"	吉岐	80歳代 女性	なし	その他 (不明)	県内
第32週 (8月)	佐世保市	40歳代 男性	硬性下疳・梅毒性バラ疹	性的接触 (性交・異性間)	県内
"	西彼	50歳代 男性	梅毒性バラ疹	性的接触 (性交・異性間)	国内
第35週 (9月)	長崎市	30歳代 男性	丘疹性梅毒疹	性的接触 (性交・同性間)	国内
第42週 (10月)	長崎市	90歳代 男性	なし	その他(不明)	県内
第44週 (11月)	長崎市	30歳代 男性	鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)・梅毒性バラ疹	性的接触 (経口・異性間)	国内
第46週 (11月)	長崎市	20歳代 男性	初期硬結・硬性下疳	性的接触 (性交・同性間)	国内

播種性クリプトコックス症

Cryptococcus 属真菌による感染症で、ヒト - ヒト感染はなく、土壌など環境中の真菌の吸引により経気道感染する他、皮膚の創傷部位からの感染も起こりうる。糖尿病や HIV 感染、ステロイド剤・免疫抑制剤投与などによる免疫不全状態がリスク要因となるため、基礎疾患の有無は重要な情報となる。呼吸器や皮膚の感染部位から中枢神経系あるいは全身に播種した場合を、播種性クリプトコックス症といい、髄液、血液などの通常無菌的な臨床検体から検出されるか脳脊髄液のクリプトコックス莖膜抗原が陽性となった場合、法に基づく届出対象となる。

平成 28 年は、4 月、7 月に各 1 件の計 2 件の届出があった。患者は、いずれも免疫抑制状態にある 80 歳代の高齢者の女性であった。

播種性クリプトコックス症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第14週 (4月)	長崎市	80歳代 女性	頭痛・発熱・真菌血症	免疫不全あり・ ステロイド内服	県内

第30週 (7月)	県央	80歳代 女性	発熱	免疫不全あり・ プレドニゾン内服	県内
--------------	----	------------	----	---------------------	----

破傷風

破傷風は、破傷風菌が外傷部位などから組織内に侵入し、嫌気的な環境下で増殖した結果産生される破傷風毒素により、神経刺激伝達障害を起こす。感染巣近傍の筋肉のこわばり、顎から頸部のこわばり、開口障害、四肢の強直性痙攣、呼吸困難（痙攣性）、刺激に対する興奮性の亢進、反弓緊張（opisthotonus）などの症状が出現する。

平成28年の届出は、3月と6月に1件ずつあり、計2件の届出があった。患者はいずれも筋肉のこわばり、開口障害など破傷風の典型的な症状が認められた。推定感染地域は県内で、感染原因・感染経路は、針等の鋭利なものの刺入による感染であった。いずれの症例も聞き取り調査の結果ワクチン接種歴は不明であった。

破傷風 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第9週 (3月)	佐世保市	70歳代 女性	筋肉のこわばり・開口障害・嚥下障害・ 発語障害・呼吸困難（痙攣性）易興奮性・ 反弓緊張	針等の鋭利なものの刺 入による感染（釘） 創傷感染（右前腕）	県内
第25週 (6月)	佐世保市	80歳代 女性	筋肉のこわばり・開口障害・嚥下障害・ 発語障害・強直性痙攣・反弓緊張・ その他（肩通）	針等の鋭利なものの刺 入による感染（鉄線）	県内

バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシンに対して耐性を示す腸球菌（VRE）による感染症で、主に悪性疾患などの基礎疾患を有する易感染状態の患者において、日和見感染症や術後感染症、カテーテル性敗血症（line sepsis）などを引き起こす。発熱やショックなどの症状を呈し、死亡することもある。

平成28年の届出は、6月に1件であった。届出のあった患者は、90歳代女性で、感染経路は「不明」であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第23週 (6月)	長崎市	90歳代 女性	発熱	その他（不明）	県内

風しん

風しんウイルスによる急性熱性発疹性疾患であり、飛沫感染により感染する。症状は、小紅斑や紅色丘疹、リンパ節腫脹（全身、特に頸部、後頭部、耳介後部）、発熱を三主徴とする。

また、風しんに感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染すると、出生児に先天性心疾患、難聴、白内障などの先天性風しん症候群（CRS）と総称される障害を引き起こ

すことがある。

平成 26 年 5 月 12 日に発生届の様式が変更され、可能な限り 24 時間以内に保健所へ報告を求める旨の記載が追加された。

平成 28 年は 10 月に IgM 抗体の検出に基づく「検査診断例」の届出が 1 件あった。患者は 104 歳の男性で、ワクチンの接種歴はなく、感染推定地域は、「県内」であった。

平成 24 年から 25 年にかけて全国的にみられた風しんの流行は、平成 25 年第 19～22 週（5/6～6/2）にピークを迎えた後、終息に向かった。本県の報告数も平成 25 年の 21 件から大きく減少した。平成 26 年 4 月 1 日付で「風しんに関する特定感染症予防指針」が策定され、平成 32 年度までの風しん排除が目標に掲げられていることから、今後の風しん発生の動向について注視していかなければならない。

風しん 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 40 週 (10 月)	西彼	104 歳 男性	発疹・発熱・リンパ節腫脹・ その他(右耳下腺腫脹)	飛沫・飛沫核感染	県内

平成28年

感染症週報（全数）推移表

長崎県

週	期 間	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	急性灰白髄炎	ラッサ熱	結核	ジフテリア	SARSコロナウイルスであるものに限る	重症呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属であるものに限る）	鳥インフルエンザ（H5N1）	鳥インフルエンザ（H7N9）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	A型肝炎	エキノコックス症	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回帰熱	Q熱	ギヤサスル森林病
1	16.1.4-16.1.10									3																				
2	16.1.11-16.1.17									7																				
3	16.1.18-16.1.24									1											1									
4	16.1.25-16.1.31									5																				
5	16.2.1-16.2.7									7																				
6	16.2.8-16.2.14									3																				
7	16.2.15-16.2.21									3																				
8	16.2.22-16.2.28									4																				
9	16.2.29-16.3.6									3																				
10	16.3.7-16.3.13									8																				
11	16.3.14-16.3.20									5																				
12	16.3.21-16.3.27									1								6												
13	16.3.28-16.4.3									8																				
14	16.4.4-16.4.10									1																				
15	16.4.11-16.4.17									3																				
16	16.4.18-16.4.24									4																				
17	16.4.25-16.5.1									6								1												
18	16.5.2-16.5.8									2																				
19	16.5.9-16.5.15									8								2												
20	16.5.16-16.5.22									8								1												
21	16.5.23-16.5.29									4																				
22	16.5.30-16.6.5									6								1												
23	16.6.6-16.6.12									9								4												
24	16.6.13-16.6.19									9																				
25	16.6.20-16.6.26									5								2												
26	16.6.27-16.7.3									6								2												
27	16.7.3-16.7.10									4								1												
28	16.7.11-16.7.17									2																				
29	16.7.18-16.7.24									9																				
30	16.7.25-16.7.31									8								1												
31	16.8.1-16.8.7									4								1												
32	16.8.8-16.8.14									9								1												
33	16.8.15-16.8.21									10								27												
34	16.8.22-16.8.28									8								6												
35	16.8.29-16.9.4									5								4												
36	16.9.5-16.9.11									9								1												
37	16.9.12-16.9.18									5								1												
38	16.9.19-16.9.25									3																				
39	16.9.26-16.10.2									3								2												
40	16.10.3-16.10.9									9																				
41	16.10.10-16.10.16									2								2												
42	16.10.17-16.10.23									4								10												
43	16.10.24-16.10.30									6								1												
44	16.10.31-16.11.6									6								3												
45	16.11.7-16.11.13									7																				
46	16.11.14-16.11.20									6								2												
47	16.11.21-16.11.27									1								2												
48	16.11.28-16.12.4									3																				
49	16.12.5-16.12.11									7																				
50	16.12.12-16.12.18									5																				
51	16.12.19-16.12.25									4																				
52	16.12.26-17.1.1									3																				
合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	271	0	0	0	0	0	0	0	84	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成28年

感染症週報（全数）推移表

長崎県

週	期 間	狂犬病	コクシジオイデス症	サル痘	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスに限る）	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻疽	ブルセラ症	ペネズエラウマ脳炎	ヘンドラウイルス感染症	麻疹チフス	ポツリノス症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症
1	16.1.4-16.1.10																	1												
2	16.1.11-16.1.17										1																			
3	16.1.18-16.1.24																													
4	16.1.25-16.1.31																													
5	16.2.1-16.2.7																													
6	16.2.8-16.2.14																													
7	16.2.15-16.2.21																													
8	16.2.22-16.2.28																													
9	16.2.29-16.3.6																													
10	16.3.7-16.3.13																													
11	16.3.14-16.3.20																													
12	16.3.21-16.3.27																													
13	16.3.28-16.4.3																													
14	16.4.4-16.4.10																													
15	16.4.11-16.4.17																													
16	16.4.18-16.4.24																													
17	16.4.25-16.5.1																													
18	16.5.2-16.5.8										1																			
19	16.5.9-16.5.15																													
20	16.5.16-16.5.22																													
21	16.5.23-16.5.29																													
22	16.5.30-16.6.5					1					1																			
23	16.6.6-16.6.12																													
24	16.6.13-16.6.19																		2											
25	16.6.20-16.6.26																													
26	16.6.27-16.7.3					1																								
27	16.7.3-16.7.10																	1												
28	16.7.11-16.7.17																													
29	16.7.18-16.7.24																	1												
30	16.7.25-16.7.31																													
31	16.8.1-16.8.7																													
32	16.8.8-16.8.14											1																		
33	16.8.15-16.8.21																													
34	16.8.22-16.8.28		1																											
35	16.8.29-16.9.4																	1												
36	16.9.5-16.9.11											1																		
37	16.9.12-16.9.18																													
38	16.9.19-16.9.25												1																	
39	16.9.26-16.10.2																		4											
40	16.10.3-16.10.9																													
41	16.10.10-16.10.16																													
42	16.10.17-16.10.23																													
43	16.10.24-16.10.30																	1												
44	16.10.31-16.11.6																													
45	16.11.7-16.11.13											2																		
46	16.11.14-16.11.20											1						1												
47	16.11.21-16.11.27											1																		
48	16.11.28-16.12.4																													
49	16.12.5-16.12.11											1																		
50	16.12.12-16.12.18											1																		
51	16.12.19-16.12.25											1																		
52	16.12.26-17.1.1											1																		
合 計		0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	12	1	0	0	0	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

平成28年

感染症週報（全数）推移表

長崎県

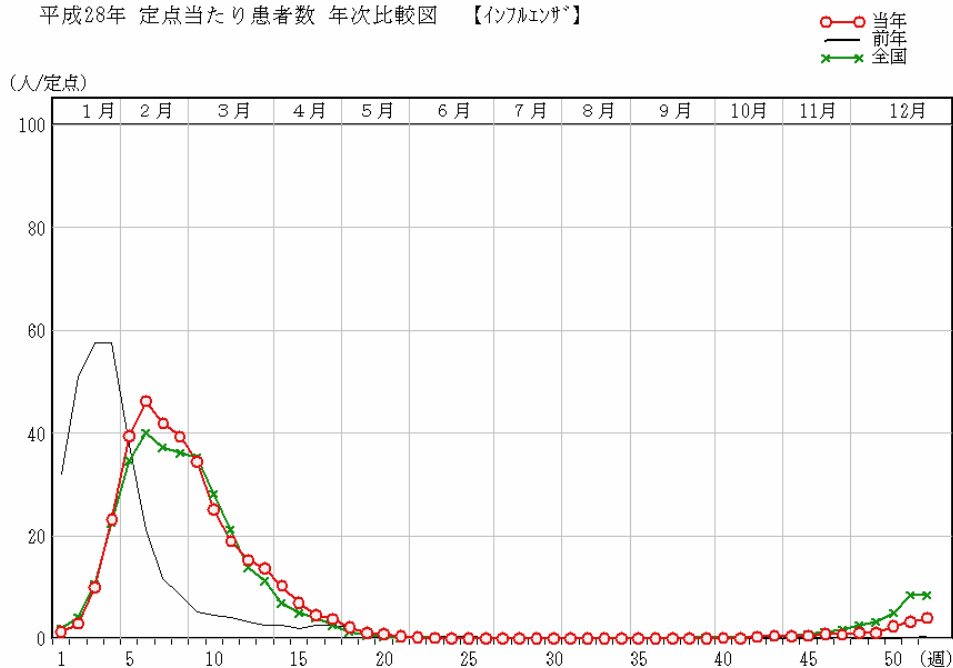
週	期 間	リフトバレー熱	類鼻症	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキー山紅斑熱	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（E型肝炎およびA型肝炎を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ヘネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	クリプトスポリジウム症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
1	16.1.4-16.1.10																	1										
2	16.1.11-16.1.17																	1										
3	16.1.18-16.1.24												1															
4	16.1.25-16.1.31									1								1										
5	16.2.1-16.2.7																	1										
6	16.2.8-16.2.14																	1										
7	16.2.15-16.2.21			1			1	1										1										
8	16.2.22-16.2.28						1											1		1								
9	16.2.29-16.3.6																	1				1						
10	16.3.7-16.3.13			1				1	2			1						1										
11	16.3.14-16.3.20							1			1																	
12	16.3.21-16.3.27																	1										
13	16.3.28-16.4.3																	2			1							
14	16.4.4-16.4.10																	1			1							
15	16.4.11-16.4.17																	1										
16	16.4.18-16.4.24									1								1										
17	16.4.25-16.5.1							2										1										
18	16.5.2-16.5.8							1										1										
19	16.5.9-16.5.15							3	1						1			1										
20	16.5.16-16.5.22																											
21	16.5.23-16.5.29							2																				
22	16.5.30-16.6.5																											
23	16.6.6-16.6.12														1										1			
24	16.6.13-16.6.19																2											
25	16.6.20-16.6.26			1				1														1						
26	16.6.27-16.7.3			1									1								1							
27	16.7.3-16.7.10																				1							
28	16.7.11-16.7.17								1			1									1							
29	16.7.18-16.7.24								1																			
30	16.7.25-16.7.31			1				2														1						
31	16.8.1-16.8.7			1				1													2							
32	16.8.8-16.8.14							1													2							
33	16.8.15-16.8.21							1									1											
34	16.8.22-16.8.28						1																					
35	16.8.29-16.9.4			1				2													1							
36	16.9.5-16.9.11			1				2						1														
37	16.9.12-16.9.18							2										1										
38	16.9.19-16.9.25			1			1	1				1						1										
39	16.9.26-16.10.2				1			1				1			1			1										
40	16.10.3-16.10.9							1																		1		
41	16.10.10-16.10.16			1				1	1			1			1													
42	16.10.17-16.10.23						1	1	2												1							
43	16.10.24-16.10.30							1																				
44	16.10.31-16.11.6			1															1		1							
45	16.11.7-16.11.13														1													
46	16.11.14-16.11.20																				1							
47	16.11.21-16.11.27												1					2										
48	16.11.28-16.12.4							2																				
49	16.12.5-16.12.11																											
50	16.12.12-16.12.18								1																			
51	16.12.19-16.12.25							2																				
52	16.12.26-17.1.1			1				2													1							
合 計		0	0	12	1	0	5	4	37	5	0	4	3	2	1	5	0	26	3	0	12	2	2	0	1	1	0	0

2 定点把握の対象感染症

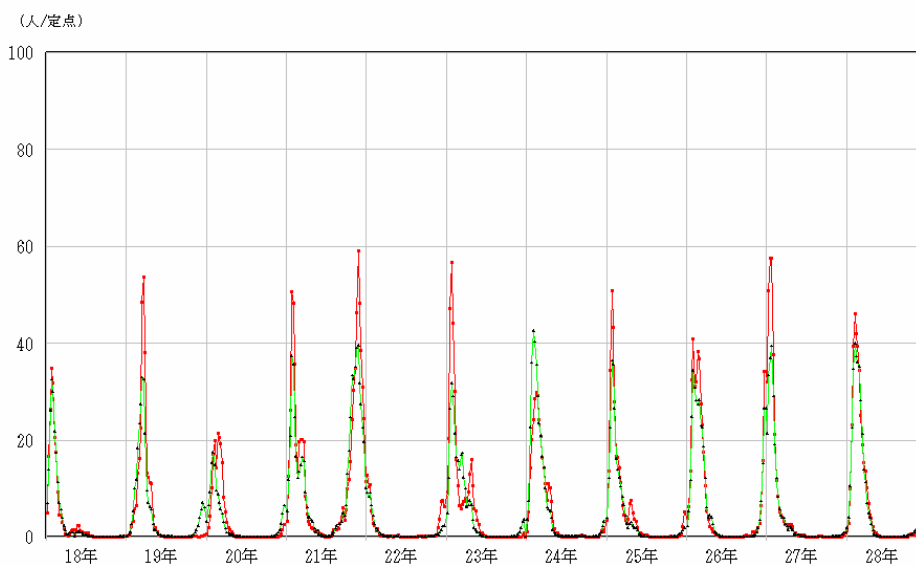
(1) インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)

平成 28 年の年間患者報告数は 25,026 人で、前年(22,041 人)より増加した。流行の推移は全国と同様であった。第 1 週に定点当たり患者報告数が流行の目安となる「1.0」を超え、第 5 週には流行警報レベル「30」を超える 39.41 となり、第 6 週にピーク(46.21)を迎えた。第 14 週まで終息基準値「10」以上にとどまり警報が維持されたが、その後は減少し、第 20 週から第 48 週まで 1.00 以下で推移した。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【インフルエンザ】



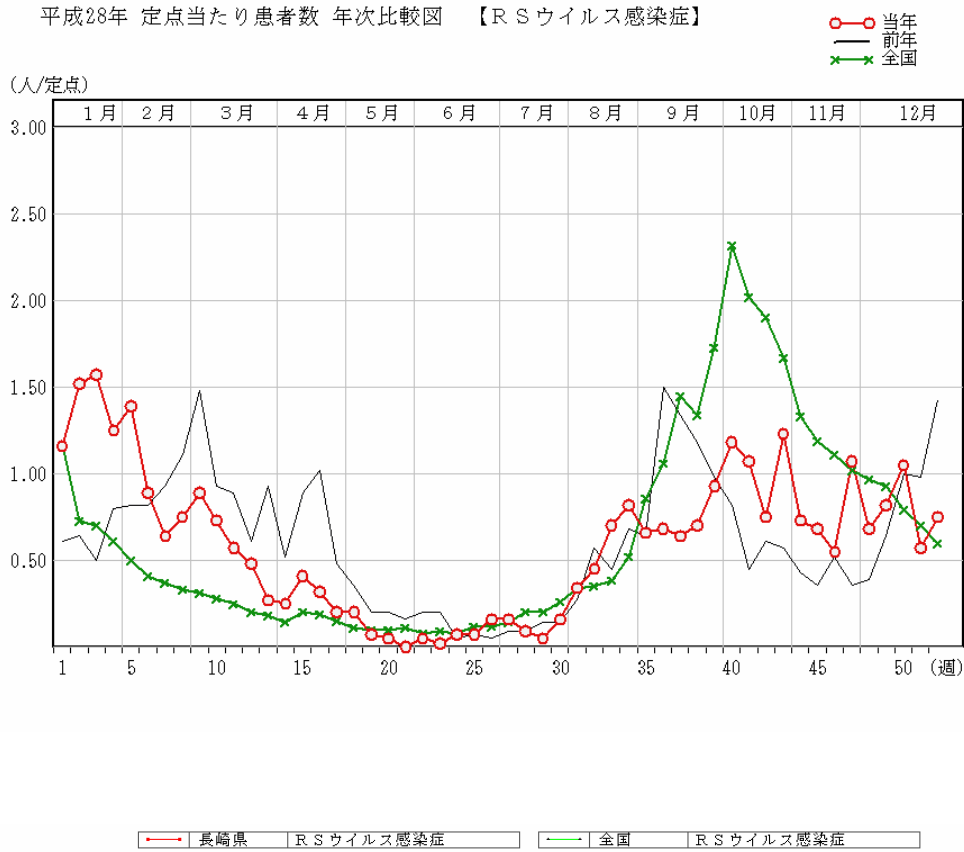
長崎県 インフルエンザ 全国 インフルエンザ



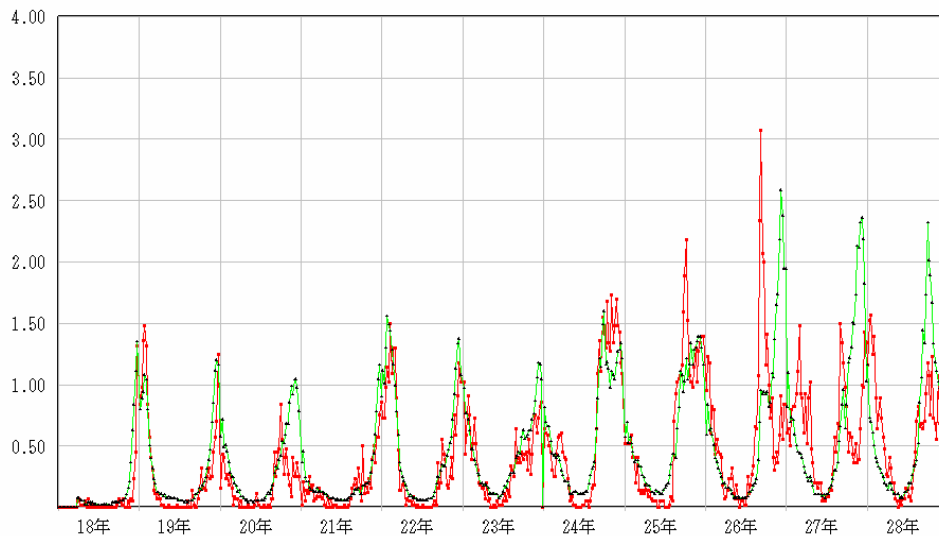
(2)RS ウイルス感染症

平成 28 年の年間患者報告数は 1,384 人で、前年(1,472 人)より減少した。1、2 月においては全国より高い値で推移したが、年間を通じて大きな流行は認められなかった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【RSウイルス感染症】



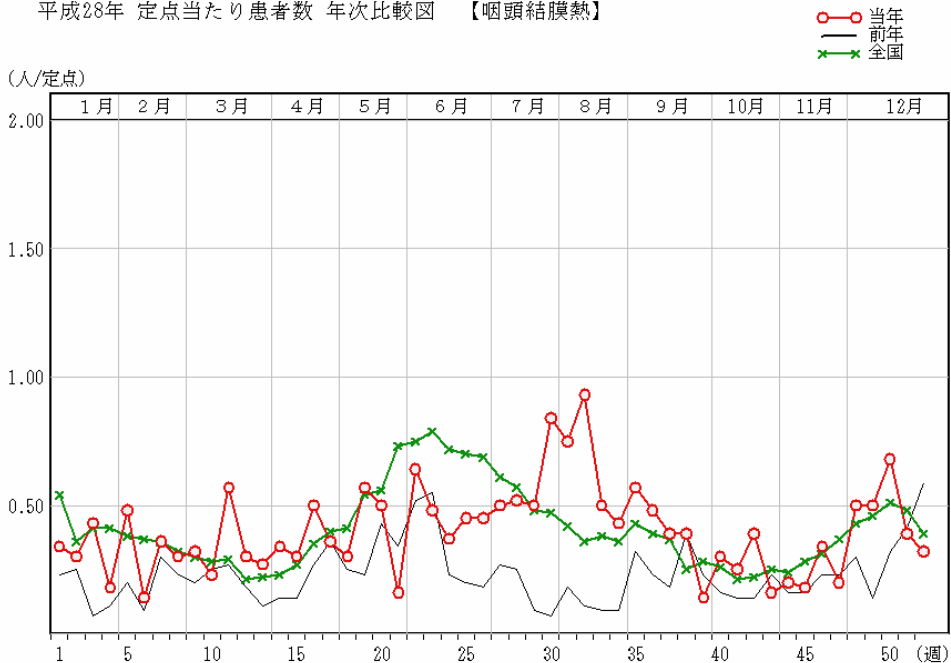
(人/定点)



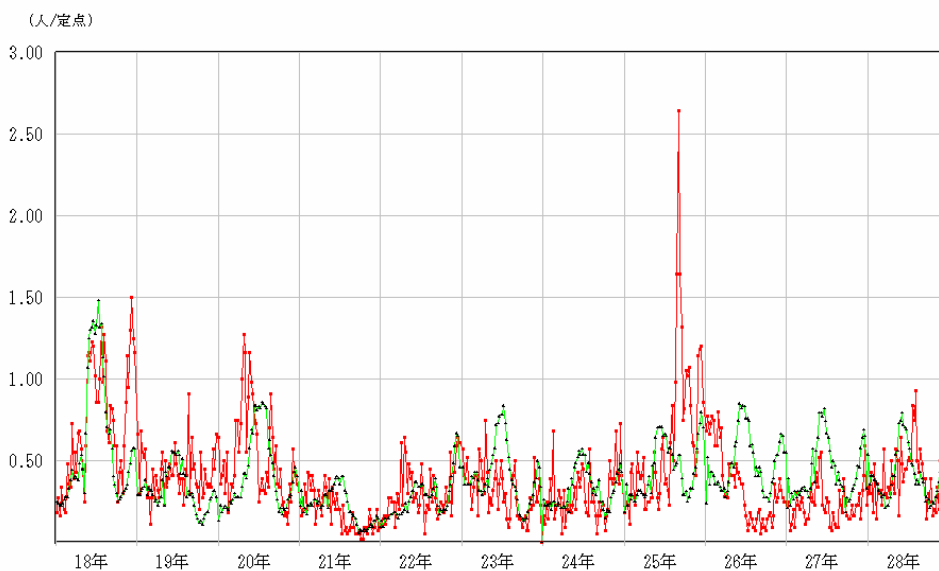
(3)咽頭結膜熱

平成 28 年の年間患者報告数は 968 人で、前年(539 人)より増加した。7、8 月には全国より高い値で推移したが、長崎県、全国ともに目立った流行はなかった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【咽頭結膜熱】



長崎県 咽頭結膜熱 全国 咽頭結膜熱

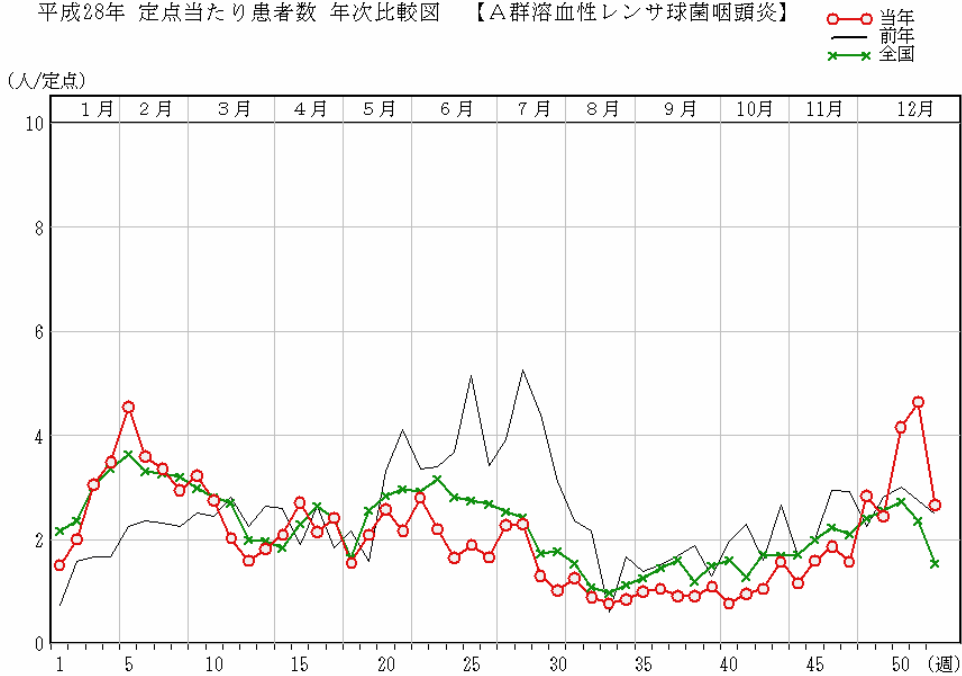


(4)A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

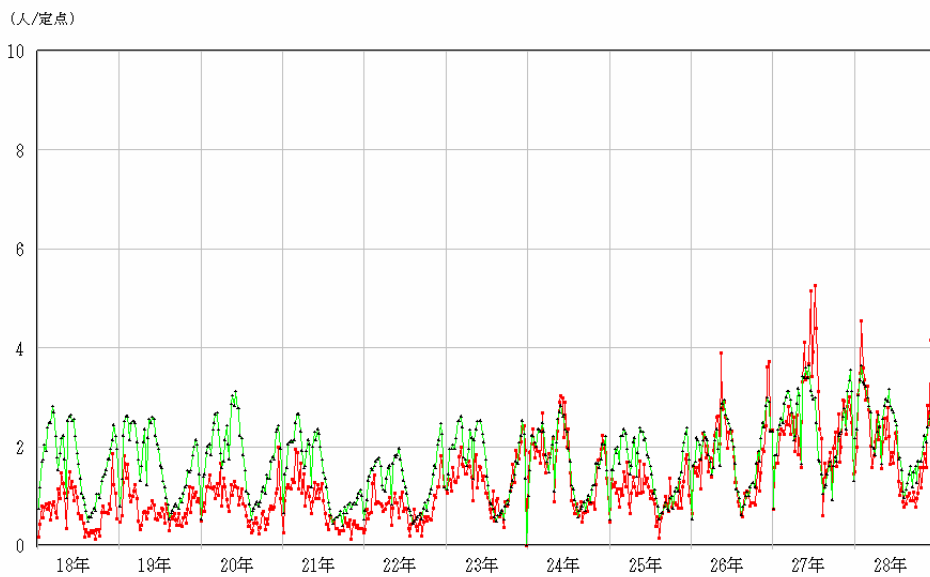
平成 28 年の年間患者報告数は 4,667 人で、前年(5,725 人)より減少した。2 月と 12 月に患者数の増加がみられたが、流行の推移は全国と同様であった。

本年は、過去 10 年の中で患者数が最も多かった前年に続く、患者数であった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】



— 長崎県 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 — 全国 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



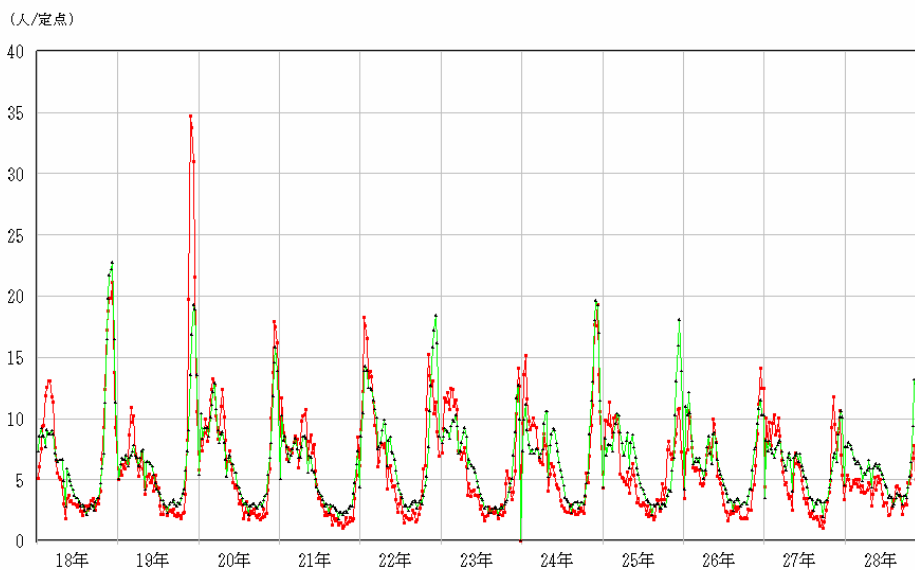
(5) 感染性胃腸炎

平成 28 年の年間患者報告数は 10,249 人で、前年(12,733 人)より減少した。例年同様、冬季に患者数の増加を認めたが、全国と比較すると低い値で推移した。警報レベル開始基準値の「20」を超えた週もなかった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【感染性胃腸炎】



—○— 長崎県 感染性胃腸炎 —●— 全国 感染性胃腸炎

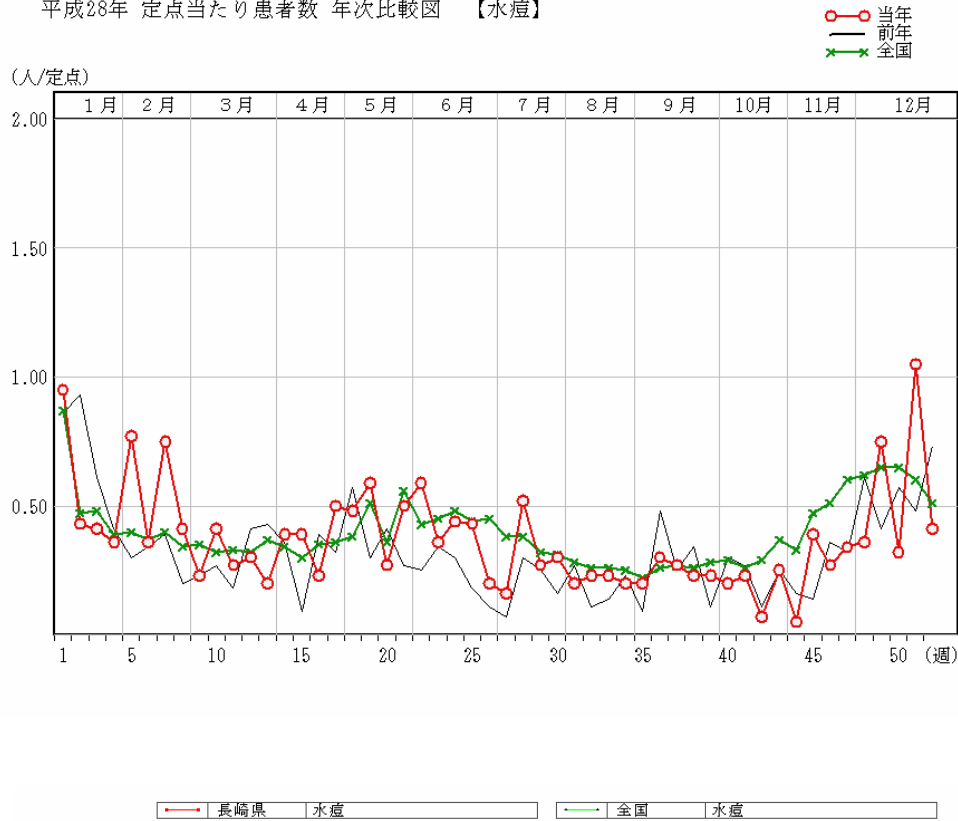


(6)水痘

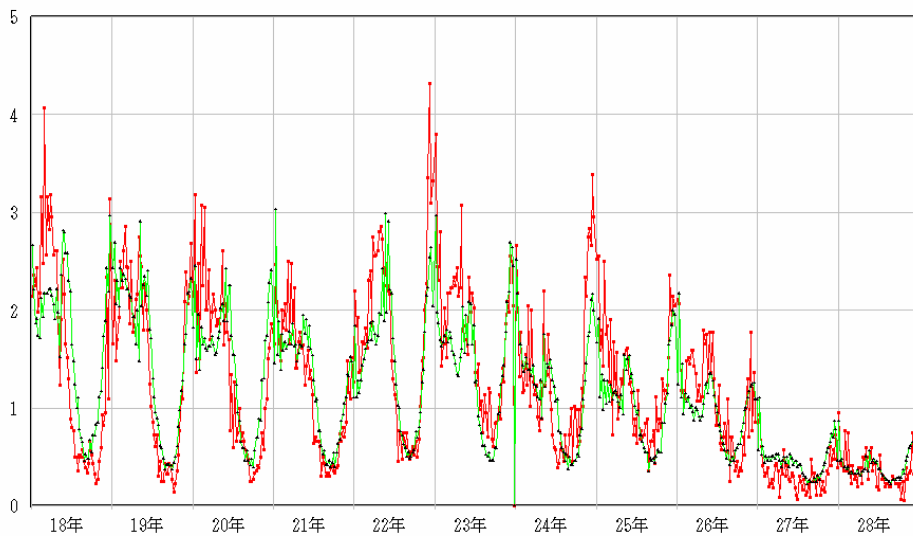
平成 28 年の年間患者報告数は 846 人で、前年(763 人)より増加した。年間を通じて、大きな流行は認められず、全国と同様に推移した。過去 10 年で比較すると、前年に引き続き、年間患者数の減少が顕著であった。

平成 26 年 10 月から、水痘ワクチンが定期予防接種に追加された。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【水痘】



(人/定点)

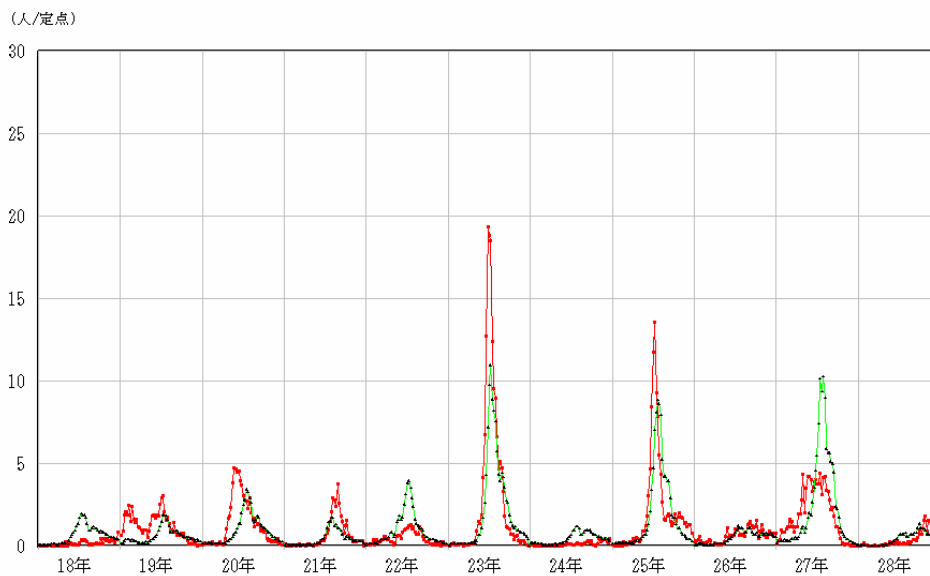


(7)手足口病

平成 28 年の年間患者報告数は 809 人で、前年(4,268 人)より大幅に減少した。例年夏ごろに流行するが、本年は 9 月以降に患者数が増加した。患者数は全国と同様に推移し、大きな流行は認められなかった。

過去 10 年の推移を見ると、1 年おきに警報レベル基準値を超える流行を示す傾向が認められる。

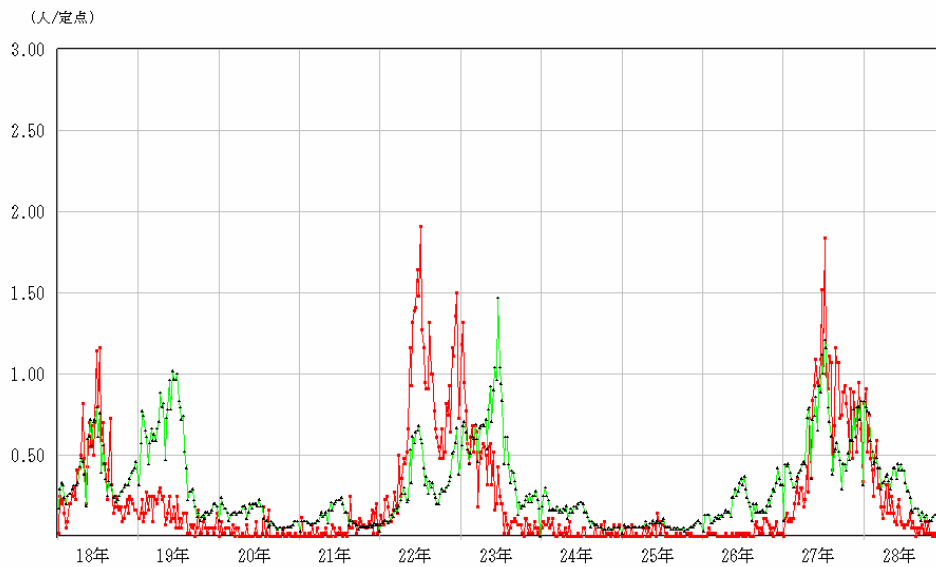
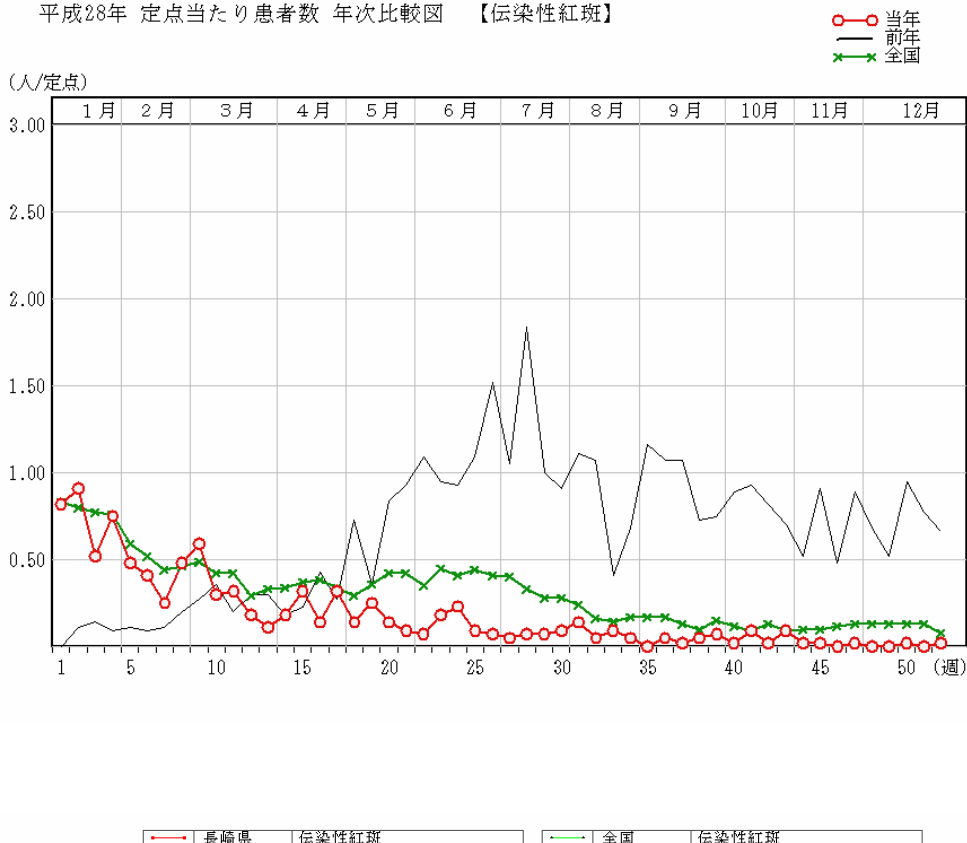
平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【手足口病】



(8)伝染性紅斑

平成 28 年の患者報告数は 415 人で、前年(1,530 人)より減少した。前年は、年間を通じて全国より高い値で推移したが、本年は定点あたり患者数「1.0」を越えることはなく、目立った流行はなかった。

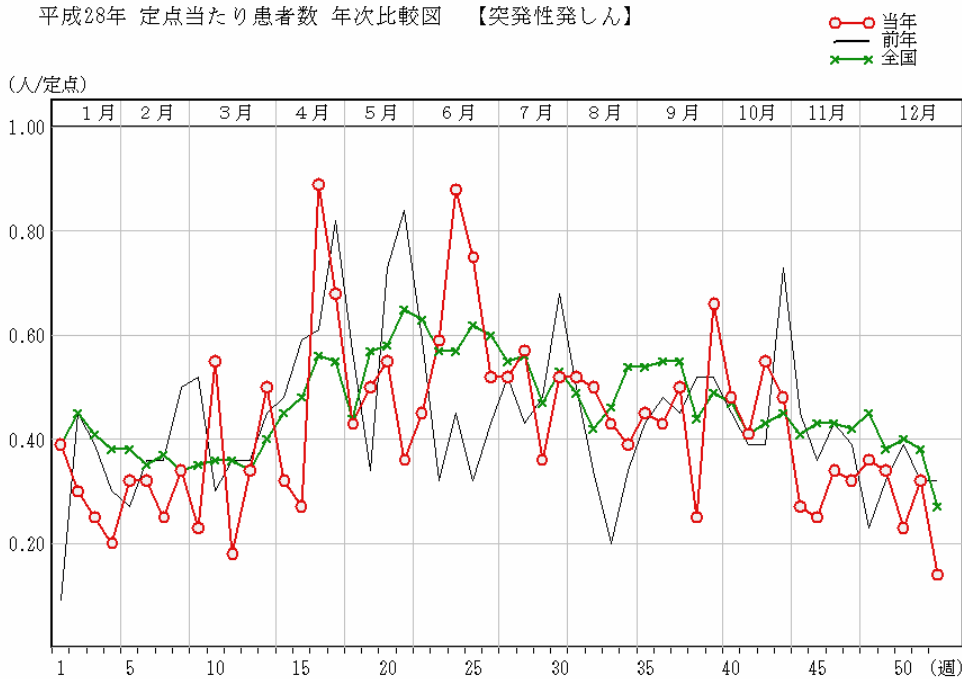
平成28年 定点あたり患者数 年次比較図 【伝染性紅斑】



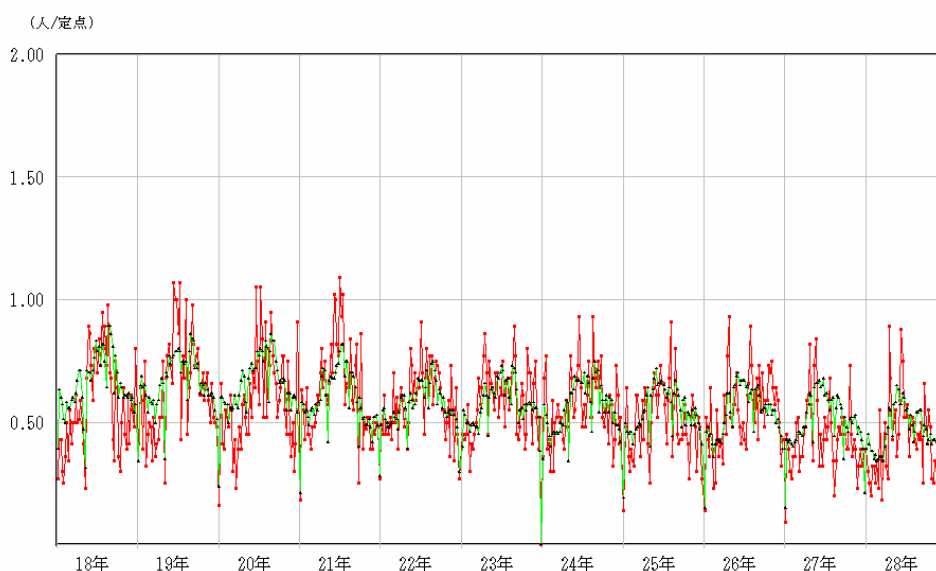
(9)突発性発しん

平成 28 年の年間患者報告数は 965 人で、前年(1,024 人)より減少した。前年同様に推移し、定点当たり患者報告数が 1.00 を超える週はなかった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【突発性発しん】



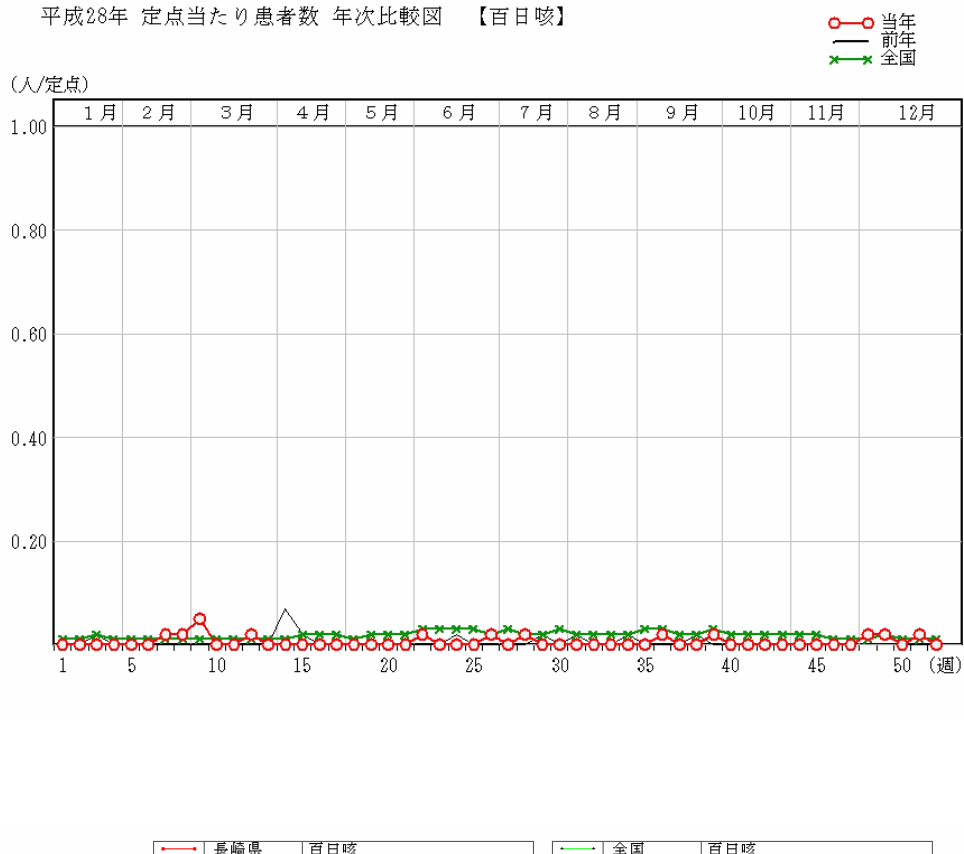
— 長崎県 突発性発しん — 全国 突発性発しん



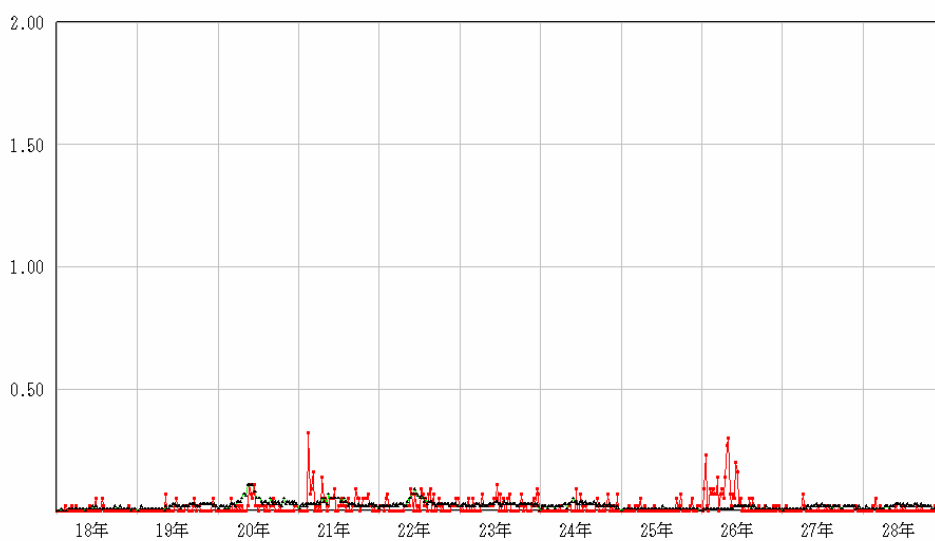
(10)百日咳

平成 28 年の年間患者報告数は 13 人で、前年(12 人)より増加したが、定点当たり患者報告数が 1.0 を超える週はなかった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【百日咳】



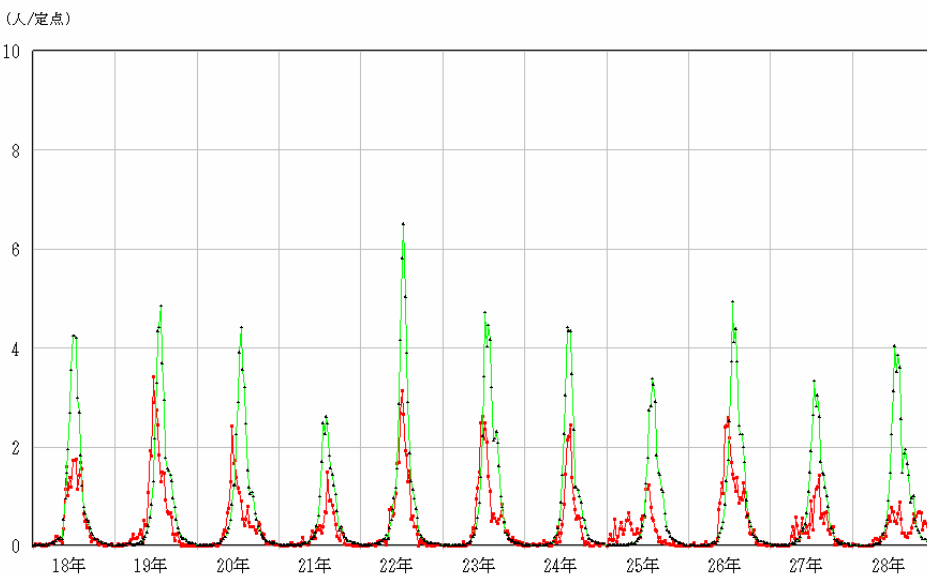
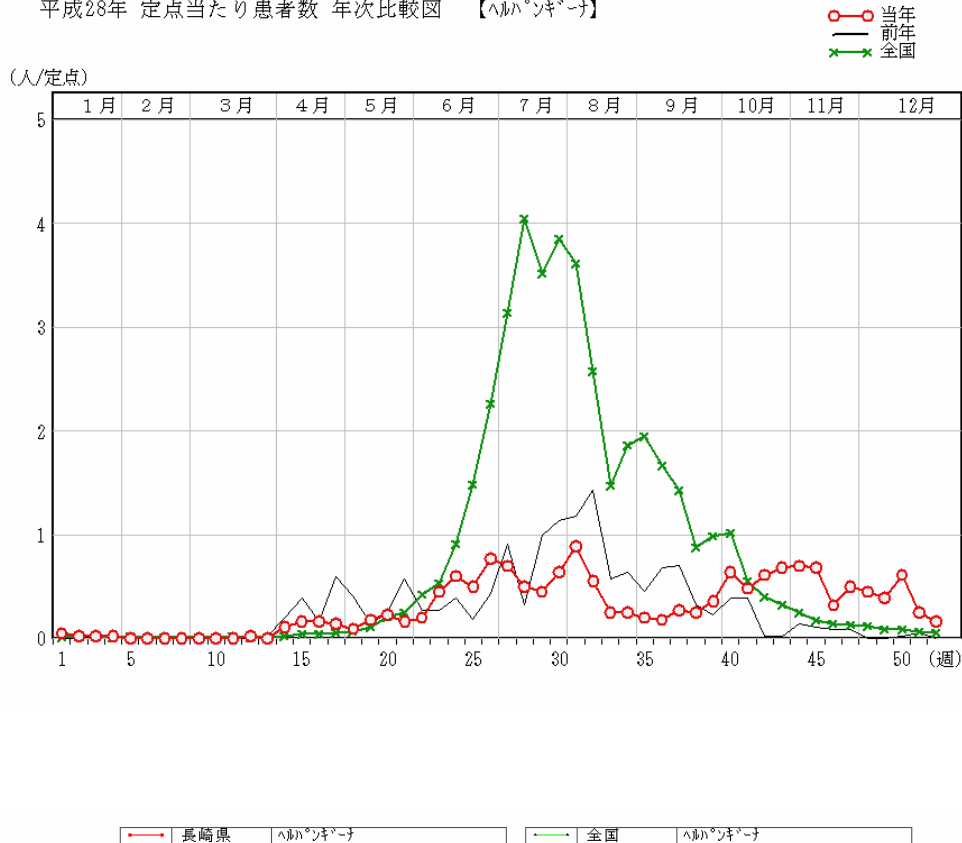
(人/定点)



(11)ヘルパンギーナ

平成 28 年の年間患者報告数は 698 人で、前年(670 人)よりわずかに増加した。全国では 7 月～8 月に患者数が増加したが、本県では 4 月から 12 月まで患者の発生があったものの、患者報告数の大きな増加は認められず、1.00 未満で推移した。

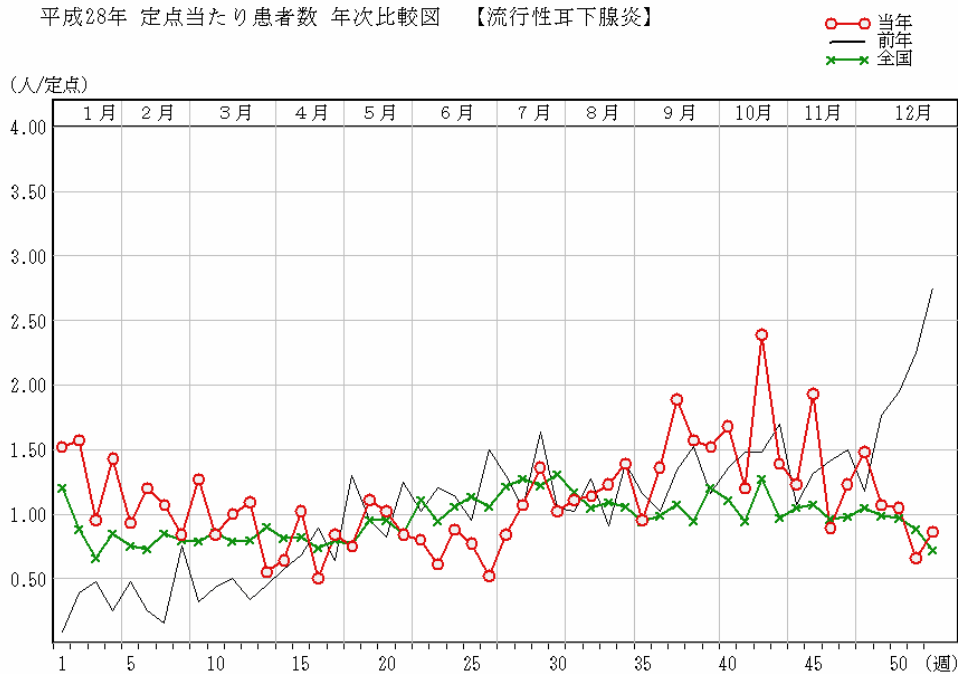
平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【ヘルパンギーナ】



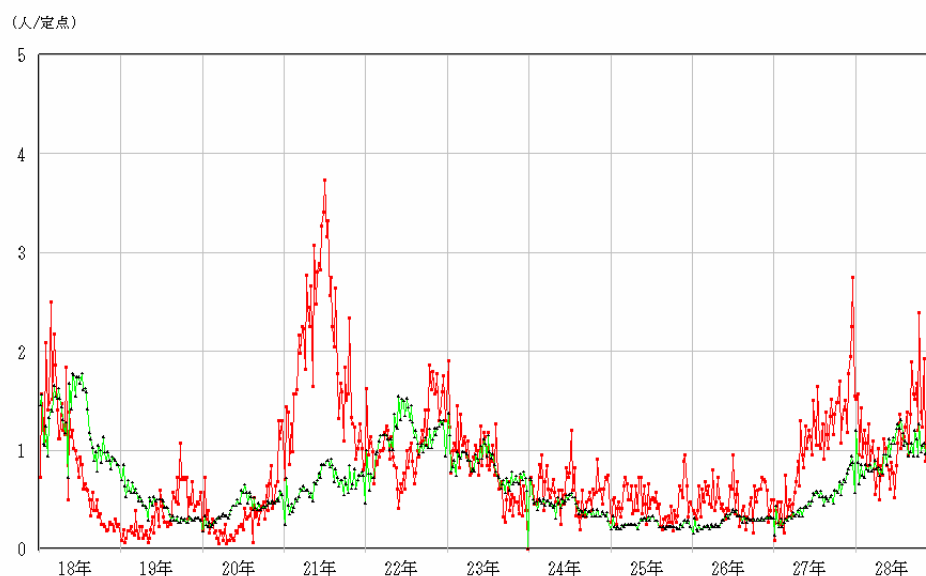
(12)流行性耳下腺炎

平成 29 年の年間患者報告数は 2,555 人で、前年(2,481 人)より増加した。増減を繰り返しながら、年間を通じて概ね全国より高い値で推移した。警報開始基準値「6.0」を超える週はなかった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【流行性耳下腺炎】



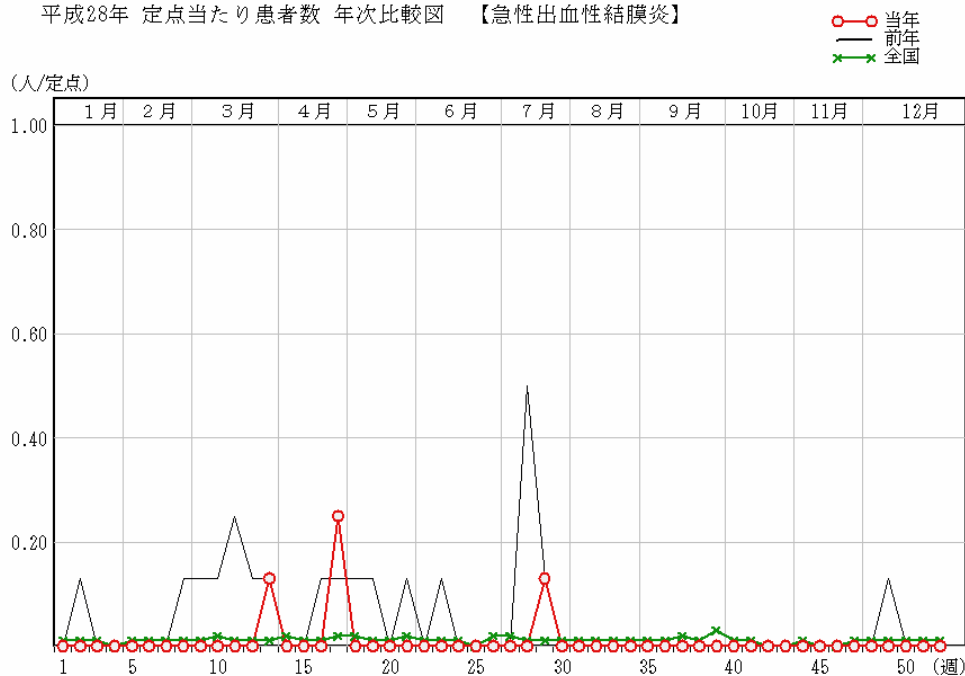
— 長崎県 流行性耳下腺炎 — 全国 流行性耳下腺炎



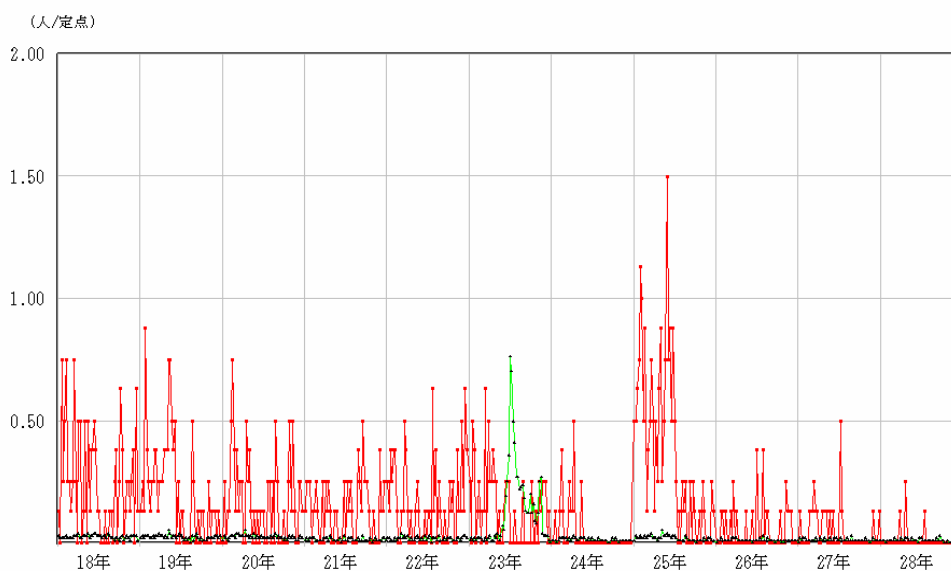
(13)急性出血性結膜炎

平成 28 年の年間患者報告数は 4 人で、前年(21 人)より減少した。本県の報告数は例年、全国よりも高値である。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【急性出血性結膜炎】



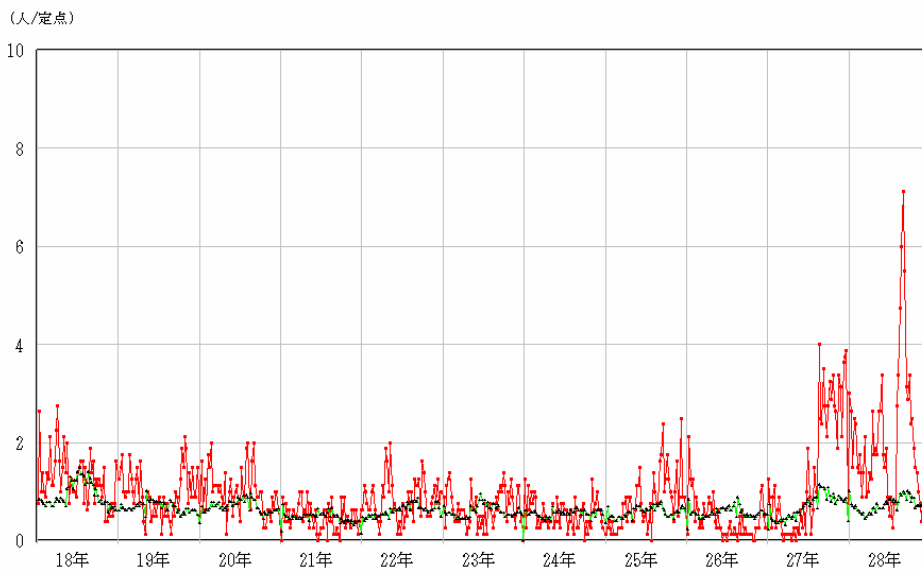
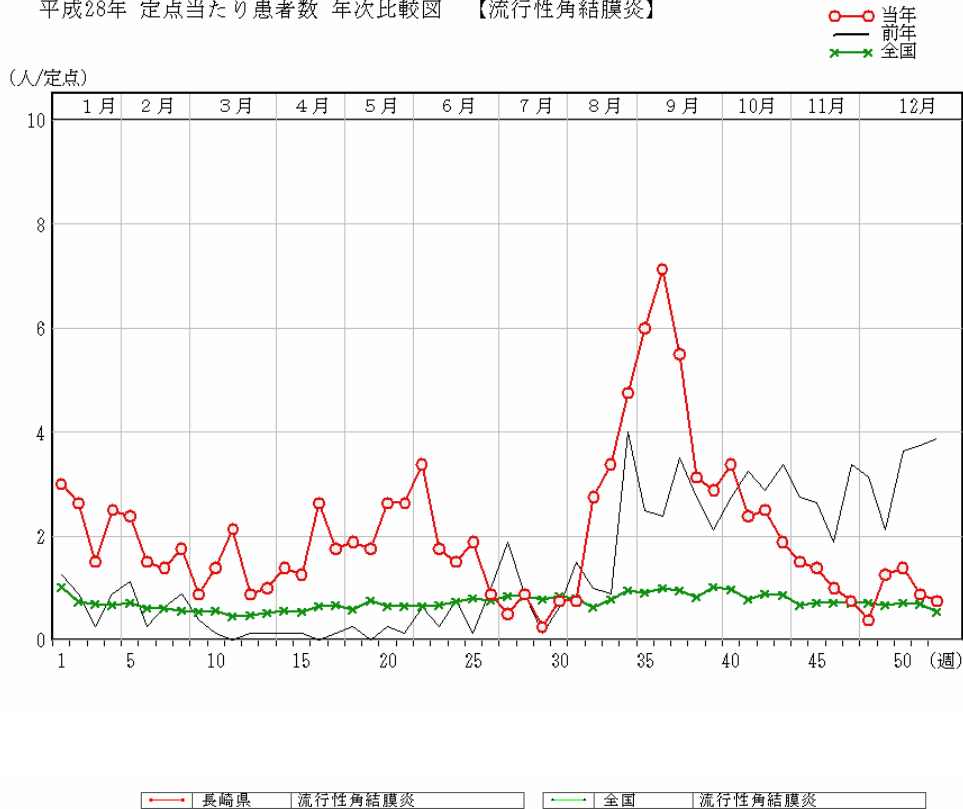
— 長崎県 急性出血性結膜炎 — 全国 急性出血性結膜炎



(14)流行性角結膜炎

平成28年の年間患者報告数は849人で、前年(599人)より増加した。年間を通じて、全国より高い値で増減を繰り返しながら推移した。特に第32週から患者数が増加し、第36週には警報開始基準値「8」に迫る「7.13」を示した。過去10年の中で、最も多い患者報告数であった。

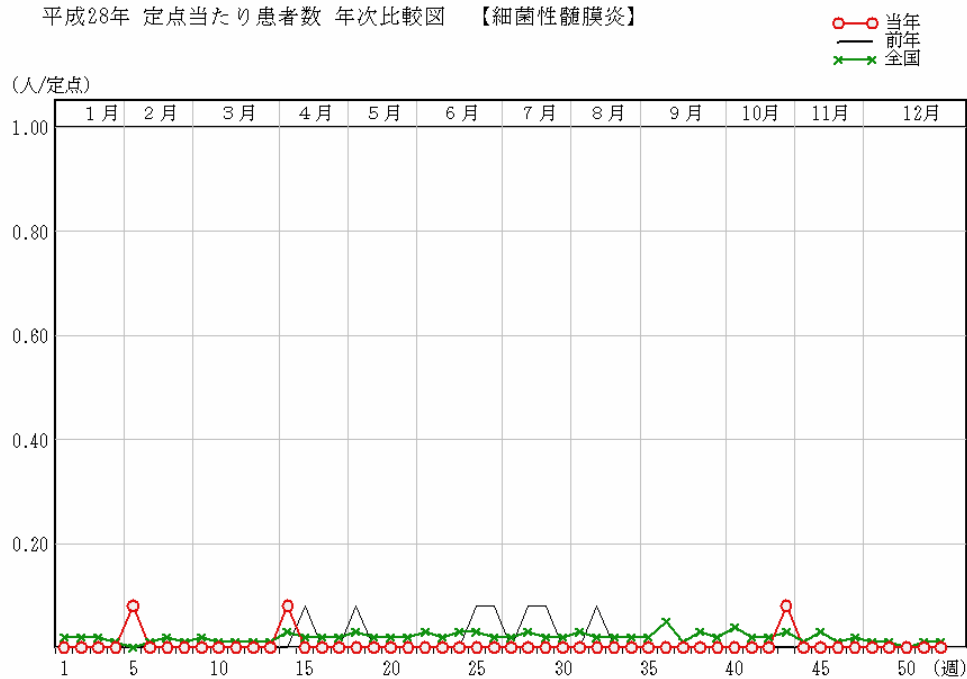
平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【流行性角結膜炎】



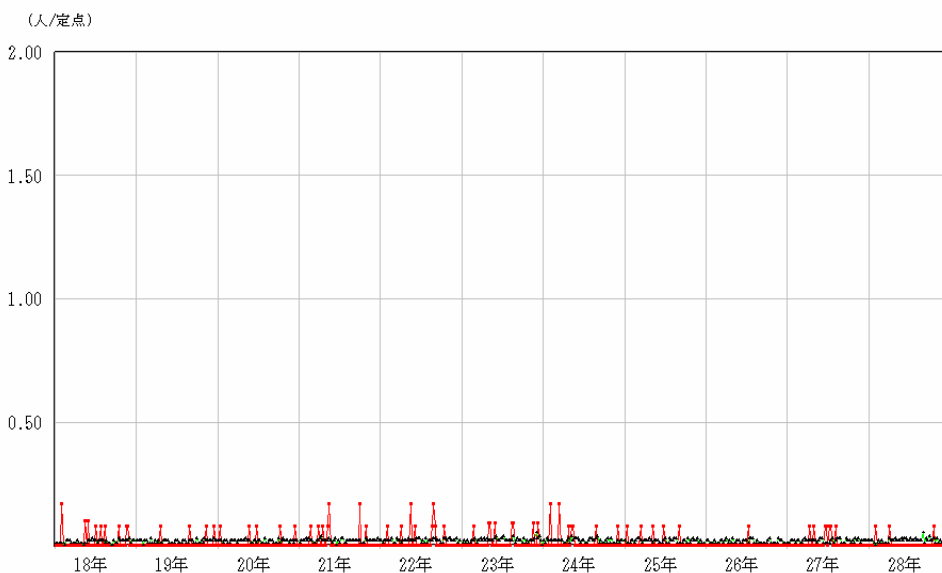
(15)細菌性髄膜炎

平成 28 年の年間患者報告数は 3 人で、前年(7 人)より減少した。2、4、10 月に報告があった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【細菌性髄膜炎】



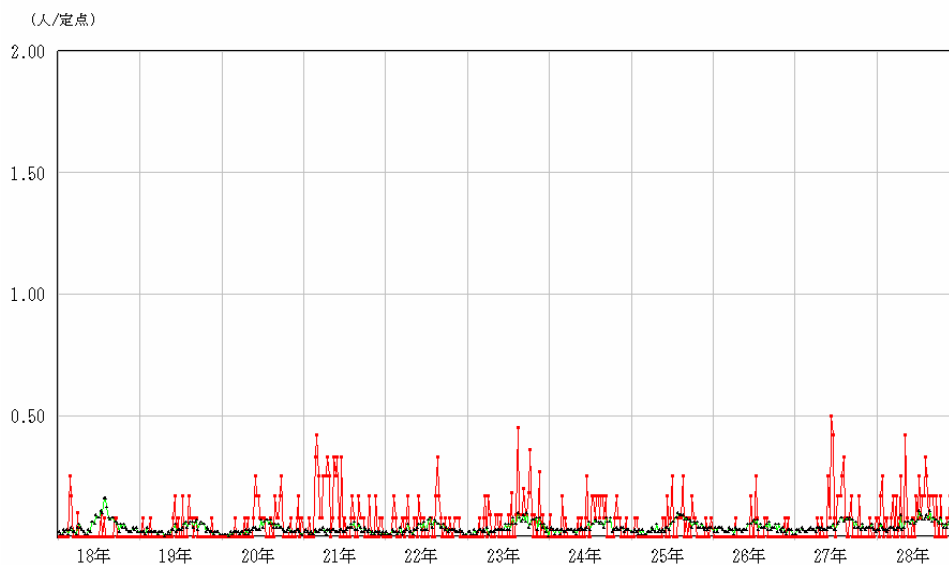
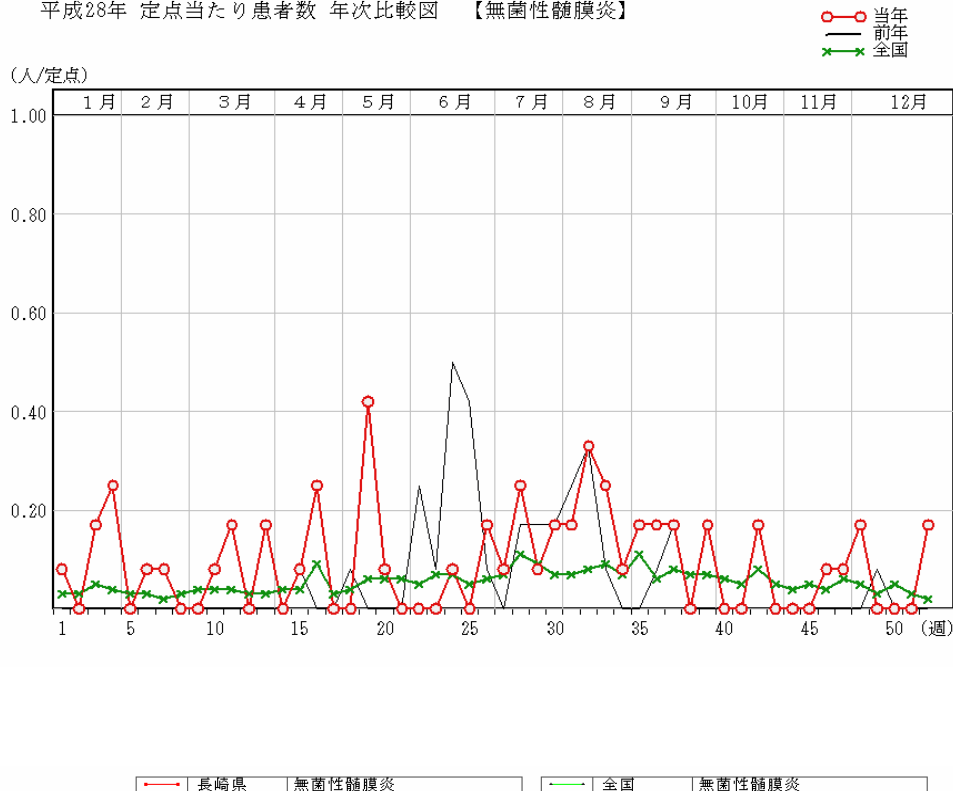
— 長崎県 細菌性髄膜炎 — 全国 細菌性髄膜炎



(16)無菌性髄膜炎

平成 28 年の年間患者報告数は 59 人で、前年(39 人)より増加した。本疾患の原因については、一部の検体から、ムンプスウイルスおよびマイコプラズマが検出されたが、検体から細菌が見出されないことによる「菌の不検出」や「不明」による理由がほとんどであった。

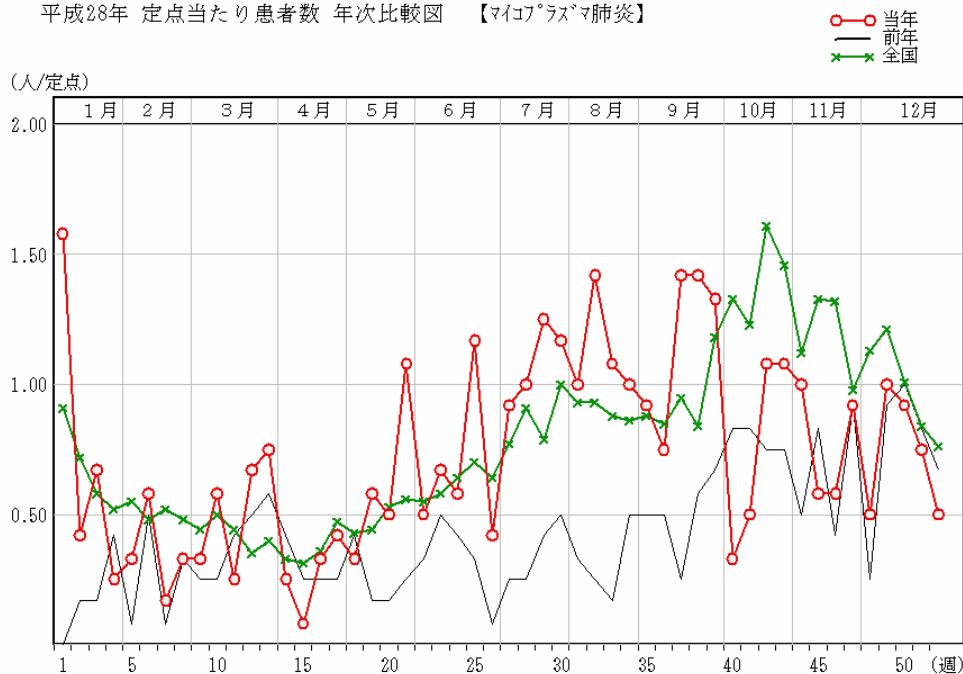
平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【無菌性髄膜炎】



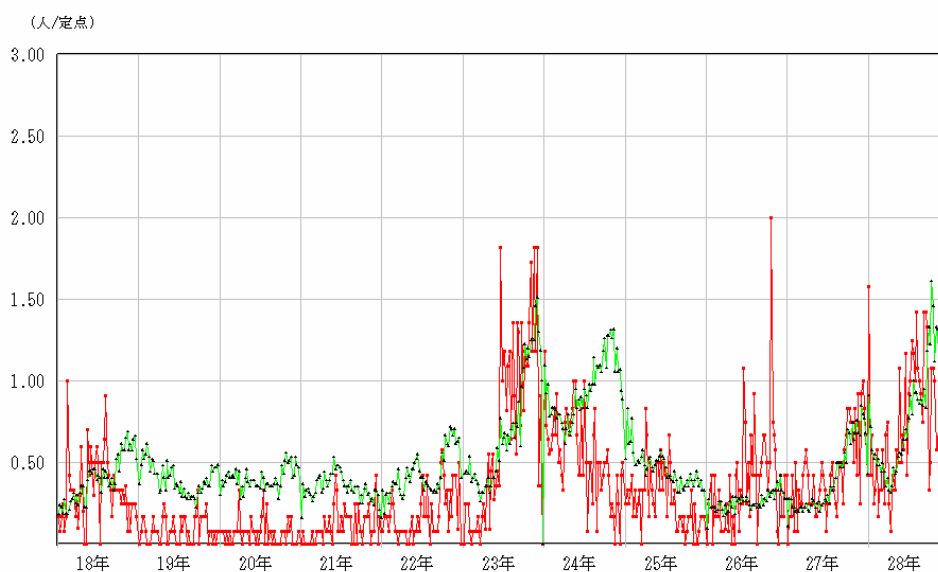
(17)マイコプラズマ肺炎

平成 28 年の年間患者報告数は 459 人で、前年(272 人)より増加した。年間を通じて増減を繰り返しながら推移した。過去 10 年間で患者報告数が最も多かった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【マイコプラズマ肺炎】



— 長崎県 マイコプラズマ肺炎 — 全国 マイコプラズマ肺炎

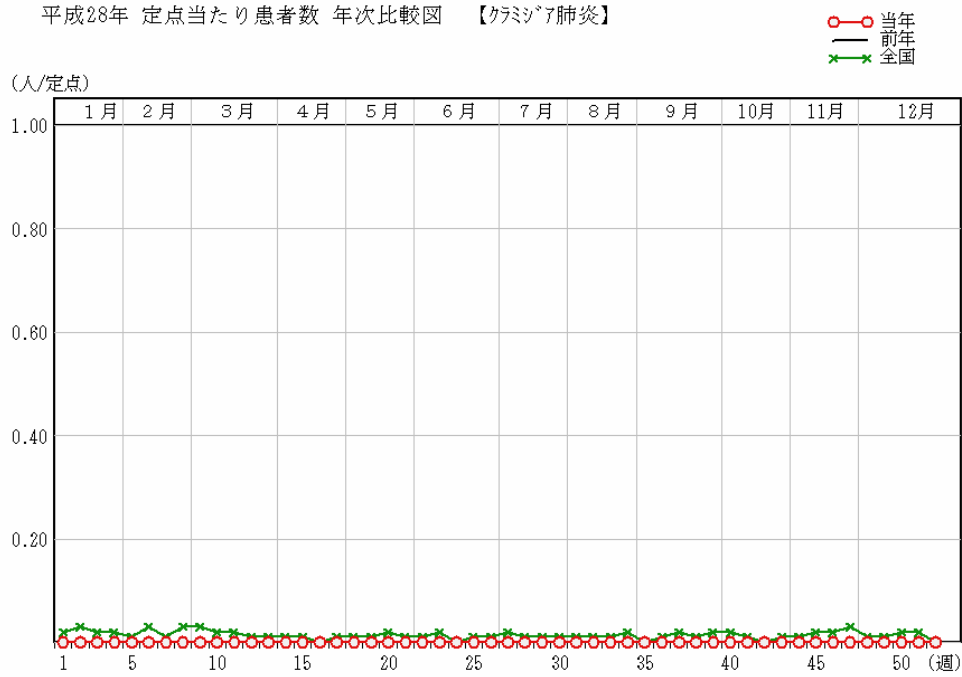


(18)クラミジア肺炎(オウム病は除く)

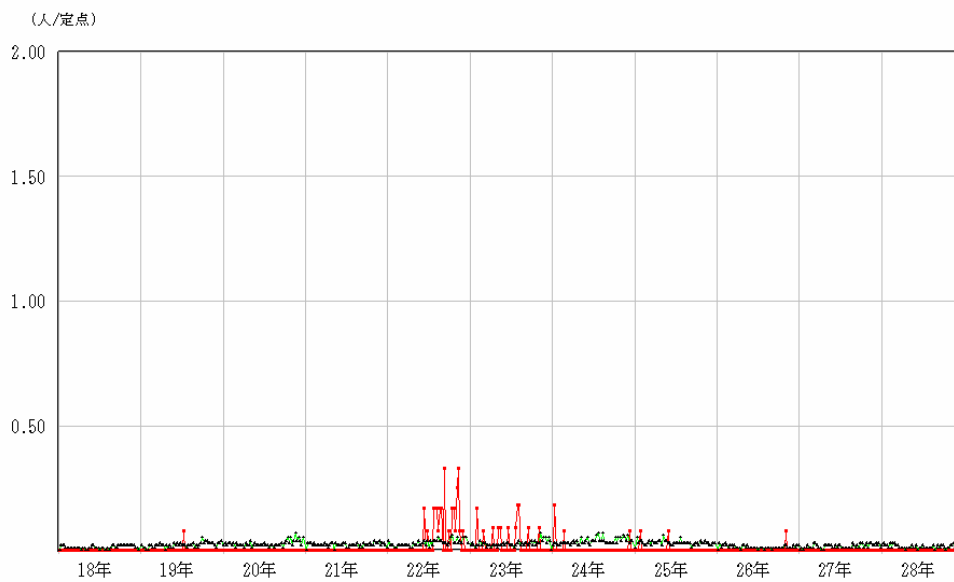
平成 28 年は前年と同様、患者の報告はなかった。

全国でも定点当たり患者数 0~0.03 人と低い値で推移した。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【クラミジア肺炎】



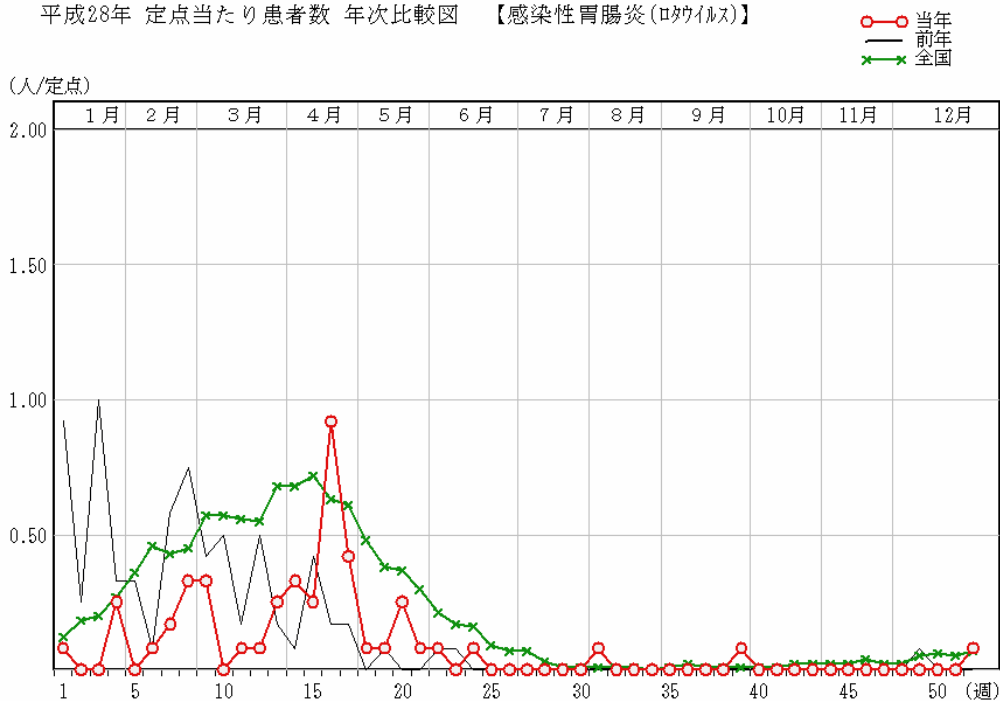
長崎県 クラミジア肺炎 全国 クラミジア肺炎



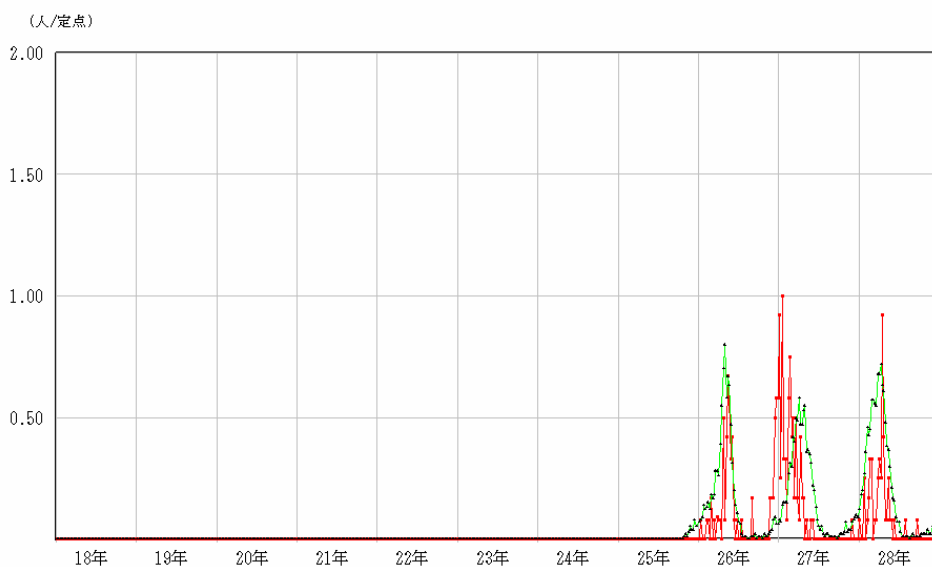
(19)感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)

平成 28 年の年間患者報告数は 54 人で、前年 (86 人) から減少した。全国では例年 3 月から 5 月に患者数が増加する傾向にあるが、長崎県でも同様の傾向であった。最も定点当たり患者数が多かったのは、第 16 週の 0.92 であった。

平成28年 定点当たり患者数 年次比較図 【感染性胃腸炎(ロタウイルス)】



長崎県 感染性胃腸炎(ロタウイルス) 全国 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

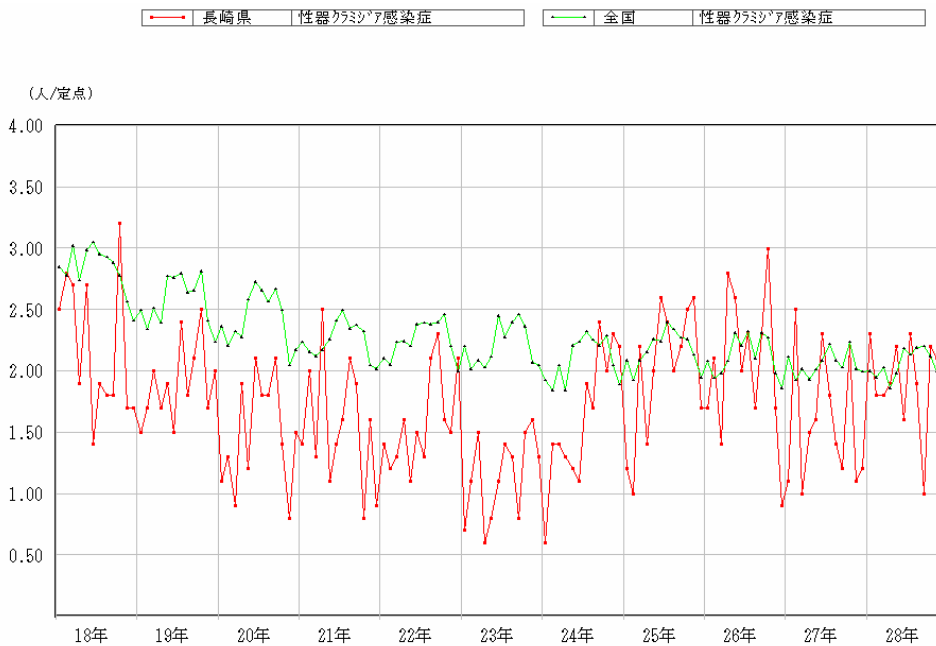
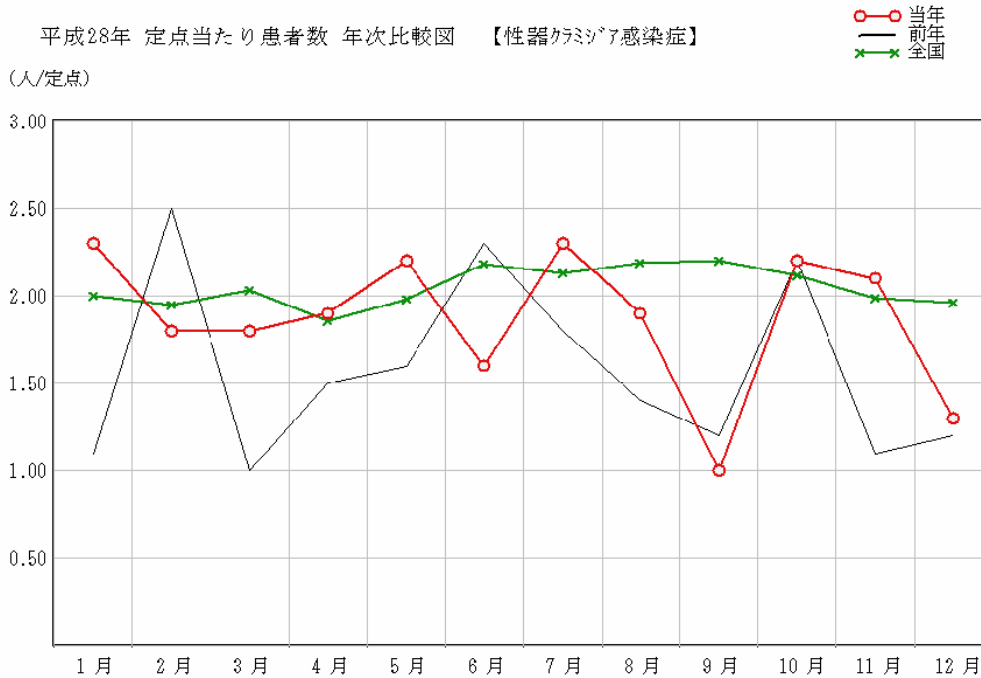


3 STD 定点報告の対象感染症

(1)性器クラミジア感染症

平成 28 年の年間患者報告数は男性 133 人(59.4%)、女性 91 人(40.6%)で、前年の男性 105 人(55.6%)、女性 84 人(44.4%)より増加した。

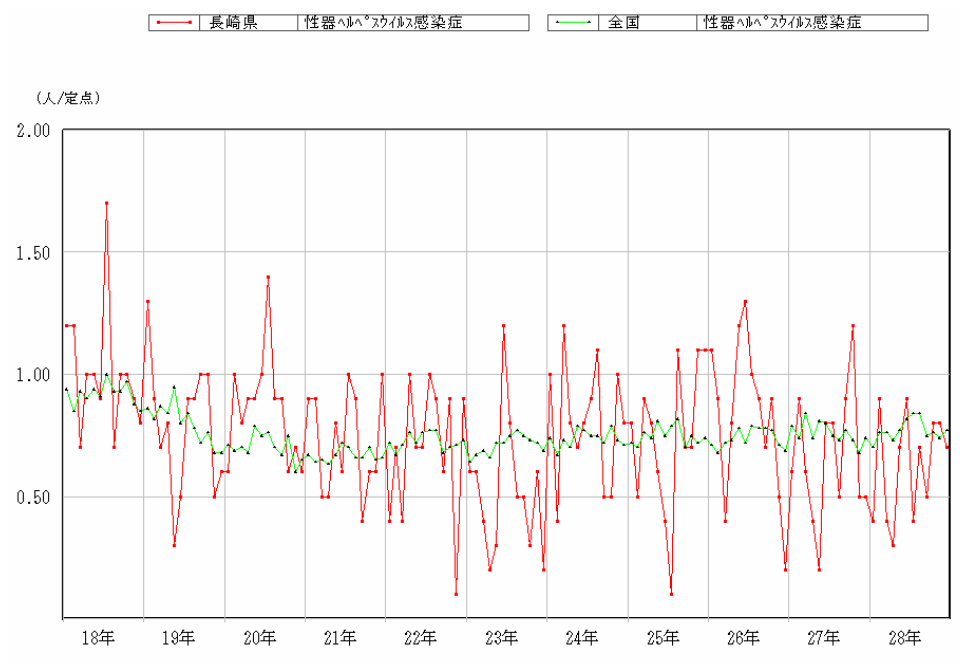
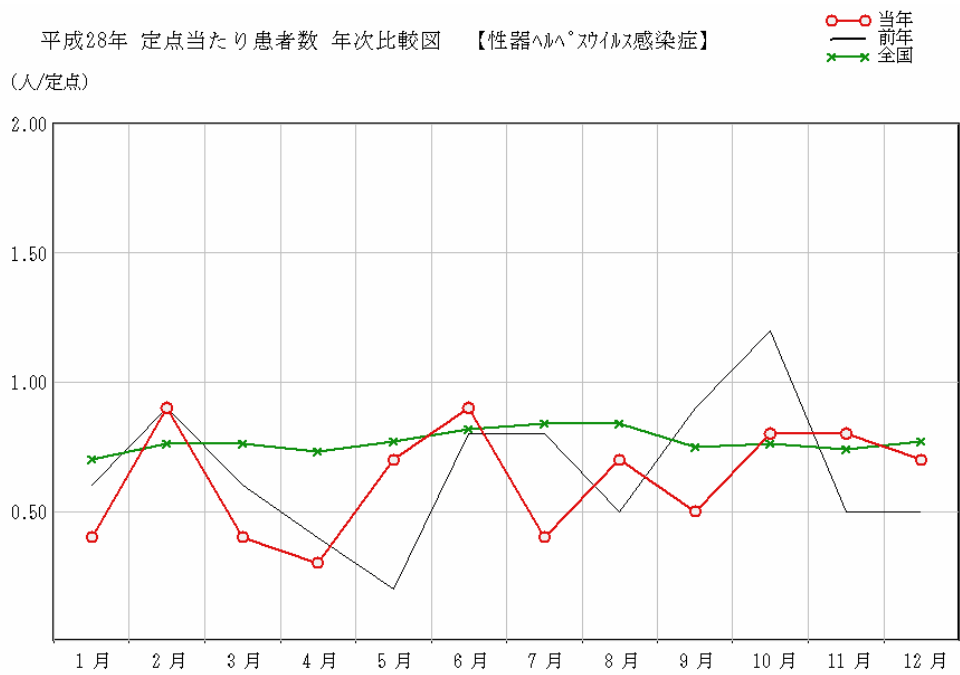
性別では、男性がやや多かった。年齢別では、男女とも 20 代が最も多く、全体の半数を占めた。



(2)性器ヘルペスウイルス感染症

平成 28 年の年間患者報告数は男性 10 人(13.3%)、女性 65 人(86.7%)で前年の男性 10 人(12.7%)、女性 69 人(87.3%)とほぼ同数であった。

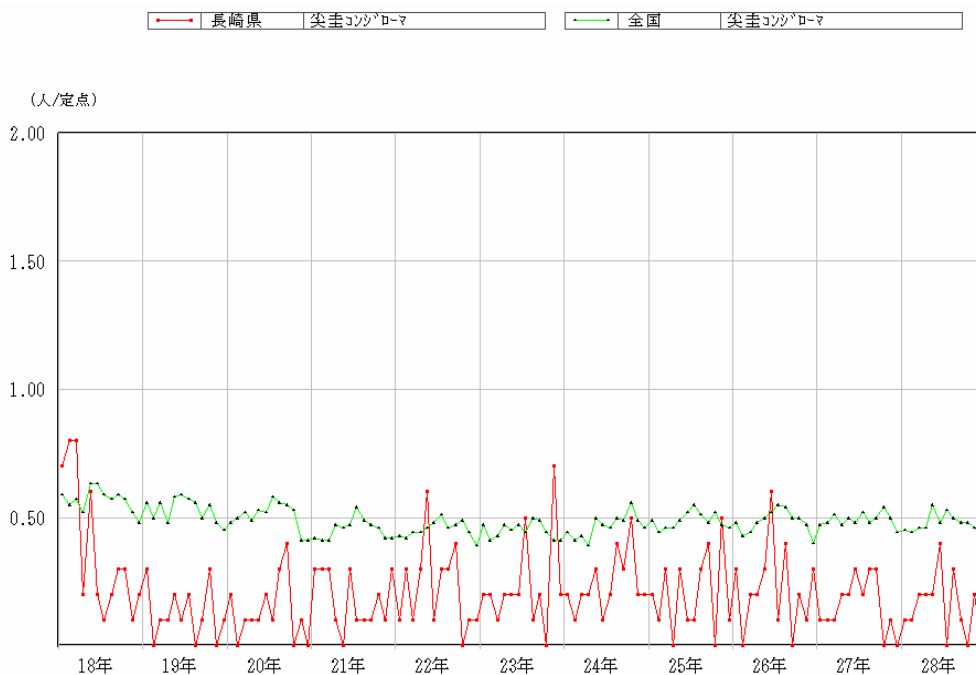
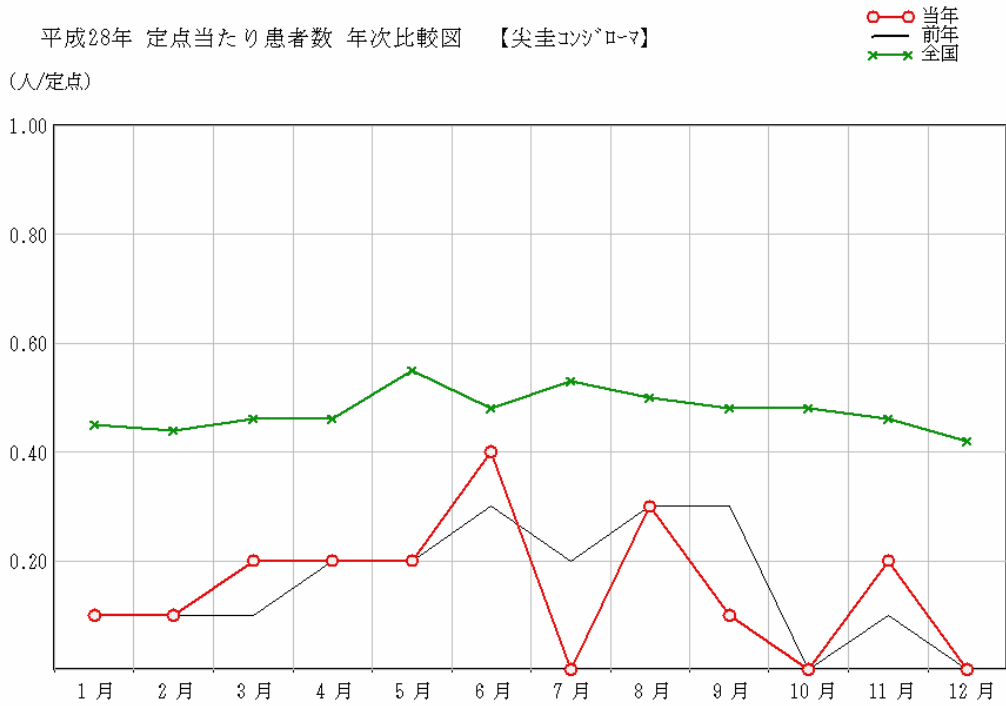
性別では、女性が多く、その割合は全国(女性 60.7%)より高かった。女性の年齢別では 20~24 歳が 12 人と最も多く、20 代、30 代で全体の 5 割を占めた。男性では、7 割が 20 代、30 代であった。



(3)尖圭コンジローマ

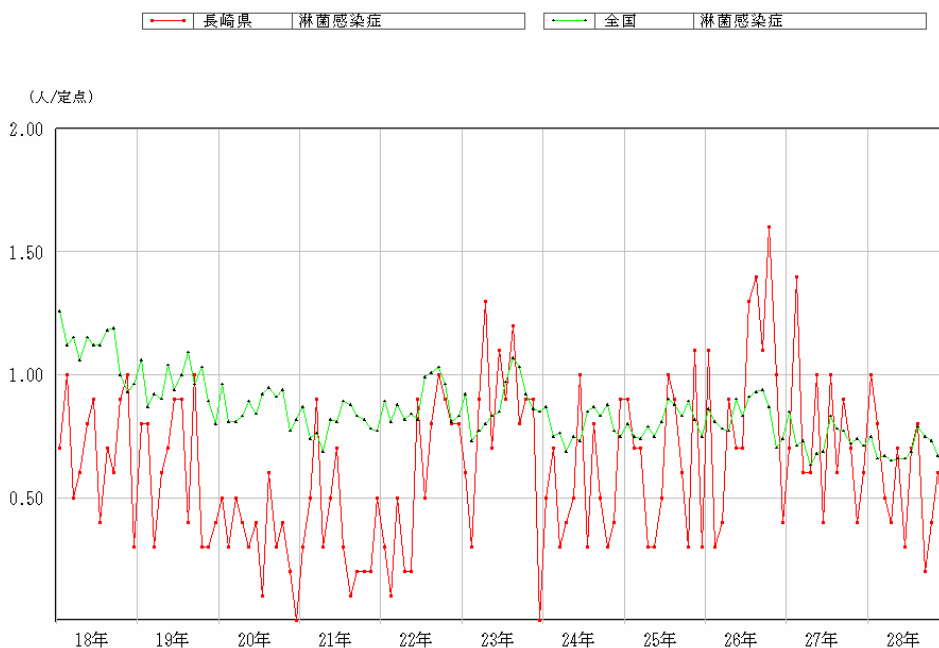
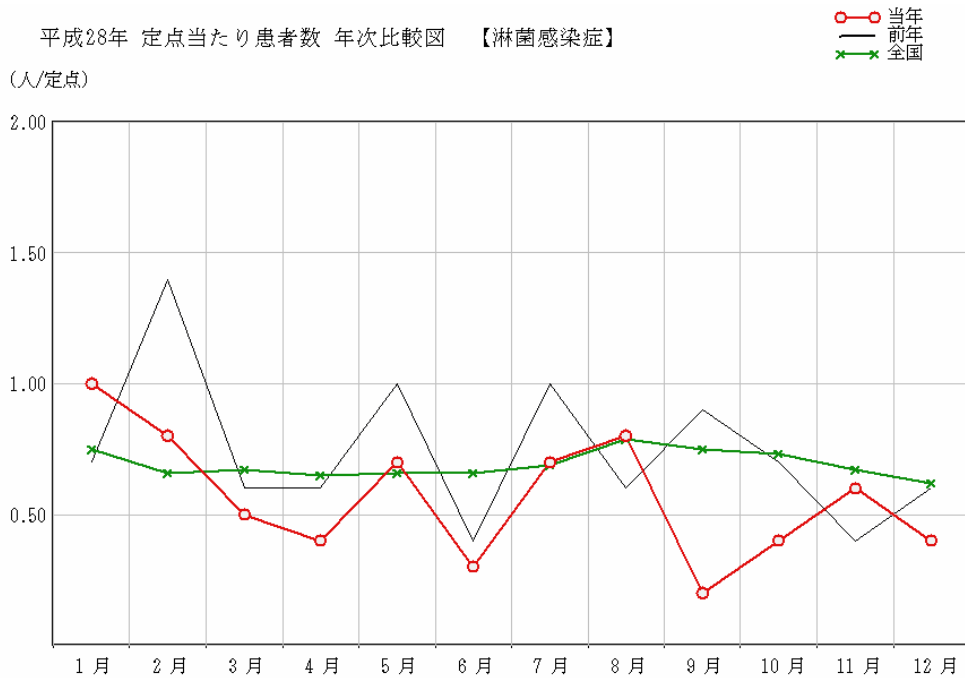
平成 28 年の年間患者報告数は男性 12 人(66.7%)、女性 6 人(33.3%)で、前年の男性 8 人(42.1%)、女性 11 人(57.9%)と総数は同程度であった。

性別では男性が 6 割以上を占め、年齢別では 20 代が 11 人と全体の 61%を占めた。前年と同様、年間を通して全国より低い値で推移した。



(4)淋菌感染症

平成 28 年の年間患者報告数は男性 58 人(85.3%)、女性 10 人(14.7%)で、前年の男性 72 人(80.9%)、女性 17 人(19.1%)より減少した。性別では男性が 8 割以上を占め、年齢別では 20 代が 42.6%、30 代が 27.9%を占め、いずれにおいても男性の患者報告数が多かった。

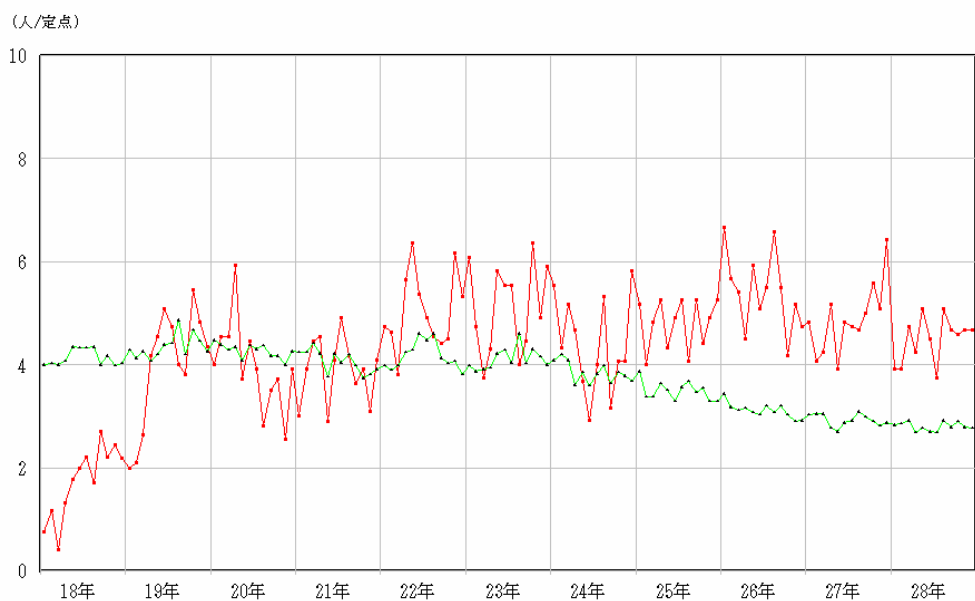
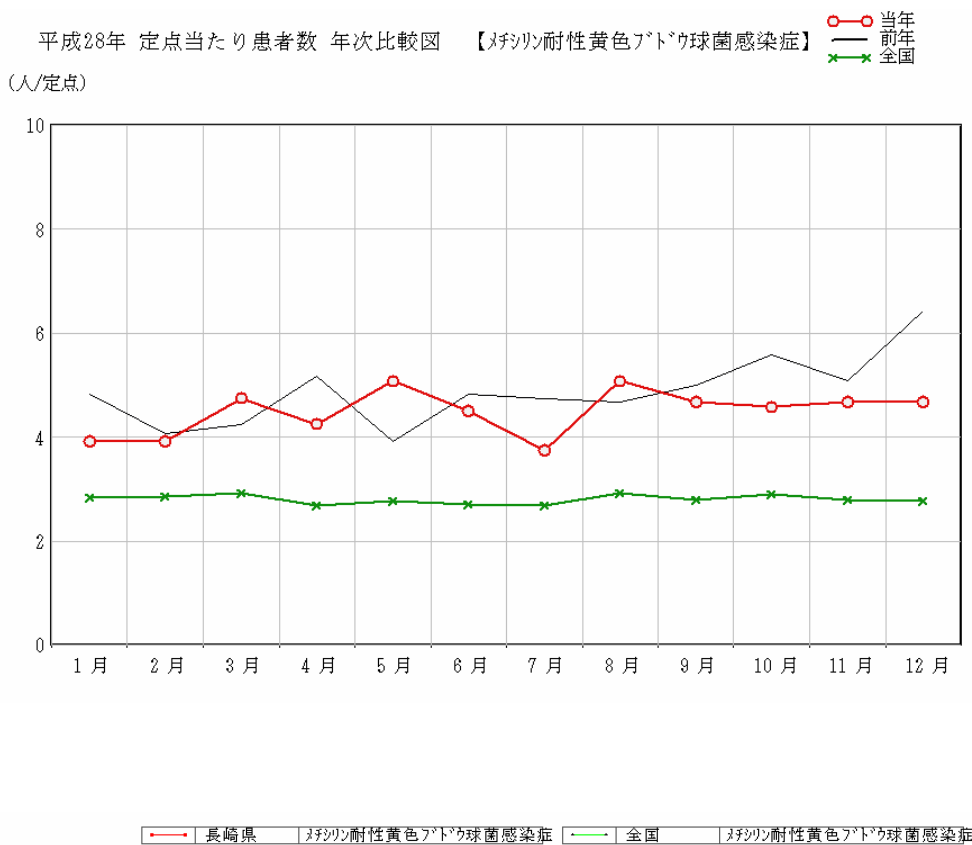


4 基幹定点報告の対象感染症

(1)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

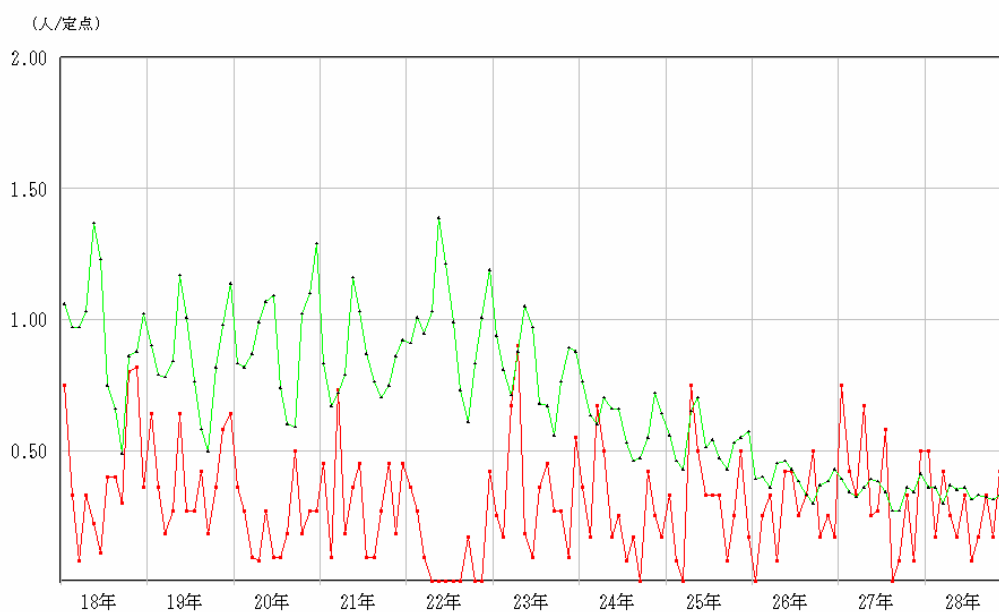
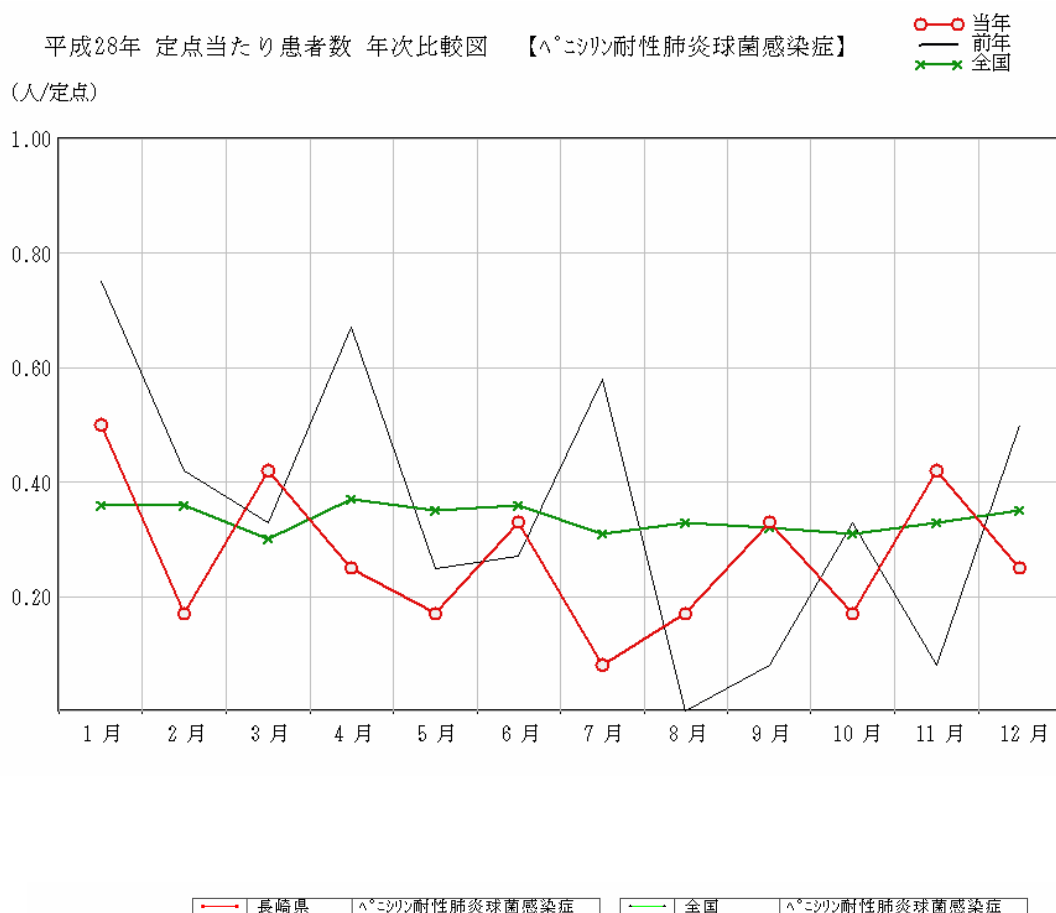
平成28年の年間患者報告数646人で、前年(698人)より減少した。年間を通して全国より高い値で推移した。

過去10年では、平成19年以前は全国を下回っていたが、それ以降は、全国平均を上回って推移している。



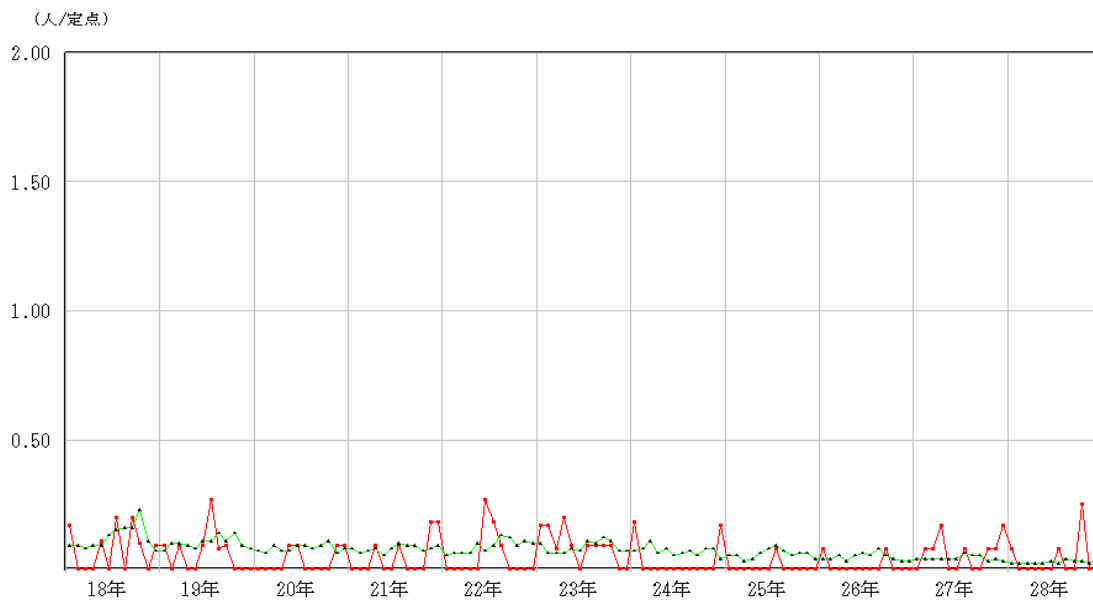
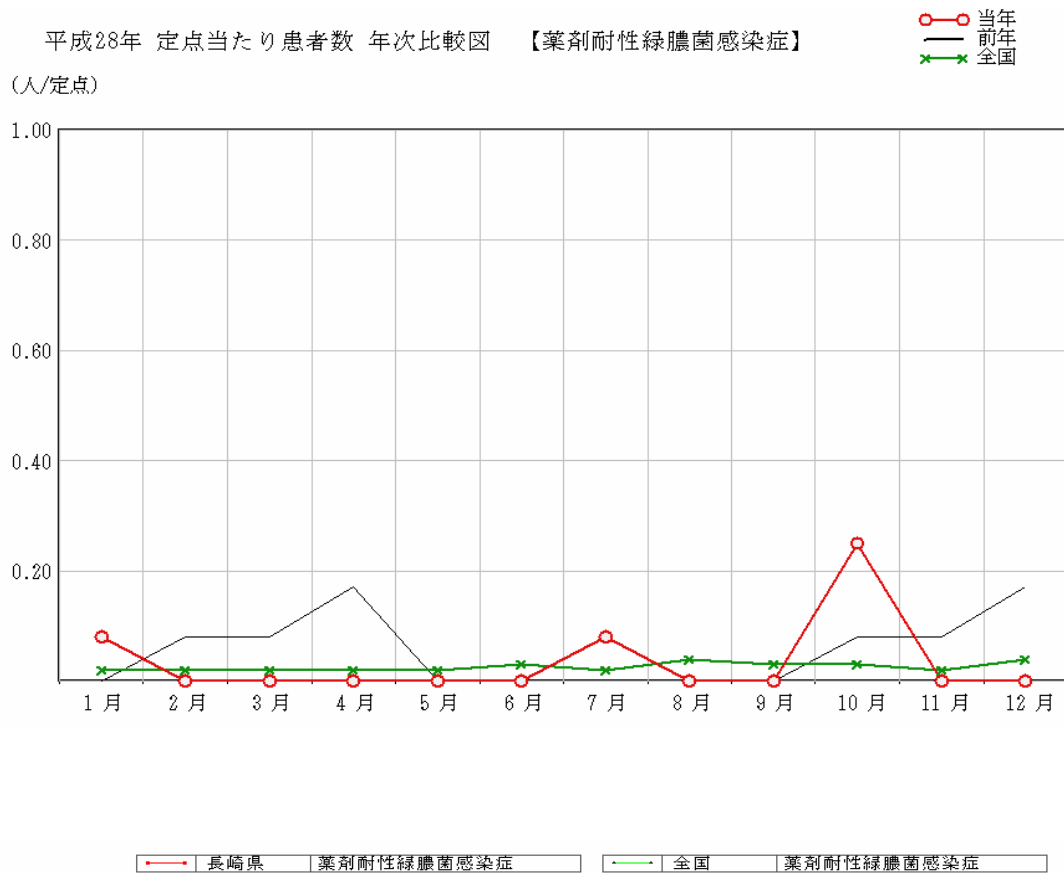
(2)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

平成28年の年間患者報告数は39人で、前年(51人)より減少した。本年は増減を繰り返しながらも、全国平均を大きく上回る月はなかった。



(3)薬剤耐性緑膿菌感染症

平成28年の年間患者報告数は5人で、前年(9人)より減少した。1、7月に各1件、10月に3件の報告があった。



平成28年 感染症速報(定点把握の感染症)推移表 患者報告数 長崎県

		定点数				疾患名									
		インフルエンザ	小児科	眼科	基幹	インフルエンザ	R9ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳
1	16.1.4-16.1.10	70	44	8	12	93	51	15	66	199	42	1	36	17	-
2	16.1.11-16.1.17	70	44	8	12	202	67	13	88	237	19	1	40	13	-
3	16.1.18-16.1.24	70	44	8	12	696	69	19	134	221	18	2	23	11	-
4	16.1.25-16.1.31	70	44	8	12	1,619	55	8	153	183	16	8	33	9	-
5	16.2.1-16.2.7	70	44	8	12	2,759	61	21	200	193	34	4	21	14	-
6	16.2.8-16.2.14	70	44	8	12	3,235	39	6	158	216	16	2	18	14	-
7	16.2.15-16.2.21	70	44	8	12	2,933	28	16	148	207	33	1	11	11	1
8	16.2.22-16.2.28	70	44	8	12	2,752	33	59	106	200	17	-	21	15	1
9	16.2.29-16.3.6	70	44	8	12	2,410	39	14	142	196	10	-	26	10	2
10	16.3.7-16.3.13	70	44	8	12	1,759	32	10	121	219	18	1	13	24	-
11	16.3.14-16.3.20	70	44	8	12	1,326	25	25	89	174	12	2	14	8	-
12	16.3.21-16.3.27	70	44	8	12	1,071	21	13	70	199	13	-	8	15	1
13	16.3.28-16.4.3	70	44	8	12	958	12	12	80	172	9	1	5	22	-
14	16.4.4-16.4.10	70	44	8	12	717	11	15	92	177	17	-	8	14	-
15	16.4.11-16.4.17	70	44	8	12	484	18	13	119	183	17	2	14	12	-
16	16.4.18-16.4.24	70	44	8	12	318	14	22	94	209	10	4	6	39	-
17	16.4.25-16.5.1	70	44	8	12	268	9	16	106	207	22	1	14	30	-
18	16.5.2-16.5.8	70	44	8	12	153	9	13	68	125	21	7	6	19	-
19	16.5.9-16.5.15	70	44	8	12	73	3	25	92	167	26	2	11	22	-
20	16.5.16-16.5.22	70	44	8	12	60	2	22	113	227	12	2	6	24	-
21	16.5.23-16.5.29	70	44	8	12	31	-	7	95	184	22	12	4	16	-
22	16.5.30-16.6.5	70	44	8	12	16	2	28	123	232	26	7	3	20	1
23	16.6.6-16.6.12	70	44	8	12	5	1	21	97	210	16	8	8	26	-
24	16.6.13-16.6.19	70	44	8	12	2	3	16	71	216	19	12	10	38	-
25	16.6.20-16.6.26	70	44	8	12	-	3	20	83	168	19	6	4	33	-
26	16.6.27-16.7.3	70	44	8	12	1	7	20	73	126	9	13	3	23	1
27	16.7.3-16.7.10	70	44	8	12	-	7	22	100	136	7	9	2	23	-
28	16.7.11-16.7.17	70	44	8	12	1	4	23	101	136	23	6	3	25	1
29	16.7.18-16.7.24	70	44	8	12	-	2	22	57	92	12	6	3	16	-
30	16.7.25-16.7.31	70	44	8	12	-	7	37	45	95	13	8	4	23	-
31	16.8.1-16.8.7	70	44	8	12	-	15	33	55	119	9	6	6	23	-
32	16.8.8-16.8.14	70	44	8	12	1	20	41	39	142	10	5	2	22	-
33	16.8.15-16.8.21	70	44	8	12	-	31	22	34	145	10	11	4	19	-
34	16.8.22-16.8.28	70	44	8	12	-	36	19	37	194	9	9	2	17	-
35	16.8.29-16.9.4	70	44	8	12	-	29	25	44	198	9	12	-	20	-
36	16.9.5-16.9.11	70	44	8	12	-	30	21	46	185	13	16	2	19	1
37	16.9.12-16.9.18	70	44	8	12	1	28	17	40	161	12	16	1	22	-
38	16.9.19-16.9.25	70	44	8	12	1	31	17	40	94	10	15	2	11	-
39	16.9.26-16.10.2	70	44	8	12	3	41	6	48	125	10	24	3	29	1
40	16.10.3-16.10.9	70	44	8	12	6	52	13	34	132	9	42	1	21	-
41	16.10.10-16.10.16	70	44	8	12	4	47	11	42	129	10	32	4	18	-
42	16.10.17-16.10.23	70	44	8	12	23	33	17	46	208	3	32	1	24	-
43	16.10.24-16.10.30	70	44	8	12	39	54	7	69	205	11	69	4	21	-
44	16.10.31-16.11.6	70	44	8	12	33	32	9	51	237	2	80	1	12	-
45	16.11.7-16.11.13	70	44	8	12	38	30	8	70	297	17	40	1	11	-
46	16.11.14-16.11.20	70	44	8	12	63	24	15	82	341	12	68	-	15	-
47	16.11.21-16.11.27	70	44	8	12	54	47	9	69	219	15	67	1	14	-
48	16.11.28-16.12.4	70	44	8	12	75	30	22	125	322	16	35	-	16	1
49	16.12.5-16.12.11	70	44	8	12	77	36	22	108	302	33	35	-	15	1
50	16.12.12-16.12.18	70	44	8	12	163	46	30	183	343	14	27	1	10	-
51	16.12.19-16.12.25	70	44	8	12	223	25	17	204	373	46	24	-	14	1
52	16.12.26-17.1.1	70	44	8	12	280	33	14	117	272	18	16	1	6	-
合計						25,026	1,384	968	4,667	10,249	846	809	415	965	13

平成28年 感染症速報(定点把握の感染症)推移表 患者報告数 長崎県

		定点数				疾患名									
		インフルエンザ	小児科	眼科	基幹	インフルエンザ	R9ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳
1	16.1.4-16.1.10	70	44	8	12	93	51	15	66	199	42	1	36	17	-
2	16.1.11-16.1.17	70	44	8	12	202	67	13	88	237	19	1	40	13	-
3	16.1.18-16.1.24	70	44	8	12	696	69	19	134	221	18	2	23	11	-
4	16.1.25-16.1.31	70	44	8	12	1,619	55	8	153	183	16	8	33	9	-
5	16.2.1-16.2.7	70	44	8	12	2,759	61	21	200	193	34	4	21	14	-
6	16.2.8-16.2.14	70	44	8	12	3,235	39	6	158	216	16	2	18	14	-
7	16.2.15-16.2.21	70	44	8	12	2,933	28	16	148	207	33	1	11	11	1
8	16.2.22-16.2.28	70	44	8	12	2,752	33	59	106	200	17	-	21	15	1
9	16.2.29-16.3.6	70	44	8	12	2,410	39	14	142	196	10	-	26	10	2
10	16.3.7-16.3.13	70	44	8	12	1,759	32	10	121	219	18	1	13	24	-
11	16.3.14-16.3.20	70	44	8	12	1,326	25	25	89	174	12	2	14	8	-
12	16.3.21-16.3.27	70	44	8	12	1,071	21	13	70	199	13	-	8	15	1
13	16.3.28-16.4.3	70	44	8	12	958	12	12	80	172	9	1	5	22	-
14	16.4.4-16.4.10	70	44	8	12	717	11	15	92	177	17	-	8	14	-
15	16.4.11-16.4.17	70	44	8	12	484	18	13	119	183	17	2	14	12	-
16	16.4.18-16.4.24	70	44	8	12	318	14	22	94	209	10	4	6	39	-
17	16.4.25-16.5.1	70	44	8	12	268	9	16	106	207	22	1	14	30	-
18	16.5.2-16.5.8	70	44	8	12	153	9	13	68	125	21	7	6	19	-
19	16.5.9-16.5.15	70	44	8	12	73	3	25	92	167	26	2	11	22	-
20	16.5.16-16.5.22	70	44	8	12	60	2	22	113	227	12	2	6	24	-
21	16.5.23-16.5.29	70	44	8	12	31	-	7	95	184	22	12	4	16	-
22	16.5.30-16.6.5	70	44	8	12	16	2	28	123	232	26	7	3	20	1
23	16.6.6-16.6.12	70	44	8	12	5	1	21	97	210	16	8	8	26	-
24	16.6.13-16.6.19	70	44	8	12	2	3	16	71	216	19	12	10	38	-
25	16.6.20-16.6.26	70	44	8	12	-	3	20	83	168	19	6	4	33	-
26	16.6.27-16.7.3	70	44	8	12	1	7	20	73	126	9	13	3	23	1
27	16.7.3-16.7.10	70	44	8	12	-	7	22	100	136	7	9	2	23	-
28	16.7.11-16.7.17	70	44	8	12	1	4	23	101	136	23	6	3	25	1
29	16.7.18-16.7.24	70	44	8	12	-	2	22	57	92	12	6	3	16	-
30	16.7.25-16.7.31	70	44	8	12	-	7	37	45	95	13	8	4	23	-
31	16.8.1-16.8.7	70	44	8	12	-	15	33	55	119	9	6	6	23	-
32	16.8.8-16.8.14	70	44	8	12	1	20	41	39	142	10	5	2	22	-
33	16.8.15-16.8.21	70	44	8	12	-	31	22	34	145	10	11	4	19	-
34	16.8.22-16.8.28	70	44	8	12	-	36	19	37	194	9	9	2	17	-
35	16.8.29-16.9.4	70	44	8	12	-	29	25	44	198	9	12	-	20	-
36	16.9.5-16.9.11	70	44	8	12	-	30	21	46	185	13	16	2	19	1
37	16.9.12-16.9.18	70	44	8	12	1	28	17	40	161	12	16	1	22	-
38	16.9.19-16.9.25	70	44	8	12	1	31	17	40	94	10	15	2	11	-
39	16.9.26-16.10.2	70	44	8	12	3	41	6	48	125	10	24	3	29	1
40	16.10.3-16.10.9	70	44	8	12	6	52	13	34	132	9	42	1	21	-
41	16.10.10-16.10.16	70	44	8	12	4	47	11	42	129	10	32	4	18	-
42	16.10.17-16.10.23	70	44	8	12	23	33	17	46	208	3	32	1	24	-
43	16.10.24-16.10.30	70	44	8	12	39	54	7	69	205	11	69	4	21	-
44	16.10.31-16.11.6	70	44	8	12	33	32	9	51	237	2	80	1	12	-
45	16.11.7-16.11.13	70	44	8	12	38	30	8	70	297	17	40	1	11	-
46	16.11.14-16.11.20	70	44	8	12	63	24	15	82	341	12	68	-	15	-
47	16.11.21-16.11.27	70	44	8	12	54	47	9	69	219	15	67	1	14	-
48	16.11.28-16.12.4	70	44	8	12	75	30	22	125	322	16	35	-	16	1
49	16.12.5-16.12.11	70	44	8	12	77	36	22	108	302	33	35	-	15	1
50	16.12.12-16.12.18	70	44	8	12	163	46	30	183	343	14	27	1	10	-
51	16.12.19-16.12.25	70	44	8	12	223	25	17	204	373	46	24	-	14	1
52	16.12.26-17.1.1	70	44	8	12	280	33	14	117	272	18	16	1	6	-
合計						25,026	1,384	968	4,667	10,249	846	809	415	965	13

平成28年 感染症速報(定点把握の感染症)推移表 定点あたり患者報告数 長崎県

		定点数				疾患名									
		インフルエンザ	小児科	眼科	基幹	インフルエンザ	R9ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳
1	16.1.4-16.1.10	70	44	8	12	1.33	1.16	0.34	1.50	4.52	0.95	0.02	0.82	0.39	-
2	16.1.11-16.1.17	70	44	8	12	2.89	1.52	0.30	2.00	5.39	0.43	0.02	0.91	0.30	-
3	16.1.18-16.1.24	70	44	8	12	9.94	1.57	0.43	3.05	5.02	0.41	0.05	0.52	0.25	-
4	16.1.25-16.1.31	70	44	8	12	23.13	1.25	0.18	3.48	4.16	0.36	0.18	0.75	0.20	-
5	16.2.1-16.2.7	70	44	8	12	39.41	1.39	0.48	4.55	4.39	0.77	0.09	0.48	0.32	-
6	16.2.8-16.2.14	70	44	8	12	46.21	0.89	0.14	3.59	4.91	0.36	0.05	0.41	0.32	-
7	16.2.15-16.2.21	70	44	8	12	41.90	0.64	0.36	3.36	4.70	0.75	0.02	0.25	0.25	0.02
8	16.2.22-16.2.28	70	44	8	12	39.31	0.75	1.34	2.41	4.55	0.39	-	0.48	0.34	0.02
9	16.2.29-16.3.6	70	44	8	12	34.43	0.89	0.32	3.23	4.45	0.23	-	0.59	0.23	0.05
10	16.3.7-16.3.13	70	44	8	12	25.13	0.73	0.23	2.75	4.98	0.41	0.02	0.30	0.55	-
11	16.3.14-16.3.20	70	44	8	12	18.94	0.57	0.57	2.02	3.95	0.27	0.05	0.32	0.18	-
12	16.3.21-16.3.27	70	44	8	12	15.30	0.48	0.30	1.59	4.52	0.30	-	0.18	0.34	0.02
13	16.3.28-16.4.3	70	44	8	12	13.69	0.27	0.27	1.82	3.91	0.20	0.02	0.11	0.50	-
14	16.4.4-16.4.10	70	44	8	12	10.24	0.25	0.34	2.09	4.02	0.39	-	0.18	0.32	-
15	16.4.11-16.4.17	70	44	8	12	6.91	0.41	0.30	2.70	4.16	0.39	0.05	0.32	0.27	-
16	16.4.18-16.4.24	70	44	8	12	4.54	0.32	0.50	2.14	4.75	0.23	0.09	0.14	0.89	-
17	16.4.25-16.5.1	70	44	8	12	3.83	0.20	0.36	2.41	4.70	0.50	0.02	0.32	0.68	-
18	16.5.2-16.5.8	70	44	8	12	2.19	0.20	0.30	1.55	2.84	0.48	0.16	0.14	0.43	-
19	16.5.9-16.5.15	70	44	8	12	1.04	0.07	0.57	2.09	3.80	0.59	0.05	0.25	0.50	-
20	16.5.16-16.5.22	70	44	8	12	0.86	0.05	0.50	2.57	5.16	0.27	0.05	0.14	0.55	-
21	16.5.23-16.5.29	70	44	8	12	0.44	-	0.16	2.16	4.18	0.50	0.27	0.09	0.36	-
22	16.5.30-16.6.5	70	44	8	12	0.23	0.05	0.64	2.80	5.27	0.59	0.16	0.07	0.45	0.02
23	16.6.6-16.6.12	70	44	8	12	0.07	0.02	0.48	2.20	4.77	0.36	0.18	0.18	0.59	-
24	16.6.13-16.6.19	70	44	8	12	0.03	0.07	0.37	1.65	5.02	0.44	0.28	0.23	0.88	-
25	16.6.20-16.6.26	70	44	8	12	-	0.07	0.45	1.89	3.82	0.43	0.14	0.09	0.75	-
26	16.6.27-16.7.3	70	44	8	12	0.01	0.16	0.45	1.66	2.86	0.20	0.30	0.07	0.52	0.02
27	16.7.3-16.7.10	70	44	8	12	-	0.16	0.50	2.27	3.09	0.16	0.20	0.05	0.52	-
28	16.7.11-16.7.17	70	44	8	12	0.01	0.09	0.52	2.30	3.09	0.52	0.14	0.07	0.57	0.02
29	16.7.18-16.7.24	70	44	8	12	-	0.05	0.50	1.30	2.09	0.27	0.14	0.07	0.36	-
30	16.7.25-16.7.31	70	44	8	12	-	0.16	0.84	1.02	2.16	0.30	0.18	0.09	0.52	-
31	16.8.1-16.8.7	70	44	8	12	-	0.34	0.75	1.25	2.70	0.20	0.14	0.14	0.52	-
32	16.8.8-16.8.14	70	44	8	12	0.01	0.45	0.93	0.89	3.23	0.23	0.11	0.05	0.50	-
33	16.8.15-16.8.21	70	44	8	12	-	0.70	0.50	0.77	3.30	0.23	0.25	0.09	0.43	-
34	16.8.22-16.8.28	70	44	8	12	-	0.82	0.43	0.84	4.41	0.20	0.20	0.05	0.39	-
35	16.8.29-16.9.4	70	44	8	12	-	0.66	0.57	1.00	4.50	0.20	0.27	-	0.45	-
36	16.9.5-16.9.11	70	44	8	12	-	0.68	0.48	1.05	4.20	0.30	0.36	0.05	0.43	0.02
37	16.9.12-16.9.18	70	44	8	12	0.01	0.64	0.39	0.91	3.66	0.27	0.36	0.02	0.50	-
38	16.9.19-16.9.25	70	44	8	12	0.01	0.70	0.39	0.91	2.14	0.23	0.34	0.05	0.25	-
39	16.9.26-16.10.2	70	44	8	12	0.04	0.93	0.14	1.09	2.84	0.23	0.55	0.07	0.66	0.02
40	16.10.3-16.10.9	70	44	8	12	0.09	1.18	0.30	0.77	3.00	0.20	0.95	0.02	0.48	-
41	16.10.10-16.10.16	70	44	8	12	0.06	1.07	0.25	0.95	2.93	0.23	0.73	0.09	0.41	-
42	16.10.17-16.10.23	70	44	8	12	0.33	0.75	0.39	1.05	4.73	0.07	0.73	0.02	0.55	-
43	16.10.24-16.10.30	70	44	8	12	0.56	1.23	0.16	1.57	4.66	0.25	1.57	0.09	0.48	-
44	16.10.31-16.11.6	70	44	8	12	0.47	0.73	0.20	1.16	5.39	0.05	1.82	0.02	0.27	-
45	16.11.7-16.11.13	70	44	8	12	0.54	0.68	0.18	1.59	6.75	0.39	0.91	0.02	0.25	-
46	16.11.14-16.11.20	70	44	8	12	0.90	0.55	0.34	1.86	7.75	0.27	1.55	-	0.34	-
47	16.11.21-16.11.27	70	44	8	12	0.77	1.07	0.20	1.57	4.98	0.34	1.52	0.02	0.32	-
48	16.11.28-16.12.4	70	44	8	12	1.07	0.68	0.50	2.84	7.32	0.36	0.80	-	0.36	0.02
49	16.12.5-16.12.11	70	44	8	12	1.10	0.82	0.50	2.45	6.86	0.75	0.80	-	0.34	0.02
50	16.12.12-16.12.18	70	44	8	12	2.33	1.05	0.68	4.16	7.80	0.32	0.61	0.02	0.23	-
51	16.12.19-16.12.25	70	44	8	12	3.19	0.57	0.39	4.64	8.48	1.05	0.55	-	0.32	0.02
52	16.12.26-17.1.1	70	44	8	12	4.00	0.75	0.32	2.66	6.18	0.41	0.36	0.02	0.14	-

平成28年 感染症速報(定点把握の感染症)推移表 定点あたり患者報告数 長崎県

		定点数				疾患名									
		インフル エンザ	小児科	眼科	基幹	ヘルパン ギナ	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マロア ズマ肺炎	クラミジア 肺炎	感染性胃腸 炎(ロタウイ ルス)	
1	16.1.4-16.1.10	70	44	8	12	0.05	1.52	-	3.00	-	0.08	1.58	-	0.08	
2	16.1.11-16.1.17	70	44	8	12	0.02	1.57	-	2.63	-	-	0.42	-	-	
3	16.1.18-16.1.24	70	44	8	12	0.02	0.95	-	1.50	-	0.17	0.67	-	-	
4	16.1.25-16.1.31	70	44	8	12	0.02	1.43	-	2.50	-	0.25	0.25	-	0.25	
5	16.2.1-16.2.7	70	44	8	12	-	0.93	-	2.38	0.08	-	0.33	-	-	
6	16.2.8-16.2.14	70	44	8	12	-	1.20	-	1.50	-	0.08	0.58	-	0.08	
7	16.2.15-16.2.21	70	44	8	12	-	1.07	-	1.38	-	0.08	0.17	-	0.17	
8	16.2.22-16.2.28	70	44	8	12	-	0.84	-	1.75	-	-	0.33	-	0.33	
9	16.2.29-16.3.6	70	44	8	12	-	1.27	-	0.88	-	-	0.33	-	0.33	
10	16.3.7-16.3.13	70	44	8	12	-	0.84	-	1.38	-	0.08	0.58	-	-	
11	16.3.14-16.3.20	70	44	8	12	-	1.00	-	2.13	-	0.17	0.25	-	0.08	
12	16.3.21-16.3.27	70	44	8	12	0.02	1.09	-	0.88	-	-	0.67	-	0.08	
13	16.3.28-16.4.3	70	44	8	12	-	0.55	0.13	1.00	-	0.17	0.75	-	0.25	
14	16.4.4-16.4.10	70	44	8	12	0.11	0.64	-	1.38	0.08	-	0.25	-	0.33	
15	16.4.11-16.4.17	70	44	8	12	0.16	1.02	-	1.25	-	0.08	0.08	-	0.25	
16	16.4.18-16.4.24	70	44	8	12	0.16	0.50	-	2.63	-	0.25	0.33	-	0.92	
17	16.4.25-16.5.1	70	44	8	12	0.14	0.84	0.25	1.75	-	-	0.42	-	0.42	
18	16.5.2-16.5.8	70	44	8	12	0.09	0.75	-	1.88	-	-	0.33	-	0.08	
19	16.5.9-16.5.15	70	44	8	12	0.18	1.11	-	1.75	-	0.42	0.58	-	0.08	
20	16.5.16-16.5.22	70	44	8	12	0.23	1.02	-	2.63	-	0.08	0.50	-	0.25	
21	16.5.23-16.5.29	70	44	8	12	0.16	0.84	-	2.63	-	-	1.08	-	0.08	
22	16.5.30-16.6.5	70	44	8	12	0.20	0.80	-	3.38	-	-	0.50	-	0.08	
23	16.6.6-16.6.12	70	44	8	12	0.45	0.61	-	1.75	-	-	0.67	-	-	
24	16.6.13-16.6.19	70	44	8	12	0.60	0.88	-	1.50	-	0.08	0.58	-	0.08	
25	16.6.20-16.6.26	70	44	8	12	0.50	0.77	-	1.88	-	-	1.17	-	-	
26	16.6.27-16.7.3	70	44	8	12	0.77	0.52	-	0.88	-	0.17	0.42	-	-	
27	16.7.3-16.7.10	70	44	8	12	0.70	0.84	-	0.50	-	0.08	0.92	-	-	
28	16.7.11-16.7.17	70	44	8	12	0.50	1.07	-	0.88	-	0.25	1.00	-	-	
29	16.7.18-16.7.24	70	44	8	12	0.45	1.36	0.13	0.25	-	0.08	1.25	-	-	
30	16.7.25-16.7.31	70	44	8	12	0.64	1.02	-	0.75	-	0.17	1.17	-	-	
31	16.8.1-16.8.7	70	44	8	12	0.89	1.11	-	0.75	-	0.17	1.00	-	0.08	
32	16.8.8-16.8.14	70	44	8	12	0.55	1.14	-	2.75	-	0.33	1.42	-	-	
33	16.8.15-16.8.21	70	44	8	12	0.25	1.23	-	3.38	-	0.25	1.08	-	-	
34	16.8.22-16.8.28	70	44	8	12	0.25	1.39	-	4.75	-	0.08	1.00	-	-	
35	16.8.29-16.9.4	70	44	8	12	0.20	0.95	-	6.00	-	0.17	0.92	-	-	
36	16.9.5-16.9.11	70	44	8	12	0.18	1.36	-	7.13	-	0.17	0.75	-	-	
37	16.9.12-16.9.18	70	44	8	12	0.27	1.89	-	5.50	-	0.17	1.42	-	-	
38	16.9.19-16.9.25	70	44	8	12	0.25	1.57	-	3.13	-	-	1.42	-	-	
39	16.9.26-16.10.2	70	44	8	12	0.36	1.52	-	2.88	-	0.17	1.33	-	0.08	
40	16.10.3-16.10.9	70	44	8	12	0.64	1.68	-	3.38	-	-	0.33	-	-	
41	16.10.10-16.10.16	70	44	8	12	0.48	1.20	-	2.38	-	-	0.50	-	-	
42	16.10.17-16.10.23	70	44	8	12	0.61	2.39	-	2.50	-	0.17	1.08	-	-	
43	16.10.24-16.10.30	70	44	8	12	0.68	1.39	-	1.88	0.08	-	1.08	-	-	
44	16.10.31-16.11.6	70	44	8	12	0.70	1.23	-	1.50	-	-	1.00	-	-	
45	16.11.7-16.11.13	70	44	8	12	0.68	1.93	-	1.38	-	-	0.58	-	-	
46	16.11.14-16.11.20	70	44	8	12	0.32	0.89	-	1.00	-	0.08	0.58	-	-	
47	16.11.21-16.11.27	70	44	8	12	0.50	1.23	-	0.75	-	0.08	0.92	-	-	
48	16.11.28-16.12.4	70	44	8	12	0.45	1.48	-	0.38	-	0.17	0.50	-	-	
49	16.12.5-16.12.11	70	44	8	12	0.39	1.07	-	1.25	-	-	1.00	-	-	
50	16.12.12-16.12.18	70	44	8	12	0.61	1.05	-	1.38	-	-	0.92	-	-	
51	16.12.19-16.12.25	70	44	8	12	0.25	0.66	-	0.88	-	-	0.75	-	-	
52	16.12.26-17.1.1	70	44	8	12	0.16	0.86	-	0.75	-	0.17	0.50	-	0.08	

平成28年 感染症月報推移表 患者報告数 長崎県

月	STD 定点点数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖形 コンジロー マ	淋菌 感染症	月	基幹 定点数	メシ チリン 耐性 黄色 ブドウ 球菌 感染症	ペ ニシ リン 耐性 肺炎 球菌 感染症	薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症	薬 剤 耐 性 ア シ ネ ト バ ク タ ー 感 染 症
1月	10	11	6	1	7	1月	12	58	9	-	-
2月	10	25	9	1	14	2月	12	49	5	1	-
3月	10	10	6	1	6	3月	12	51	4	1	-
4月	10	15	4	2	6	4月	12	62	8	2	-
5月	10	16	2	2	10	5月	12	47	3	-	-
6月	10	23	8	3	4	6月	12	53	3	-	-
7月	10	18	8	2	10	7月	12	57	7	1	-
8月	10	14	5	3	6	8月	12	56	-	-	-
9月	10	12	9	3	9	9月	12	60	1	-	-
10月	10	22	12	-	7	10月	12	67	4	1	-
11月	10	11	5	1	4	11月	12	61	1	1	-
12月	10	12	5	-	6	12月	12	77	6	2	-
合計		189	79	19	89	合計	144	698	51	9	0

平成28年 感染症月報推移表 定点当たり患者数 長崎県

月	STD 定点点数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖形 コンジロー マ	淋菌 感染症	月	基幹 定点数	メシ チリン 耐性 黄色 ブドウ 球菌 感染症	ペ ニシ リン 耐性 肺炎 球菌 感染症	薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症	薬 剤 耐 性 ア シ ネ ト バ ク タ ー 感 染 症
1月	10	1.1	0.6	0.1	0.7	1月	12	4.83	0.75	-	-
2月	10	2.5	0.9	0.1	1.4	2月	12	4.08	0.42	0.08	-
3月	10	1.0	0.6	0.1	0.6	3月	12	4.25	0.33	0.08	-
4月	10	1.5	0.4	0.2	0.6	4月	12	5.17	0.67	0.17	-
5月	10	1.6	0.2	0.2	1.0	5月	12	3.92	0.25	-	-
6月	10	2.3	0.8	0.3	0.4	6月	12	4.82	0.27	-	-
7月	10	1.8	0.8	0.2	1.0	7月	12	4.75	0.58	0.08	-
8月	10	1.4	0.5	0.3	0.6	8月	12	4.67	-	-	-
9月	10	1.2	0.9	0.3	0.9	9月	12	5.00	0.08	-	-
10月	10	2.2	1.2	-	0.7	10月	12	5.58	0.33	0.08	-
11月	10	1.1	0.5	0.1	0.4	11月	12	5.08	0.08	0.08	-
12月	10	1.2	0.5	-	0.6	12月	12	6.42	0.50	0.17	-

医療機関病原体検出情報

医療機関病原体検出情報（月報及び年報）

「長崎県感染症発生動向調査事業実施要領」に基づき、長崎県感染症情報センター機能の一環として、地域の中核医療機関等の臨床検査室（微生物部門）の病原体検出数（月報）を集計し、その結果を医療機関に還元することにより、良質かつ適切な医療の提供に寄与し、感染症発生の予防及び蔓延の防止を目的とする。

対象医療機関

長崎市、大村市及び佐世保市の各 1 施設。

病原菌検出状況報告書

平成28年度 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出率
003	<i>Escherichia coli</i> 組織侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性(ETEC)	1	
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)	4	
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他, 不明		
101	<i>Salmonella Typhi</i>		
102	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)	1	
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)	2	
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1: 目 Tor. Ogawa, CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2: 目 Tor. Ogawa, CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3: 目 Tor. Inaba, CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2: 目 Tor. Inaba, CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>	1	
221	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>	10	
224	<i>Campylobacter coli</i>	1	
225	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず	7	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	19	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)	17	
227	<i>Clostridium perfringens</i>	2	
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>	1	
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出率
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Eutamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合 計	66	

(*)*: 海外旅行者分再掲

* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、裏面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

** *V. cholerae* O139が検出された場合は、裏面の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。

分離材料: 穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	46	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	20	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	2	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	24	
163	<i>Mycobacterium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	18	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	67	
452	PRSP - PISP		
038	PRSP - PISP以外	3	
422	<i>Anaerobes</i>	75	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合 計	259	

分離材料: 髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus B</i>		
452	PRSP / PISP	2	
038	PRSP / PISP以外		
	合 計	2	

分離材料: 咽頭および鼻咽喉からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出率
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	45	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus A</i>	10	
452	PRSP / PISP	3	
038	PRSP / PISP以外	27	
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		
	合 計	85	

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	700	
176	<i>Enterobacter spp.</i>	90	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	143	
423	<i>Acinetobacter spp.</i>	10	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	154	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	26	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	44	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	115	
424	<i>Enterococcus</i>	384	
425	<i>Candida albicans</i>	125	
	合 計	1791	

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>		
003	<i>Salmonella Typhi</i>	202	
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
426	<i>Salmonella spp.</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	4	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	1	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	41	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	107	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	87	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	246	
032	<i>Streptococcus B</i>	5	
452	PRSP / PISP	1	
038	PRSP / PISP以外	7	
422	<i>Anaerobes</i>	54	
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
	合 計	755	

分離材料: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出率
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	40	
453	<i>Mycobacterium avium - Intracellulare complex</i>	46	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	166	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	117	
039	<i>Legionella pneumoniae</i>	1	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	258	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	203	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	176	
031	<i>Streptococcus A</i>	2	
032	<i>Streptococcus B</i>	26	
452	PRSP / PISP	12	
038	PRSP / PISP以外	52	
422	<i>Anaerobes</i>	12	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	11	
	合 計	1122	

分離材料: 陰部尿道頭管擦過(分泌物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出率
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	5	
032	<i>Streptococcus B</i>	119	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	6	
124	<i>Ureaplasma</i>	1	
425	<i>Candida albicans</i>	116	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合 計	247	

病原菌検出状況報告書

平成28年1月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料:糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	海外旅行者
003	<i>Escherichia coli</i> 組菌侵入性(EIC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素原性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他,不明		
101	<i>Salmonella Typhi</i>		
102	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
104	<i>Salmonella O4(B)</i>		
105	<i>Salmonella O7(C1, C4)</i>		
106	<i>Salmonella O8(C2, C3)</i>		
107	<i>Salmonella O9(D1)</i>		
108	<i>Salmonella O9, 46(D3)</i>		
109	<i>Salmonella O3, 10(E1, E2, E3)</i>		
110	<i>Salmonella O1, 3, 19(E4)</i>		
112	<i>Salmonella O13(G1, G2)</i>		
116	<i>Salmonella O18(K)</i>		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae O1:El Tor, Ogawa, CT(+)</i>		
205	<i>V. Cholerae O2:El Tor, Ogawa, CT(-)</i>		
206	<i>V. Cholerae O3:El Tor, Inaba, CT(+)</i>		
207	<i>V. Cholerae O2:El Tor, Inaba, CT(-)</i>		
213	<i>V. Cholerae O139, CT(+)**</i>		
214	<i>V. Cholerae O139, CT(-)**</i>		
215	<i>Vibrio cholerae O1&O139以外</i>		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>		
224	<i>Campylobacter coli</i>	1	
225	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)	3	
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum B</i>		
229	<i>Clostridium botulinum B</i> 以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料:糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	海外旅行者
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合計	6	

(*)*:海外旅行者分再掲

* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、表面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

***V. cholerae* O139が検出された場合は、表面の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。

分離材料:穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	海外旅行者
001	<i>Escherichia coli</i>	5	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2	
163	<i>Mycobacterium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	11	
452	PRSP - PISP		
038	PRSP - PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	8	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	29	

分離材料:髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	海外旅行者
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus B</i>		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
	合計	0	

分離材料:咽頭および鼻咽喉からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	海外旅行者
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	7	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus A</i>		
452	PRSP / PISP	1	
038	PRSP / PISP以外	1	
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		
	合計	9	

分離材料:尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	海外旅行者
001	<i>Escherichia coli</i>	56	
176	<i>Enterobacter spp.</i>	10	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	17	
423	<i>Acinetobacter spp.</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	14	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	3	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	9	
424	<i>Enterococcus</i>	22	
425	<i>Candida albicans</i>	9	
	合計	143	

分離材料:血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	海外旅行者
001	<i>Escherichia coli</i>	7	
003	<i>Salmonella Typhi</i>		
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
426	<i>Salmonella spp.</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	10	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	5	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	9	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	18	
032	<i>Streptococcus B</i>	1	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	5	
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
	合計	55	

分離材料:喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	海外旅行者
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	4	
453	<i>Mycobacterium avium-intracellulare complex</i>	2	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	7	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	15	
039	<i>Legionella pneumoniae</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	11	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	17	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	19	
031	<i>Streptococcus A</i>		
032	<i>Streptococcus B</i>	2	
452	PRSP / PISP	3	
038	PRSP / PISP以外	4	
422	<i>Anaerobes</i>	1	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	85	

分離材料:陰部尿道挿管擦過(分泌)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	海外旅行者
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus B</i>	7	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>		
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	8	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合計	15	

病原菌検出状況報告書

平成28年2月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料:糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出割合
003	<i>Escherichia coli</i> 組織侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素原性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他,不明		
101	<i>Salmonella Typhi</i>		
102	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El Tor, Ogawa, CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Ogawa, CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Inaba, CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>		
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)		
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		
合計			

分離材料:糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出割合
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Eutamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
合計		0	

(*)*:海外旅行者分再掲
* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、表面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

***V. cholerae* O139が検出された場合は、表面の*V. cholerae* O139情報記入欄に記入してください。

分離材料:穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出割合
001	<i>Escherichia coli</i>	3	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
163	<i>Mycobacterium spp.</i>	2	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	2	
452	PRSP-PISP		
038	PRSP-PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
合計		8	

分離材料:髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出割合
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus B</i>		
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外		
合計		0	

分離材料:咽頭および鼻咽喉からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出割合
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	3	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus A</i>		
452	PRSP/PISP	2	
038	PRSP/PISP以外		
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		
合計		5	

分離材料:尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出割合
001	<i>Escherichia coli</i>	65	
176	<i>Enterobacter spp.</i>	6	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	10	
423	<i>Acinetobacter spp.</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	10	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	4	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	5	
424	<i>Enterococcus</i>	31	
425	<i>Candida albicans</i>	13	
合計		145	

分離材料:血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出割合
001	<i>Escherichia coli</i>	19	
003	<i>Salmonella Typhi</i>		
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
426	<i>Salmonella spp.</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	8	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	19	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	10	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	12	
032	<i>Streptococcus B</i>	1	
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外	2	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
合計		71	

分離材料:喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出割合
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	3	
453	<i>Mycobacterium avium-Intracellulare complex</i>	2	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	7	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	10	
039	<i>Legionella pneumoniae</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	25	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	17	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	19	
031	<i>Streptococcus A</i>		
032	<i>Streptococcus B</i>	3	
452	PRSP/PISP	1	
038	PRSP/PISP以外	8	
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
合計		95	

分離材料:陰部尿道頸管擦過(分泌物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来	
		検出数	検出割合
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	1	
032	<i>Streptococcus B</i>	4	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>		
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	10	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
合計		15	

病原菌検出状況報告書

平成28年3月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料:糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
003	<i>Escherichia coli</i> 組織侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性(ETEC)	1	
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他、不明		
101	<i>Salmonella</i> Typhi		
102	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El Tor, Ogawa, CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Ogawa, CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Inaba, CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>	2	
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)	1	
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料:糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合計	7	

():海外旅行者分再掲

* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、表面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を入力してください。

** *V. cholerae* O139が検出された場合は、表面の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。

分離材料:穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	6	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	3	
163	<i>Mycobacterium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	19	
452	PRSP-PISP		
038	PRSP-PISP以外	3	
422	<i>Anaerobes</i>	6	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	38	

分離材料:髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP/PISP	1	
038	PRSP/PISP以外		
	合計	1	

分離材料:咽頭および鼻咽喉からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	3	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus</i> A		
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外	1	
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		
	合計	4	

分離材料:尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	44	
176	<i>Enterobacter spp.</i>	8	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	7	
423	<i>Acinetobacter spp.</i>	1	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	14	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	4	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	17	
424	<i>Enterococcus</i>	37	
425	<i>Candida albicans</i>	25	
	合計	158	

分離材料:血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	22	
003	<i>Salmonella</i> Typhi		
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	5	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	5	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	22	
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外	2	
422	<i>Anaerobes</i>	1	
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
	合計	59	

分離材料:喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	6	
453	<i>Mycobacterium avium-Intracellulare</i> complex	4	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	15	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	10	
039	<i>Legionella pneumonize</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	29	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	17	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	21	
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B	2	
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外	6	
422	<i>Anaerobes</i>	2	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	112	

分離材料:陰部尿道顕管擦過(分泌物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus</i> B	10	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	1	
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	8	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合計	19	

病原菌検出状況報告書

平成28年4月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料:糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
003	<i>Escherichia coli</i> 組腸侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他,不明		
101	<i>Salmonella Typhi</i>		
102	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O8, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El Tor, Ogawa, CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Ogawa, CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Inaba, CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>	2	
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)	1	
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料:糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合計	3	

(*)*:海外旅行者分再掲

* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、表面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を入力してください。

***V. cholerae* O139が検出された場合は、表面の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。

分離材料:穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	4	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	8	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
163	<i>Mycobacterium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性		
452	PRSP-PISP		
038	PRSP-PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	11	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	23	

分離材料:髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外		
	合計	0	

分離材料:咽頭および鼻咽喉からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	3	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus</i> A		
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外	5	
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		
	合計	8	

分離材料:尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	49	
176	<i>Enterobacter spp.</i>	8	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	7	
423	<i>Acinetobacter spp.</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	11	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	2	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	11	
424	<i>Enterococcus</i>	31	
425	<i>Candida albicans</i>	6	
	合計	128	

分離材料:血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	16	
003	<i>Salmonella Typhi</i>		
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
426	<i>Salmonella spp.</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	1	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	4	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	5	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	4	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	18	
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外	1	
422	<i>Anaerobes</i>	5	
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
	合計	54	

分離材料:喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	4	
453	<i>Mycobacterium avium-Intracellulare complex</i>	5	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	7	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	11	
039	<i>Legionella pneumonise</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	11	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	21	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	12	
031	<i>Streptococcus</i> A	1	
032	<i>Streptococcus</i> B	1	
452	PRSP/PISP	1	
038	PRSP/PISP以外	1	
422	<i>Anaerobes</i>	2	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	77	

分離材料:陰部尿道類管擦過(分泌物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	1	
032	<i>Streptococcus</i> B	11	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>		
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	7	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合計	19	

病原菌検出状況報告書

平成28年5分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
003	<i>Escherichia coli</i> 組菌侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他、不明		
101	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
102	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>	2	
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>coli</i> 種別せず		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)		
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合 計	6	

(*)*: 海外旅行者分再掲

* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、裏面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

** *V. cholerae* O139が検出された場合は、裏面の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。

分離材料: 穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	1	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	2	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	1	
163	<i>Mycobacterium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	3	
452	PRSP - PISP		
038	PRSP - PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	3	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合 計	13	

分離材料: 髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
	合 計	0	

分離材料: 咽頭および鼻咽腔からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	2	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
051	<i>Streptococcus</i> A	1	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	2	
036	<i>Cornibacterium diphtheriae</i>		
	合 計	5	

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	68	
176	<i>Enterobacter</i> spp.	4	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	11	
423	<i>Acinetobacter</i> spp.		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	8	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	4	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	13	
424	<i>Enterococcus</i>	38	
425	<i>Candida albicans</i>	5	
	合 計	154	

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	21	
003	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
004	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	2	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	3	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	8	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	5	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	13	
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	3	
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
	合 計	55	

分離材料: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	5	
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>intracellulare</i> complex	6	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	10	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	9	
039	<i>Legionella pneumoniae</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	22	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	11	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	11	
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B	1	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	3	
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	1	
	合 計	79	

分離材料: 陰部尿道器管際過(分泌)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	3	
032	<i>Streptococcus</i> B	13	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	1	
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	12	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合 計	29	

病原菌検出状況報告書

平成28年6月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
003	<i>Escherichia coli</i> 組菌侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)	2	
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他、不明		
101	<i>Salmonella</i> Typhi		
102	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El Tor, Ogawa, CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Ogawa, CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Inaba, CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>		
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>coli</i> 種別せず		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)	2	
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合計	4	

(*)*: 海外旅行者分再掲

* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、表面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

** *V. cholerae* O139が検出された場合は、表面の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。

分離材料: 穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	1	
163	<i>Mycobacterium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	2	
452	PRSP - PISP		
038	PRSP - PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	5	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	10	

分離材料: 髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
	合計	0	

分離材料: 咽頭および鼻咽喉からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	4	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
051	<i>Streptococcus</i> A		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	1	
036	<i>Cornibacterium diphtheriae</i>		
	合計	5	

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	57	
176	<i>Enterobacter</i> spp.	3	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	8	
423	<i>Acinetobacter</i> spp.		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	16	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	5	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	8	
424	<i>Enterococcus</i>	31	
425	<i>Candida albicans</i>	8	
	合計	137	

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	24	
003	<i>Salmonella</i> Typhi		
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	6	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	9	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	23	
032	<i>Streptococcus</i> B	1	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	6	
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
	合計	71	

分離材料: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	5	
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>intracellulare</i> complex	4	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	9	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	6	
039	<i>Legionella pneumoniae</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	28	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	10	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	15	
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B	3	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	1	
	合計	81	

分離材料: 陰部尿道器管際過(分泌)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus</i> B	12	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	1	
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	15	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合計	28	

病原菌検出状況報告書

平成28年7月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
003	<i>Escherichia coli</i> 組換え侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他、不明		
101	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
102	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)	1	
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>	2	
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>coli</i> 種別せず	1	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)	3	
227	<i>Clostridium perfringens</i>	2	
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合計	9	

(*)*: 海外旅行者分再掲

* Verotoxin産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、表面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

** *V. cholerae* O139が検出された場合は、表面の「*V. cholerae* O139」情報欄に記入してください。

分離材料: 穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	10	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	3	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	5	
163	<i>Mycobacterium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	5	
452	PRSP - PISP		
038	PRSP - PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	9	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	34	

分離材料: 髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
	合計	0	

分離材料: 咽頭および鼻咽腔からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	5	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
051	<i>Streptococcus</i> A	1	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	2	
036	<i>Cornibacterium diphtheriae</i>		
	合計	8	

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	70	
176	<i>Enterobacter</i> spp.	5	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	10	
423	<i>Acinetobacter</i> spp.	2	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	13	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	4	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	4	
424	<i>Enterococcus</i>	38	
425	<i>Candida albicans</i>	10	
	合計	158	

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	25	
003	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
004	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	11	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	10	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	31	
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	5	
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
	合計	82	

分離材料: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	6	
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>intracellulare</i> complex	4	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	14	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	14	
039	<i>Legionella pneumoniae</i>	1	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	24	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	19	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	12	
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B	3	
452	PRSP / PISP	2	
038	PRSP / PISP以外	5	
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	104	

分離材料: 陰部尿道器管腔(分泌)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus</i> B	8	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	1	
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	11	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合計	20	

病原菌検出状況報告書

平成28年8月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
003	<i>Escherichia coli</i> 組菌侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他, 不明		
101	<i>Salmonella</i> Typhi		
102	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1: El Tor, Ogawa, CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2: El Tor, Ogawa, CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3: El Tor, Inaba, CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2: El Tor, Inaba, CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>	1	
221	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>		
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず	1	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)	4	
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>	1	
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合 計	10	

(*)*: 海外旅行者分再掲
* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、裏面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

** *V. cholerae* O139が検出された場合は、裏面の「*V. cholerae* O139情報 記入欄」に記入してください。

分離材料: 穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	5	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2	
163	<i>Mycobacterium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	4	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	8	
452	PRSP - PISP		
038	PRSP / PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	2	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合 計	23	

分離材料: 髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
	合 計	0	

分離材料: 咽頭および鼻咽喉からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	2	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus</i> A	1	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	3	
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		
	合 計	6	

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	63	
176	<i>Enterobacter spp.</i>	11	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	13	
423	<i>Acinetobacter spp.</i>	3	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	18	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	6	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	7	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	13	
424	<i>Enterococcus</i>	37	
425	<i>Candida albicans</i>	8	
	合 計	179	

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	21	
003	<i>Salmonella</i> Typhi		
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	19	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	16	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	22	
032	<i>Streptococcus</i> B	2	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	2	
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
	合 計	82	

分離材料: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	3	
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>Intracellulare</i> complex	5	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	19	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	14	
039	<i>Legionella pneumonise</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	19	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	13	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	10	
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	7	
422	<i>Anaerobes</i>	1	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	3	
	合 計	94	

分離材料: 陰部尿道管擦過(分泌)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus</i> B	12	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>		
124	<i>Ureaplasma</i>	1	
425	<i>Candida albicans</i>	13	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合 計	26	

病原菌検出状況報告書

平成28年9月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来
003	<i>Escherichia coli</i> 組織侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 腸原大腸菌血清型(EPEC)	1	
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他、不明		
101	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
102	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>		
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず	1	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)		
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合計	5	

(*)*: 海外旅行者分再掲

* Verotoxin産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、表面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

** *V. cholerae* O139が検出された場合は、表面の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。

分離材料: 穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来
001	<i>Escherichia coli</i>	2	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2	
163	<i>Mycobacterium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラ-ゼ陰性	1	
452	PRSP - PISP		
038	PRSP - PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	6	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	14	

分離材料: 髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP	1	
038	PRSP / PISP以外		
	合計	1	

分離材料: 咽頭および鼻咽喉からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	5	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus</i> A	1	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	3	
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		
	合計	9	

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来
001	<i>Escherichia coli</i>	52	
176	<i>Enterobacter spp.</i>	9	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	11	
423	<i>Acinetobacter spp.</i>	1	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	11	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	4	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラ-ゼ陰性	9	
424	<i>Enterococcus</i>	25	
425	<i>Candida albicans</i>	9	
	合計	133	

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来
001	<i>Escherichia coli</i>	10	
003	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
004	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	1	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	8	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラ-ゼ陰性	35	
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP	1	
038	PRSP / PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	9	
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
	合計	65	

分離材料: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
453	<i>Mycobacterium avium - intracellulare complex</i>		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	22	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	6	
039	<i>Legionella pneumoniae</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	28	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	14	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	18	
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B	3	
452	PRSP / PISP	1	
038	PRSP / PISP以外	4	
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	96	

分離材料: 陰部尿道頸管擦過(分泌物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus</i> B	6	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	1	
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	5	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合計	12	

病原菌検出状況報告書

平成28年10月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
003	<i>Escherichia coli</i> 組菌侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型(EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他、不明		
101	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
102	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)	1	
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>	1	
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>coli</i> 種別せず		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)	1	
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	動物由来 検出数
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合計	7	

(*)*: 海外旅行者分再掲

* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、表面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

** *V. cholerae* O139が検出された場合は、表面の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。

分離材料: 穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	3	
163	<i>Mycobacterium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	2	
452	PRSP - PISP		
038	PRSP - PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	3	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	11	

分離材料: 髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
	合計	0	

分離材料: 咽頭および鼻咽腔からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	3	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
051	<i>Streptococcus</i> A		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	3	
036	<i>Cornibacterium diphtheriae</i>		
	合計	6	

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	63	
176	<i>Enterobacter</i> spp.	10	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	17	
423	<i>Acinetobacter</i> spp.	1	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	12	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	3	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	4	
424	<i>Enterococcus</i>	38	
425	<i>Candida albicans</i>	8	
	合計	158	

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	10	
003	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
004	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	2	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	5	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	9	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	9	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	31	
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	3	
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
	合計	69	

分離材料: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>intracellulare</i> complex	6	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	15	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	11	
039	<i>Legionella pneumoniae</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	23	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	16	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	10	
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B	4	
452	PRSP / PISP	1	
038	PRSP / PISP以外	4	
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	5	
	合計	95	

分離材料: 陰部尿道器管際過(分泌)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus</i> B	10	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	1	
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	5	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合計	16	

病原菌検出状況報告書

平成28年11月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料:糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
003	<i>Escherichia coli</i> 細菌侵入性(EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性(ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 腸管大腸菌血清型(EPEC)	1	
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性(EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他、不明		
101	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
102	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)	1	
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 46(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Ogawa</i> , CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El <i>Tor. Inaba</i> , CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)**		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)**		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>	1	
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>coli</i> 種別せず	4	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)	2	
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料:糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	合計	9	

(*)*:海外旅行者分再掲
* Verotoxin産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、表面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。
** *V. cholerae* O139が検出された場合は、表面の「*V. cholerae* O139」情報記入欄に記入してください。

分離材料:穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	2	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2	
163	<i>Mycobacterium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	3	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	8	
452	PRSP-PISP		
038	PRSP-PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	10	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	合計	25	

分離材料:髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外		
	合計	0	

分離材料:咽頭および鼻咽腔からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	3	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus</i> A	1	
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外	5	
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		
	合計	9	

分離材料:尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	50	
176	<i>Enterobacter</i> spp.	7	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	18	
423	<i>Acinetobacter</i> spp.	2	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	16	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	10	
424	<i>Enterococcus</i>	31	
425	<i>Candida albicans</i>	12	
	合計	147	

分離材料:血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
001	<i>Escherichia coli</i>	11	
003	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
004	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	5	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	9	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	5	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	15	
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP/PISP		
038	PRSP/PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	8	
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
	合計	53	

分離材料:喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	1	
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>Intracellulare</i> complex	5	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	25	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	4	
039	<i>Legionella pneumonise</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	21	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	29	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	17	
031	<i>Streptococcus</i> A	1	
032	<i>Streptococcus</i> B	3	
452	PRSP/PISP	2	
038	PRSP/PISP以外	6	
422	<i>Anaerobes</i>	3	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	2	
	合計	119	

分離材料:陰部尿道顕管擦過(分泌物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	動物由来 検出数
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus</i> B	11	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>		
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	13	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	合計	24	

病原菌検出状況報告書

平成28年12月分 集計

長崎県環境保健研究センター
TEL:0957-48-7560
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
003	<i>Escherichia coli</i> 組織侵入性 (EIEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 毒素産生性 (ETEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 病原大腸菌血清型 (EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管出血性 (EHEC/VTEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> その他、不明		
101	<i>Salmonella Typhi</i>		
102	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
104	<i>Salmonella O4(B)</i>		
105	<i>Salmonella O7(C1, C4)</i>		
106	<i>Salmonella O8(C2, C3)</i>		
107	<i>Salmonella O9(D1)</i>		
108	<i>Salmonella O9, 46(D3)</i>		
109	<i>Salmonella O3, 10(E1, E2, E3)</i>		
110	<i>Salmonella O1, 3, 19(E4)</i>		
112	<i>Salmonella O13(G1, G2)</i>		
116	<i>Salmonella O18(K)</i>		
132	<i>Salmonella</i> その他		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae O1:El Tor, Ogawa, CT(+)</i>		
205	<i>V. Cholerae O2:El Tor, Ogawa, CT(-)</i>		
206	<i>V. Cholerae O3:El Tor, Inaba, CT(+)</i>		
207	<i>V. Cholerae O2:El Tor, Inaba, CT(-)</i>		
213	<i>V. Cholerae O139, CT(+)**</i>		
214	<i>V. Cholerae O139, CT(-)**</i>		
215	<i>Vibrio cholerae O1&O139以外</i>		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>		
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA以外)		
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum E</i>		
229	<i>Clostridium botulinum B</i> 以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		
合 計			

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	検出率
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型()		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型その他		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型不明		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型()		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型()		
303	<i>Shigella boydii</i> 型その他		
303	<i>Shigella boydii</i> 型不明		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
合 計		0	

(*)*: 海外旅行者分再掲
* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、裏面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点で分かる範囲の情報を記入してください。

** *V. cholerae* O139が検出された場合は、裏面の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。

分離材料: 穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	7	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	1	
163	<i>Mycobacterium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	4	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	6	
452	PRSP - PISP		
038	PRSP - PISP以外		
422	<i>Anaerobes</i>	12	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
合 計		31	

分離材料: 髄液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)		
032	<i>Streptococcus B</i>		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外		
合 計		0	

分離材料: 咽頭および鼻咽喉からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
037	<i>Bordetella pertussis</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	5	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus A</i>	5	
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	1	
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		
合 計		11	

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	63	
176	<i>Enterobacter spp.</i>	9	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	14	
423	<i>Acinetobacter spp.</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	11	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	3	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	12	
424	<i>Enterococcus</i>	25	
425	<i>Candida albicans</i>	12	
合 計		151	

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
001	<i>Escherichia coli</i>	16	
003	<i>Salmonella Typhi</i>		
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
426	<i>Salmonella spp.</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	1	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	4	
421	<i>Staphylococcus</i> コアグラールゼ陰性	6	
032	<i>Streptococcus B</i>		
452	PRSP / PISP		
038	PRSP / PISP以外	2	
422	<i>Anaerobes</i>	7	
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
合 計		39	

分離材料: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	3	
453	<i>Mycobacterium avium - Intracellulare complex</i>	3	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	16	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	7	
039	<i>Legionella pneumoniae</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	17	
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium spp.</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	19	
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	12	
031	<i>Streptococcus A</i>		
032	<i>Streptococcus B</i>	1	
452	PRSP / PISP	1	
038	PRSP / PISP以外	4	
422	<i>Anaerobes</i>	1	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	1	
合 計		85	

分離材料: 陰部尿道頭管際過(分泌)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数	検出率
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus B</i>	15	
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>		
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>	9	
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
合 計		24	